

令和 7 年度
事業報告

社会福祉法人和歌山県社会福祉協議会

目 次

1	概況報告	1
2	具体的事業の実施状況	2
3	業務の適正を確保するための体制の整備と運用状況	8
4	事項別報告	

I 総務企画部

【総務経営班・法人運営事業関係】

1	法人運営及び関係機関・団体（会員）との連携強化	9
2	法人運営基盤の強化	13

【総務経営班・社会福祉事業従事者福利厚生事業及び表彰事業関係】

1	社会福祉事業従事者の福利厚生事業等への取組	18
---	-----------------------	----

【企画班・地域福祉活動推進支援事業関係】

1	市町村社会福祉協議会の活動支援、地域福祉の推進	21
2	和歌山県民生委員児童委員協議会との連携、民生委員・児童委員活動支援	30

【企画班・施設関係】

1	「制度の狭間にある福祉課題・生活課題解決への協働プロジェクト」を通じ、地域を支える社会福祉法人の活動を支援	31
2	社会福祉法人（社会福祉施設）をはじめとする関係団体との連携強化	34

【企画班・企画調整関係】

1	新たな福祉課題（分野）への対応と地域福祉推進フォーラムの開催	39
---	--------------------------------	----

II 地域福祉部

【権利擁護班・地域福祉権利擁護事業関係】

1	日常生活自立支援事業の実施	46
2	成年後見制度利用促進基本計画に基づく取組促進への協力	47
3	問題の深刻化の予防	49
4	事業開始時期	49
5	本事業にかかる一部業務委託	49
6	契約締結審査会の開催状況	53
7	専門員・生活支援員の研修実施状況	53
8	広報・啓発実施状況	54

【生活資金班・生活福祉資金等貸付事業関係】

1	特例貸付借受世帯等に対する生活支援及び適正な債権管理	59
2	生活福祉資金等貸付事業の効果的な運営（適正な貸付け・債権管理）	60

3	臨時特例つなぎ資金貸付制度の運用	64
【生活資金班・福祉人材確保等にかかる返還免除付き貸付事業関係】		
1	福祉人材確保及び自立支援のための返還免除付き貸付事業の広報 啓発及び適正な貸付の実施	65
2	福祉人材確保及び自立支援のための返還免除付き貸付事業の適正 な債権管理の実施	70
3	運営委員会の開催	71
4	その他	72
【ボランティア振興班・ボランティアセンター事業・災害ボランティアセンター事業関係】		
1	広域におけるボランティア活動支援機能の強化	89
2	大規模災害における県災害 VC の機能・体制を強化	95
【健康生きがい班・和歌山県いきいき長寿社会センター事業関係】		
1	地域活動を行うシニアリーダー養成	101
2	高齢者の生きがいづくり・健康増進	105
3	社会参加活動を希望する高齢者と企業や団体、学校等を結びつけ る取組を推進	107
4	その他	107
Ⅲ 福祉人材研修部		
【福祉人材センター事業関係】		
1	福祉人材の確保・定着支援、福祉の魅力発信	109
2	福祉人材の育成と定着の促進	124
3	介護支援専門員実務研修受講試験の実施	131
4	その他	131
Ⅳ 福祉介護サービス評価センター		
【福祉介護サービス評価センター事業】		
1	受審事業所数の拡大と評価の質の向上	132
Ⅴ 和歌山県福祉サービス運営適正化委員会		
【和歌山県福祉サービス運営適正化委員会関係】		
1	和歌山県福祉サービス運営適正化委員会の組織・委員等	134
2	福祉サービス運営適正化委員会（全体会議）の開催	135
3	福祉サービスに関する苦情への対応	135
4	苦情解決システムの機能強化	137
5	福祉サービス利用援助事業の運営監視	138
6	福祉サービス運営適正化委員会全般にかかる事業の実施	139

1 概況報告

令和7年度は、「ともに生きる地域社会（わかやま）の実現をめざして ～ふだんのくらしのしあわせをみんなの力でつくります～」を基本理念とする第6次和歌山県社会福祉協議会活動計画の5か年計画の第四年次として6つの重点目標を達成するべく、それぞれの事業に取り組みました。

《6つの重点目標》							総務企画部	地域福祉部	福祉人材研修部	福祉介護サービス評価センター	運営適正化委員会	
1 社会的孤立への対応												
2 市町村社協とともに地域福祉の基盤づくり												
3 相談支援・生活支援と権利擁護の充実												
4 多様な主体や社会資源がつながる地域づくりの支援												
5 地域福祉を支える組織や専門職の確保・養成												
6 自然災害への対応												
具 体 的 事 業	○	○	○	○	○	○	①市町村社協活動支援事業	○				
	○	○	○				②生活福祉資金等貸付事業		○			
	○	○	○				③日常生活自立支援事業(地域福祉権利擁護・成年後見支援)		○			
	○	○	○	○		○	④民生委員・児童委員協議会活動との連携・協働	○				
	○	○		○	○	○	⑤ボランティアセンター事業		○			
	○	○		○	○	○	⑥災害ボランティアセンター事業		○			
	○			○			⑦いきいき長寿社会センター事業		○			
	○	○	○	○	○	○	⑧制度の狭間にある福祉課題・生活課題解決への協働プロジェクト	○				
	○		○	○	○	○	⑨社会福祉施設・団体との連携強化及び支援事業	○				
					○		⑩福祉人材センター事業			○		
	○		○		○		⑪福祉人材確保等にかかる返還免除付き貸付事業		○			
					○		⑫福祉介護サービス評価センター事業				○	
					○		⑬民間社会福祉事業従事者共済事業・福利厚生センター受託事業	○				
			○		○		⑭福祉サービス運営適正化委員会事業					○

「6つの重点目標」に基づく取組の特徴は次のとおりです。その後に、14の具体的事業の実施状況及び「事項別報告」で事業取組の詳細を各部署別に記載しています。

- 「社会的孤立への対応」では、県市町村社協連絡協議会と連携し、特例貸付借受人等生活困窮者への支援をはじめとする3つのテーマで業務課題検討会を開催しました。これらの検討内容を踏まえ、生活支援の取組促進や研修会等の企画・実施に取り組みました。
- 「市町村社協とともに地域福祉の基盤づくり」では、地域において「個別（相談）支援」「地域づくり支援」を担う人材の育成及び資質向上を目的に、「地域生活課題の解決に向けたソーシャルワーク研修会」を開催しました。
- 「相談支援・生活支援と権利擁護の充実」では、成年後見制度の利用を促進するため、専門的な助言を必要とする市町村及び市町村社協に対し、アドバイザーを派遣し中核機関設置のサポートを行いました。また、市町村社協法律相談支援事業を実施し、弁護士からアドバイスを受け、課題対応を図りました。
- 「多様な主体や社会資源がつながる地域づくりの支援」では、わかやま市民生活協同組合、(株)オークワ、(株)セブン-イレブン・ジャパンとの協定により寄贈いただいた食品や雑貨等を、市町村社会福祉協議会を通じて地域住民や社会福祉施設等へ配分しました。
- 「地域福祉を支える組織や専門職の確保・養成」では、求職者と求人事業所との効果的なマッチングを行うため、ハローワークとのさらなる連携強化を図りました。また、介護分野における生産性向上の取組を支援するために相談対応しました。
- 「自然災害への対応」では、広域訓練を実施するとともに、災害ボランティアセンター運営のICT化を推進するため、市町村協が行う研修・訓練において講義や助言を行いました。また、「災害福祉支援ネットワーク・災害派遣福祉チーム（DWAT）」の運営では、新たにステップア

ップ研修を実施しました。

また、昭和 30 年 12 月 22 日の法人設立以来、令和 7 年度で創立 70 周年を迎える節目の年となることから、記念事業を実施しました。さらに、組織体制の強化を図るため、令和 8 年度に向けて事務局組織改編の検討を進めました。

2 具体的事業の実施状況

（１）市町村社協活動支援事業（総務企画部 企画班）

地域共生社会の実現に向け、地域において「個別（相談）支援」「地域づくり支援」を担う人材の育成及び資質向上を目的に、全国社会福祉協議会の開発した研修テキストを活用し、市町村社協・社会福祉施設・市町村（行政）職員等を対象とした「地域生活課題の解決に向けたソーシャルワーク研修会」を 3 回シリーズで開催しました。

また、県市町村社協連絡協議会と連携し、特例貸付借受人等生活困窮者への支援、災害時の社協活動、人材確保・人材育成の 3 つのテーマで業務課題検討会を開催しました。それらの検討内容を役職員研修会で共有するとともに、検討内容踏まえた研修会の企画・実施に取り組みました。

企画の CSR（社会貢献活動）との連携では、(株)オークワ、(株)セブン-イレブン・ジャパン、わかやま市民生活協同組合との協定により寄贈いただいた食品や雑貨等を、市町村社協を通じて地域住民や社会福祉施設等へ配分しました。寄贈品をお届けすることを通じて、生活困窮者支援だけでなく社会福祉施設等との関係性を構築する契機となっています。

こども食堂応援ネットワーク事業の受託を通じて、県内のこども食堂の開設支援や既存のこども食堂への情報提供・研修会・交流会等を実施したほか、年間を通じて食材・寄付等の物資の配分やマッチングに取り組みました。また企業との連携を推進するために展示やイベントを実施しました。

（２）生活福祉資金等貸付事業（地域福祉部 生活資金班）

生活福祉資金貸付事業は、社会福祉法第 2 条第 2 項第 7 号に規定されている生計困難者に対して無利子又は低利で資金を融通する事業です。

令和 2 年 3 月 25 日から申請受付を開始した新型コロナウイルス感染症にかかる特例貸付は、令和 4 年 9 月末で受付終了となり、32,043 件（13,006,989,500 円）の貸付決定を行いました。

また、特例貸付については、借受人及び世帯主が住民税非課税世帯に該当すること等により償還免除できるとされており、年度末までに 18,627 件（7,416,182,511 円）の償還免除（次年度非課税免除を含む）決定を行いました。

令和 5 年 1 月から順次償還が開始され、年度末の償還中債権は 10,659 件、その他は猶予期間中債権となっています。

なお、年度末の貸付中件数は 12,355 件（貸付中債権額約 50 億 4 千万円）で、内訳は通常貸付 1,060 件（約 7 億円）、特例貸付 11,295 件（約 43 億 4 千万円）になりました。

「償還履行者率（本会独自指標）」について、通常貸付の年度平均値は、63.7%（集計開始時・平成 19 年度末は 31.7%）、特例貸付の年度平均値は、41.8%でした。

特例貸付においては、膨大な債権数に加え複雑な免除要件など、債権管理が煩雑になっていることに加え、借受人等への必要なフォローアップ支援・相談支援を実施していくことが課題です。

（３）日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護・成年後見支援）（地域福祉部 権利擁護班）

日常生活自立支援事業の中核である福祉サービス利用援助事業は、判断能力が不十分な高齢者、知的障がい、精神障がいのある方などに対して福祉サービスの利用援助や日常生活上の手続きに関する援助等、福祉サービス利用のための一連の援助を一体的に行うことにより、地域において自立した生活を送れるように支援する事業であり、県内全市町村社会福祉協議会（以下、「社協」という）に委託して実施しました。併せて、事業従事者の資質向上や事業の普及啓発等に取り組みました。

本年度の新規契約者数は 153 件、解約者数は 96 件、本年度末の実利用者は 780 名で、令和 6 年度末と比べ 57 名の増加となりました。なお、実利用者のうち知的障がい、精神障がいのある方の割合は 6 割を超えており増加傾向が続いています。また、事業発足以来、今日まで利用料の維持に努めてまいりましたが、持続可能な制度と生活支援員の確保を目的とし、令和 8 年 10 月より利用料の改定を決定しました。なお、改定までの期間は、生活支援員への賃金助成による財源補填を行うことで、支援体制の維持と安定した運営に努めています。

成年後見制度の利用促進に向けた取組では、国が策定した「第二期成年後見制度利用促進基本計画」において、都道府県の機能強化として、市町村支援の強化を図ることが掲げられています。これを受け、成年後見制度利用促進に係る 4 事業（県域協議会運営、市町村長申立研修会、県域総合相談窓口の設置、アドバイザー派遣）を実施し市町村の体制整備（中核機関の設置等）の促進を図りました。また、「和歌山県成年後見制度に関する担い手の育成方針」に基づき、成年後見制度利用促進に係る意見交換会や法人後見団体による意見交換会を県と共催し、市町村・市町村社協・法人後見団体が抱える種々の課題について協議しました。

今後も、生活課題が深刻になる前に支援できる体制構築に取り組み、切れ目のない権利擁護体制構築を目指します。

（４）民生委員・児童委員協議会活動との連携・協働（総務企画部 企画班）

少子高齢化や人口減少・過疎化の進行、地域社会や家庭構造の著しい変化により、地域住民の生活課題が複合化・複雑化しており、民生委員・児童委員に求められる役割は広がっています。

広報紙やホームページを通じて民生委員・児童委員の活動（相談支援・生活支援等）の周知を図るとともに、県民生委員児童委員協議会が実施する新任民生委員・児童委員研修会で社協関連事業の説明を行う等、その活動支援に取り組みました。今後も、県内社協が実施する各種事業の様々な場面で協力を得ている民生委員活動について情報収集・把握、広報啓発を行い、その「なり手」が広がるように、情報発信に取り組みます。

（５）ボランティアセンター事業（地域福祉部 ボランティア振興班）

ボランティア活動の重要な原則である「自主性・自発性」及びお互いさまという「互酬生」が損なわれることなく、ボランティアへの関心を高めるために、市町村社協ボランティア・市民活動センター並びにボランティア連絡協議会と連携しながら活動体験機会と情報の収集・提供に取り組みしました。

社会福祉への善意として寄せられた金員や関心を、具体的な活動へとつなげることを目的に「ボランティア活動交流普及事業」を実施し、3 団体・7 事業に助成支援を行いました。また、「市町村社協ボランティア・市民活動センター担当者会議」では、助成事業を実施した社協による活動報告を通じて、ボランティア活動支援の好事例を共有し、コーディネーターが直面する課題解決に向け

た取組の強化を促進しました。

さらに、「福祉教育の推進」として、県域福祉教育推進プラットフォームの機能強化に向けた協議を行ったほか、全国福祉教育推進員研修への参加を促進し、修了者等の実践者による学びの場としてプラットフォーム会議を開催しました。県内の好事例等に学ぶ機会を設けることで、市町村社協における福祉教育実践の支援を行いました。

今後、地域共生社会の実現に向けて、一人ひとりのボランティアな活動を支援するとともに、幅広い層に向けてボランティア活動の魅力や価値を発信し、「参加したい」と思える環境づくりをすすめる、広域的なボランティア活動の振興を図ります。

(6) 災害ボランティアセンター事業（地域福祉部 ボランティア振興班）

広域被災を想定し、県内支援者が合同で実践する場として「広域・同時多発災害対応訓練（1月25日、参加約220名）」を紀中エリア（有田市、日高川町、みなべ町）で実施しました。初動対応や現地調査の訓練、災害ボランティアセンター運営支援システム（キントーン）の活用など、近年の災害からの学びを踏まえた実践的な内容としました。

また、災害ボランティアセンター中核スタッフ養成研修として「近畿ブロック災害支援研修」を開催し、広域的な連携力と対応力の向上を図りました。さらに、県内支援者による支援体制の構築・強化を目的に、災害ボランティアセンター運営支援のコーディネートを担う中核者の増員・養成に着手しました。

あわせて、災害ボランティア登録者とともに「防災ボランティア集会」や「防災デイキャンプ」を実施したほか、県・NPOセンターや協力団体とともに「災害時の官民連携を考える勉強会」を開催し、災害中間支援組織の設立に向けた協議を進めました。また、県市町村社協連協と連携し、災害時の社協活動について検討しました。

さらに、年間を通じて、市町村社協等関係機関の研修・訓練に参画し、講義や助言による支援を行ったほか、災害ボランティアセンター運営支援システムの導入促進や災害ボランティア活動支援資機材の配備などに取り組みました。

発生の切迫性が高まる南海トラフ巨大地震等に備え、平時から災害福祉支援関係者をはじめ、多様な主体と連携し、「広域支援機能・体制の強化」や「県内支援者の育成」に取り組み、災害時にも支え合える関係構築を促進していきます。

(7) いきいき長寿社会センター事業（地域福祉部 健康生きがい班）

人生を前向きに考え、地域活動や趣味活動などに参加している人は、健康で長生きすると言われていますが、その「健康長寿」に寄与するため、シニアのスポーツや文化活動、社会や地域に貢献する活動などを支援し、シニアが生きがいを持ち豊かな経験を活かして積極的に社会に参加することを目指し、各事業を進めてまいりました。

地域の日常的な支え合い活動を担うための人材養成を目的とした、いきいきシニアリーダーカレッジ（和歌山校、橋本校、田辺校）「シニアの住みよいまちづくり実践学科」を開講しました。各カレッジにおけるカリキュラムは、それぞれの地域のニーズにあった人材を養成するために各校と協議し、設定しました。

また、カレッジの受講者や修了者による活動を進めるため、アドバイザーの派遣等を行う「仲間づくり支援事業」に取り組み、地域活動の指導者等として活動していただきました。

平成28年から和歌山県より委託を受け運営している「わかやま元気シニア生きがいバンク事業」

については、引き続き県内の各団体での利用促進のため、幅広く広報を行いました。

尚、本事業は令和 8 年度 12 月で廃止となったため、登録者への通知と併せて県とともに本会 HP で告知を行いました。

高齢者の生きがいと健康づくりを推進する事業としては、「紀の国いきいき健康長寿祭」の名称で、スポーツ交流大会及び文化交流大会を開催しました。

スポーツ交流大会は、卓球、ペタンク、グラウンド・ゴルフ、ボウリング、パークゴルフの 5 種目を開催し、延べ 867 名の参加を得ました。

このほか、文化交流大会では、囲碁大会、将棋大会、健康マージャン大会、シルバー美術展を開催しました。

なお、紀の国いきいき健康長寿祭は、全国健康福祉祭（ねんりんピック）に出場する県代表選手（作品）の選考会を兼ねています。

第 37 回全国健康福祉祭ぎふ大会（ねんりんピック岐阜 2025）に、20 種目、監督・選手 118 名を派遣しました。

また、高齢者の生きがいとふれあい交流を目的とした「ふれあい作品展」を開催し、県内の老人福祉施設及び介護保険施設等の利用者が制作した手芸、工芸などの作品を展示しました。

高齢者を対象とした健康ゲーム体験会も開催しました。

今後、一層高齢化が進展するなかで、「健康な高齢者」を増やすために、いきいきシニアリーダーカレッジについては、参加者を増やすため今以上に魅力的なカリキュラムづくりに取り組むとともに、県内全域でスポーツ・文化交流大会を開催し、高齢者ニーズの高いニュースポーツや健康ゲームなどを取り入れ、内容を充実してまいります。

（８）制度の狭間にある福祉課題・生活課題解決への協働プロジェクト（総務企画部 企画班）

社会福祉法人制度改革により「地域における公益的な取組」が責務化され、さらには国が推進する「地域共生社会」の実現に向けて社会福祉法人がその一翼を担うことが求められている現状を踏まえ、平成 29 年度から本プロジェクト推進委員会を県社協に設置。制度の狭間にある様々な課題に対し、社会福祉法人（社会福祉施設）の力を結集した取組を推進しています。

令和 2 年以降の新型コロナウイルス感染症の影響により、集合型の委員会活動や地域に出向いての活動が実施しづらい状況が続いていましたが、令和 7 年度は、下記のモデル（助成）事業や、小委員会活動、意識醸成・啓発活動等に取組みました。

モデル（助成）事業	5 法人：助成総額 950,000 円 (寿敬会、千翔会、和歌山県社会施設事業会、一麦会、山口葵会)
小委員会活動	小委員会設置検討会を開催し、「居場所づくり」普及検討、社会福祉法人による相談支援、災害時の福祉的支援の 3 つの小委員会を設置することを確認、それぞれ 1 回ずつ開催した。
意識醸成・広報啓発 (活動の見える化)	ふくしフォトコンテスト 2025 の開催 和歌山社会福祉法人経営者協議会での取組報告(和歌山県社会施設事業会)
幹事会・総会開催	幹事会 (1 回)、総会 (1 回) ※総会はオンライン開催

県経営協、県経営協青年会との連携で取り組んだ「ふくしフォトコンテスト 2025」は、「福祉」・「地域福祉」の県民への啓発と、「福祉職場の素晴らしさ」、「福祉のイメージ UP」を目的に実施し、計 157 作品の応募がありました。令和 8 年度も、多様な生活課題に対応するため、本プロジェクトを通じて「地域を支える社会福祉法人」の活動強化を図ります。

(9) 社会福祉施設・団体との連携強化及び支援事業（総務企画部 企画班）

社会福祉事業の主たる担い手である社会福祉施設や、関係団体の活動支援のため、各種事業に取り組みました。事務局業務の受任では、県社会福祉法人経営者協議会、県保育連合会、県児童館連絡協議会、県訪問介護事業所協議会の事務局業務を受任し、研修会等を開催すること等によりその活動支援に取り組みました。

県保育連合会では、令和 8 年度近畿ブロック保育研究集会（和歌山大会）の開催に向けて実行委員会を組織し、準備をすすめました。

また、「災害福祉支援ネットワーク・災害派遣福祉チーム（DWAT）」の運営では、県との共同事務局により体制整備を図るなか、災害派遣福祉チーム登録時研修を実施し、新たに 29 名のチーム員を登録、合計 140 名となりました（令和 8 年 3 月 31 日現在）。また、令和 7 年度は、新たにステップアップ研修を実施し、20 名のチーム員に受講いただきました。

(10) 福祉人材センター事業（福祉人材研修部 人材班・研修班）

社会福祉法第 93 条に基づく県指定の「福祉人材センター」として、慢性的に不足している福祉現場における人材確保事業及び人材の育成と定着を支援するための研修事業を実施しました。

人材確保については、中学生・高校生やその保護者、教員等を対象とした介護職の魅力を紹介する冊子の作成、中学校・高校や初任者研修実施先への出前講座の開催等、関係機関との連携に取り組むとともに、無料職業紹介事業を中心に、就職フェアや職場体験、出張相談等のきめ細かなマッチング支援に引き続き取り組みました。

これらの事業を通じて令和 7 年度は、85 人（無料職業紹介 38 人、就職フェア 14 人、職場体験 4 人、その他 29 人）が新たに就職に結びついています。

また、介護事業所における業務効率化や業務改善等の生産性向上の取組を支援するワンストップ型相談窓口「和歌山県介護生産性向上総合相談センター」を運営し、介護現場における生産性向上の取組の普及を目的とした研修会の開催や、介護事業所への伴走支援を実施しました。

(11) 福祉人材確保等にかかる返還免除付き貸付事業（地域福祉部 生活資金班）

福祉人材確保及び自立支援のための「返還免除付き貸付」の状況は、次のようになりました。

	人材確保		自立支援	
	介護福祉士等	保育士	ひとり親家庭	児童養護施設退所者
貸付件数累計	1,797 件	812 件	167 件	121 件
貸付額累計	933,982,904 円	1,052,430,182 円	68,214,586 円	89,026,000 円
償還免除件数累計 (当然免除・裁量免除)	711 件	198 件	21 件	29 件
償還免除額累計 (当然免除・裁量免除)	168,399,654 円	221,924,902 円	8,848,269 円	9,948,710 円

貸付は平成 28 年度開始当初は令和元年度までの予定でしたが、さらに原資が追加され、貸付中（債権管理）件数の増加とともに、債権管理事務の増大が課題です。

(12) 福祉介護サービス評価センター事業（福祉介護サービス評価センター）

福祉サービスを提供する事業者のサービスの質の向上を目的として、社会福祉法第 78 条第 2 項の規程に基づき、公正・中立な第三者機関が専門的・客観的な立場から評価を行う仕組みである福祉サービス第三者評価事業と地域密着型サービス外部評価事業を実施しました。

福祉サービス第三者評価事業については、平成 18 年に県福祉サービス第三者評価事業推進組織

から評価機関の認証を受けるとともに、平成 24 年度に 3 年ごとの受審が義務付けられた社会的養護関係施設の第三者評価についても、全国社会福祉協議会から評価機関としての認証を受けており、本年度は、福祉サービス施設 1 か所、社会的養護関係施設 2 か所の第三者評価を実施するとともに、受審後の継続的な事業所支援にも努めました。

地域密着型サービス外部評価事業については、平成 18 年に県から評価機関としての選定を受けており、本年度は、36 事業所の外部評価を実施しました。

今後も、受審が義務づけられていない福祉サービス関係施設に対し周知していくとともに、調査員が高齢化していることから、調査員の養成を図っていきます。

(13) 民間社会福祉事業従事者共済事業・福利厚生センター等受託事業（総務企画部 総務経営班）

民間社会福祉事業従事者共済事業については、加入施設数 284 か所（前年度比 1 か所減）、会員数 8,067 人（前年度比 123 人減）となり、1,359 人の会員に対し退職金及び慶弔金給付を行いました。また、資産運用に関する基本方針に基づく運用を実施し、退職金充足率は 138.56%（前年度 135.70%）となりました。

福利厚生センター和歌山事務局では、バスツアー等の会員交流事業を企画し実施しました。

今後は、民間社会福祉事業従事者共済事業のより安定的な資産運用を目指して協議を重ねていきます。また、福利厚生センター事業では未加入法人への加入勧奨を継続するとともに、加入者が参加、利用しやすい会員交流事業の充実に取り組みます。

また、民間社会福祉事業従事者共済運営委員会において、高年齢者雇用安定法への対応等に関して、退職金給付制度の見直しについて検討を行いました。

(14) 福祉サービス運営適正化委員会事業（福祉サービス運営適正化委員会）

和歌山県福祉サービス運営適正化委員会は、社会福祉法第 83 条に基づき県社会福祉協議会に設置され、福祉サービス利用援助事業の適正な運営を確保するとともに、福祉サービスに関する利用者からの苦情を適切に解決することを目的としています。委員会は、公正・中立な立場を確保するため外部の有識者（委員）で構成され、県社会福祉協議会の他の活動から独立して運営されています。

なお、苦情の対応については、社会福祉法第 82 条において「社会福祉事業の経営者は、常に、その提供する福祉サービスについて、利用者等からの苦情の適切な解決に努めなければならない」と規定されています。

委員会の委員（12 名）は、別途設置された選考委員会の同意を得て選任され、次の 2 つの合議体に分かれ事務を分担しています。

① 福祉サービス利用援助事業に関する合議体（運営監視合議体、委員 7 名）

福祉サービス利用援助事業の実施主体からの報告を受けるとともに、事業委託先から抽出した 9 市町社協について現地調査を行いました。現地調査では、預かり品の確認のため金融機関の貸金庫に出向き、保管状況の確認も行いました。

② 福祉サービスの苦情解決に関する合議体（苦情解決合議体、委員 5 名）

苦情及び相談の受付件数は、48 件でした。

これらについて、合議体で審議し、必要な対処を行いました。

苦情・相談の受付方法は電話が最も多く 36 件（75.0%）でした。申出人は利用者が最も多く 35 人（72.9%）でした。その利用者の内 26 人（74.2%）は障がい者でした。

この事業の周知を図るためインターネット掲載、広報紙掲載、ポスター配布などの広報活動に努めました。

さらに、社会福祉事業の経営者における適切な苦情解決への取組強化を促進するため、研修会の開催、出前講座実施、巡回訪問及び苦情解決取組状況調査を行いました。

(15) 法人設立 70 周年記念事業

昭和 30 年 12 月 22 日の法人設立以来、令和 7 年度で 70 周年を迎える節目の年となることから、次のとおり記念事業を実施しました。

① 県地域福祉推進フォーラムの開催

12 月 18 日、ビッグ愛（和歌山市）において、「変わらないために変わり続ける」をテーマに、県地域福祉推進フォーラムを実施しました。摂南大学現代社会学部講師上野山裕士先生から「地域共生社会の実現に向けて～変わらないために変わるべきもの～」をテーマに基調講演を行うとともに、県内の幅広い分野、世代の実践者 7 人から「社会的孤立」「防災・災害」への取組についてトークセッションを行い、市町村社協や社会福祉施設、民生委員・児童委員等計 169 人（登壇者等関係者含め約 200 人）の参加がありました。

② きしゅうあったかマルシェ 2025 の開催

前掲①の地域福祉推進フォーラムと併せて、県内から 13 の就労継続支援事業所等に出店いただき、それぞれの事業所等で作られたパンやクッキー、お弁当、コーヒー、雑貨等を販売するイベント「きしゅうあったかマルシェ 2025」を開催したところ、約 500 人の来場がありました。

③ 法人設立 70 周年記念小史の発刊

平成 27 年度から令和 7 年度までの 10 年間を振り返りながら、未来への更なる発展を誓うため、法人設立 70 周年記念小史を発刊し、前掲①の県地域福祉推進フォーラム参加者及び本会会員等関係者に配布するとともに、本会ホームページに掲載しました。

3 業務の適正を確保するための体制の整備と運用状況

業務の適正を確保するための体制（社会福祉法第 45 条の 13 第 4 項第 5 号）として、本会全体で「内部管理体制の基本方針」（平成 30 年 5 月 28 日理事会議決）に基づき、内部管理体制を運用しました。

～事項別報告～

I 総務企画部

《総務企画部・総務経営班・法人運営事業関係》

1 法人運営及び関係機関・団体（会員）との連携強化

(1) 法人経営体制の充実と強化

① 理事会、評議員会の定期的な開催及び必要な情報提供

ア 理事会の開催（計8回）

期日	会場	議題
4月18日	ビッグ愛	① 会長の選定 ② 副会長の選定
6月4日	ビッグ愛	① 令和6年度事業報告の承認 ② 令和6年度計算書類の承認 ③ 次期理事・監事候補者の提案 ④ 令和7年度定時評議員会の開催 【報告事項】 ① 会長及び業務執行理事の職務執行状況
6月16日	— (決議の省略)	① 次期理事候補者の提案 ② 令和7年度定時評議員会の開催
7月1日	ビッグ愛	① 会長の選定 ② 副会長の選定 ③ 常務理事の選定 ④ 「評議員選任・解任委員会」委員の選任
8月8日	— (決議の省略)	① 理事候補者の提案 ② 令和7年度第2回臨時評議員会の開催
8月29日	ビッグ愛	① 会長の選定 ② 副会長の選定
3月6日	— (書面決議)	① 和歌山県社会福祉協議会事務局規程の一部改正
3月25日	ビッグ愛	① 令和7年度補正予算の承認 ② 令和8年度事業計画の承認 ③ 令和8年度予算の承認 ④ 会長による利益相反取引の承認 ⑤ 会計監査人の報酬 ⑥ 役員等賠償責任保険契約 ⑦ 重要な役割を担う職員の選任 ⑧ 「評議員選任・解任委員会」委員の欠員に伴う後任者の選任 ⑨ 旅費規則の一部改正 【報告事項】 ① 会長及び業務執行理事の職務執行状況

イ 定時評議員会の開催

期日	会場	議題
6月24日	ビッグ愛	① 令和6年度事業報告の承認 ② 令和6年度計算書類の承認 ③ 林保行氏を理事として選任 ④ 松下明氏を理事として選任 ⑤ 森田昌伸氏を理事として選任 ⑥ 竹中昭美氏を理事として選任

		⑦ 土井邦夫氏を理事として選任 ⑧ 玉置良行氏を理事として選任 ⑨ 西井幸男氏を理事として選任 ⑩ 佐本綾子氏を理事として選任 ⑪ 吉野裕也氏を理事として選任 ⑫ 中村茂氏を理事として選任 ⑬ 前田恵美氏を監事として選任 ⑭ 堀川憲一氏を監事として選任 ⑮ 伊藤尚人氏を監事として選任
--	--	--

ウ 臨時評議員会の開催（計２回）

期日	場所	議題
4月15日（決議があったものとみなされた日）		① 吉野裕也氏を理事として選任
8月29日	ビッグ愛	① 宮崎泉氏を理事として選任

エ 評議員選任・解任委員会の開催（計１回）

期日	場所	議題
6月16日	ビッグ愛	① 伊藤明雄氏を評議員として選任 ② 妻木茂氏を評議員として選任 ③ 船木栄子氏を評議員として選任 ④ 岡鼻崇氏を評議員として選任 ⑤ 仲毅氏を評議員として選任 ⑥ 辻岡龍閣氏を評議員として選任 ⑦ 土井淳宏氏を評議員として選任 ⑧ 松下直樹氏を評議員として選任 ⑨ 岡哲司氏を評議員として選任 ⑩ 岩橋正悟氏を評議員として選任 ⑪ 富松伸六氏を評議員として選任 ⑫ 北原文子氏を評議員として選任 ⑬ 大畠信雄氏を評議員として選任 ⑭ 梅本靖子氏を評議員として選任 ⑮ 大越康臣氏を評議員として選任 ⑯ 上岡美穂氏を評議員として選任 ⑰ 松田美代子氏を評議員として選任 ⑱ 森下順子氏を評議員として選任

オ 監事会の開催（計１回）

期日	会場	議題
5月20日	ビッグ愛	① 令和6年度事業概況報告、決算報告 ② 会計監査人による令和6年度会計監査報告 ③ 監事監査要領に基づく令和6年度事業、決算に関する監査

カ 理事・監事・評議員懇談会（計１回）

期日	会場
2月3日	和歌山市

② 会計監査人による適切な会計監査の実施

7月1日に稲田旭彦公認会計士事務所 稲田旭彦氏と令和7年度にかかる監査契約を締結した。

(2) 会員制度の充実・強化

① 正会員・賛助会員の加入促進

ア 一般会費の納入依頼

会員規程により、新施設への加入依頼を含め、市町村社会福祉協議会、民生委員・児童委員、社会福祉事業経営者（法人単位）、社会福祉に関する活動を行う団体に会費の納入依頼を行った。

【会費納入依頼先数】

市町村社協会費	30 市町村社協
民生委員・児童委員会費	30 市町村民児協 2,693 名
社会福祉事業経営者会費	法人・施設及び市町村 336 か所
社会福祉に関する活動を行う団体	28 団体及び 35 郡市町村老人クラブ連合会

イ 賛助会員の募集

令和 7 年度賛助会員の募集を行い、企業、団体等より 69 口のご協力をいただいた。

(3) 全国・近畿ブロック社協及び行政機関、関係団体との連携強化

① 全国・近畿ブロック等会議への参加

会議名	期日	場所等	参加者
全国社会福祉協議会評議員会	6 月 23 日、3 月 26 日	東京都	1 名
全国社会福祉団体職員退職手当積立基金常任委員会	7 月 11 日、1 月 9 日	東京都	1 名
全国社会福祉団体職員退職手当積立基金運営委員会	7 月 25 日、1 月 30 日	東京都	1 名
都道府県・指定都市社協常務理事・事務局長セミナー	7 月 24、25 日	東京都	2 名
近畿ブロック府県社協常務理事・事務局長会議【幹事県】	9 月 19 日	和歌山県	5 名
全国社会福祉協議会福祉懇談会	10 月 15 日	東京都	1 名
福祉ビジョン 21 世紀セミナー	10 月 16 日	東京都	1 名
「新たな事業」に関する常務理事・事務局長会議	11 月 7 日	オンライン	2 名
第 46 回近畿地区知的障害関係施設長等会議	1 月 29 日	和歌山市	1 名
都道府県・指定都市社協常務理事・事務局長会議	1 月 30 日	東京都	2 名

② 県内関係団体会議への参加

会議名	期日	場所	参加者
介護給付費等審査会	4 月 24 日、5 月 28 日、 6 月 26 日、7 月 29 日、 8 月 27 日、9 月 29 日、 10 月 29 日、11 月 26 日、 12 月 25 日、1 月 28 日、 2 月 26 日、3 月 27 日	和歌山市	1 名
和歌山キワニスクラブ例会	4 月 22 日、5 月 13 日、 6 月 10 日、7 月 8 日、 9 月 9 日、10 月 14 日、 11 月 11 日、12 月 9 日、 1 月 13 日、2 月 10 日、 3 月 10 日	和歌山市	1 名
和歌山県障害者スポーツ協会理事会	5 月 1 日	和歌山市	1 名
第 25 回和歌山県障害者スポーツ大会	5 月 18 日	和歌山市	1 名
和歌山県済生会理事会	5 月 8 日、9 月 18 日、	和歌山市	1 名

	1月29日			
和歌山県教育委員会事務評価審議会	5月12日	和歌山市	1名	
和歌山弁護士会新役員就任披露会	5月22日	和歌山市	1名	
和歌山県共同募金会評議員選任・解任委員会	6月12日、3月27日	和歌山市	1名	
和歌山県障害児教育振興会総会	6月13日	和歌山市	1名	
和歌山県青少年育成協会通常総会	6月24日	和歌山市	1名	
和歌山県共同募金会定時評議員会	6月25日	和歌山市	1名	
和歌山県地域公共交通活性化協議会	6月25日	和歌山市	1名	
近畿乳児福祉協議会 和歌山大会	6月26日	白浜町	1名	
中央競馬馬主社会福祉財団助成事業推薦委員会	7月16日	和歌山市	2名	
和歌山県立青少年の家のあり方に関する検討委員会	7月28日	和歌山市	1名	
白梅賞受賞者選考委員会 白梅賞受賞者表彰式	8月22日 10月28日	和歌山市	1名	
紀の国チャレンジド賞選考等委員会 紀の国チャレンジド賞表彰式	9月12日 12月9日	和歌山市	1名	
赤い羽根・物価高騰下のいのちをつなぐ支え合いキャンペーン助成審査委員会	9月16日	和歌山市	2名	
つくし会肖像画除幕式	10月30日	岩出市	1名	
篠原欣子記念財団こども食堂応援プログラム助成審査委員会	11月14日	和歌山市	2名	
和歌山県精神保健福祉審議会	11月25日	和歌山市	1名	
市町村単位老人クラブリーダー研修会	紀北	11月26日	和歌山市	1名
	紀中・紀南	11月28日	田辺市	1名
和遊協助成金交付事業選考委員会	1月16日	和歌山市	1名	
和歌山県ナースセンター事業運営に関する懇話会	2月12日	和歌山市	1名	
和歌山県長寿社会対策推進会議	3月24日	和歌山市	1名	
和歌山県介護普及センター運営委員会	3月26日	和歌山市	1名	

(4) 共同募金会との連携

① 社会福祉法第119条に基づく意見の提出及び赤い羽根共同募金街頭募金等への協力

ア 共同募金に関する意見書の提出

イ 令和7年度「赤い羽根共同募金運動」街頭募金等への協力

期日	内容	本会参加者
10月1日	「赤い羽根共同募金運動」街頭募金への協力	2名
10月10日	「赤い羽根共同募金運動」セレモニーへの協力	8名
12月11日	NHK 歳末たすけあい街頭募金への協力	2名

ウ 自販機型募金箱「ハートフルベンダー」の設置・普及協力

② 共同募金の周知及び理解促進

ア 広報誌による共同募金の普及啓発の促進

(5) 災害時の福祉救援活動への取組

① 近畿ブロック府県・指定都市社協災害時の相互支援に関する協定に基づく会議に出席し、情報交換を行った。

期日	内容	会場等
4月21日	・全社協主催 災害対応ブロック幹事県・市社協会議の報告 ・全社協主催「社協の応援派遣のあり方」検討委員会（仮称）の委員推薦について ・令和7年度近畿ブロック災害支援研修について	オンライン
8月7日	・全社協主催 災害対応ブロック幹事県・市社協会議の報告 ・社協の応援派遣スキームのあり方について ・トライアル派遣の実施について ・令和7年度近畿ブロック災害支援研修について	オンライン

② 令和7年7月30日のカムチャツカ半島付近で発生した地震への対応

令和7年7月30日8時25分頃にカムチャツカ半島付近で発生した地震により、同日9時40分に津波警報が発令されたため、以下のとおり対応した。

ア 令和7年7月30日11時00分 和歌山県社会福祉協議会災害対策本部の設置

同本部を設置し、県内の市町村社協や社会福祉法人等に被害状況等の確認を行った。

イ 令和7年7月31日9時30分 和歌山県社会福祉協議会災害対策本部の解散

被害の報告がなく、また津波警報から津波注意報に移行されたため、同本部を解散した。

③ 令和7年度広域・同時多発災害対応訓練に合わせた本会事務局の対応訓練

日時	内容
1月20日～	・初動対応（緊急会議の開催、職員の安否確認等） ・災害救援本部設置 ・県内社協相互支援協定に基づく連絡、情報収集
1月22日	・本会内部職員への支援活動説明会の開催
1月24、25日	・災害ボランティアセンター開設及び運営支援（災害救援本部として）

2 法人運営基盤の強化

（1）公費の安定的確保

県への翌年度予算要求に際し、県から事業費のシーリングは示されなかったが、事業の見直し及び事務の省力化等により、事業の実施に必要な予算を確保した。

（2）自主財源の確保促進

① 収益事業の実施

区分	収入金額
ア 飲料自動販売機の設置設営 和歌山県立医科大学	9,164,690 円
イ 全国社会福祉協議会出版図書等の斡旋販売 社会福祉手帳の販売斡旋	43,886 円
ウ 自動車共済斡旋	44,355 円

② 共同募金を中心とした民間財源の活用促進

赤い羽根共同募金の受配金により、下記の事業を実施した。（事業内容は別掲）

事業名称	配分額
広報誌「福祉わかやま」発行事業	2,800,000 円
地域福祉推進フォーラム開催事業	230,000 円

③ 基金等の運営

ア はまゆう基金

発足 45 年目を迎えた本基金の原資総額は 277, 514, 535 円となった。

a 原資内訳

種 別	金 額
県補助金	100, 000, 000 円
寄附金	173, 671, 360 円
利息繰入金	3, 843, 175 円
合 計	277, 514, 535 円

b 活用事業

県ボランティア連絡協議会助成事業等に対し預金利子（3, 044, 296 円）を活用した。

イ 堤基金

a 原資内訳

種 別	金 額
寄附金	32, 100, 000 円
利息繰入金	36, 401, 739 円
合 計	68, 501, 739 円

b 活用事業

企画広報事業に対し預金利子（467, 950 円）を活用した。

ウ いきいき事業基金

a 原資内訳

種 別	金 額
寄附金	100, 530, 000 円
合 計	100, 530, 000 円

b 活用事業

いきいき長寿社会センター事業に対し預金利子（1, 102, 800 円）を活用した。

エ 福祉基金

本会の緊急に必要な経費及び災害救援活動経費に充てるために積み立てを行っているもので、本年度末の積立額は 55, 814, 343 円となった。

④ 寄附の受入れ

ア 一般寄附

日 付	寄附者（敬称略）	金 額
5 月 23 日	収集ボランティア	6, 000 円
11 月 26 日	収集ボランティア	15, 000 円
11 月 28 日	一般財団法人近畿陸運協会	250, 000 円
12 月 23 日	（株）テレビ和歌山	150, 000 円
1 月 23 日	収集ボランティア	3, 600 円
1 月 23 日	地域住民	1, 575, 639 円
合 計		2, 000, 239 円

令和 8 年度の本会事業費に充当予定。

⑤ 寄附の受入れ（物品）

車いす及び寄附物品等については、ボランティアセンター事業等において掲載。

(3) 情報収集・情報提供機能の強化

第6次活動計画6つの重点目標（①社会的孤立への対応、②市町村社協とともに地域福祉の基盤づくり、③相談支援・生活支援と権利擁護の充実、④多様な主体や社会資源がつながる地域づくりの支援、⑤地域福祉を支える組織や専門職の確保・養成、⑥自然災害への対応）に関する取組を広報誌「福祉わかやま」及び本会ホームページ、SNSにて随時紹介した。

(4) 本会広報誌「福祉わかやま」の発行

発行日	毎月1日、年11回発行
体裁	A4版、8ページ、4色カラー刷り
発行部数	10,000部
配布先	市町村社協、民生委員児童委員、社会福祉施設・団体、行政関係機関、学校・教育関係機関、図書館、公民館、病院、その他

(5) ホームページによる情報提供（随時更新）

名称	URL
社会福祉法人和歌山県社会福祉協議会	https://www.wakayama-wel.jp
代表メールアドレス	washakyo@wakayamakenshakyo.or.jp

(6) 社会福祉関係助成事業の情報集約・提供・協力

関係機関の助成事業情報を集約し、ホームページや広報誌を用いて情報提供に努めるとともに、下記の推薦事務等を行った。

① 各種助成事業の情報提供・協力

ア 24時間テレビチャリティーキャンペーンへの協力

募集・選考に協力し、次のとおり県内の助成団体が決定された。

団体名	寄贈車種
社会福祉法人 白浜町社会福祉協議会	リフト付きバス
社会福祉法人 博芳福祉会	スロープ付き軽自動車
一般社団法人 ウインワークス	福祉サポート車

(7) 職員育成・資質向上に向けた取組強化

① 職員研修の実施・参加

ア 内部研修

研修名	期日	会場	参加
新規採用職員向け説明会	4月2日	県社協内	7名
第6次県社協活動計画の進捗状況の共有	12月24、25日	ビッグ愛	56名
人権・同和特別研修	1月7、8日	ビッグ愛	54名
先輩職員から学ぶ～県社協をリードしてきた軌跡と後輩、未来へのメッセージ～	3月12日	ビッグ愛	46名
“攻め”の広報戦略	3月16日	ビッグ愛	19名

イ 全社協及び県社協福祉人材研修部をはじめとする関係外部機関等の研修への参加

研修名	期日	会場	参加
福祉サービス接遇マナー研修	4月23日	ビッグ愛	2名
社会福祉や対人援助の特性を学ぶ！【基礎編】	5月21日	ビッグ愛	5名
ファシリテーション研修	6月4日	ビッグ愛	2名
質の高い仕事の進め方のノウハウを学ぶ！	6月12日	ビッグ愛	1名

ホワイトボードミーティング 2Day セミナー	6 月 21、22 日	大阪市	1 名
福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 【初任者編】	7 月 29 日、10 月 21 日	ビッグ愛	1 名
地域生活課題の解決に向けたソーシャルワーク研修会	6 月 19 日、7 月 24 日、 8 月 28 日	ビッグ愛	2 名
福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 指導者養成研修会	7 月 5～7 日	中央福祉学院	2 名
福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 【管理職員編】	9 月 3、4 日	ビッグ愛	4 名
SNS・ソーシャルメディアを利用した広報力 向上講習会	9 月 24 日	オンライン	1 名
人権・同和特別研修指導責任者研修	10 月 14 日	オンライン	3 名
都道府県・指定都市社協 新任職員研修会	10 月 26～28 日	中央福祉学院	1 名
第 22 回全国社協職員のつどい和歌山大会	11 月 22、23 日	海南ノビノス他	10 名
風通しのよい職場づくり研修	12 月 16 日	オンライン	1 名
社会福祉協議会 新任職員研修会	12 月 23 日	ビッグ愛	3 名
カスタマーハラスメント対策研修	1 月 16 日	ビッグ愛	5 名
組織マネジメント基礎講座	1 月 27 日、2 月 6 日	オンライン	2 名
リスクマネジメント研修	2 月 13 日	ビッグ愛	1 名
救命講習会	3 月 19 日	ビッグ愛	3 名

(8) 人事・労務管理の強化

① 事業の進行管理（目標管理）の遂行

県社協の事業が計画どおり進行するよう管理体制の確立を図るとともに、組織及び個人の目標を明確化することにより、職員一人ひとりの業務に対する意欲の向上、能力の開発を図り、人材の育成強化、組織の活性化・成果の向上に資することを目的として「目標管理制度」による目標管理を実施した。

② 職場見学・職員採用説明会の実施

本会の採用試験を受験しようとしている方に具体的な仕事や職場環境をイメージしてもらい、就職後のミスマッチを防ぐとともに、受験予定者との交流を図ることを目的に開催した。

実施日	参加者数	内 容
7 月 3 日	5 名	【オリエンテーション】 【説明①】 県社協の概要 【説明②】 若手職員が仕事内容・やりがいを説明 【まとめ】 採用情報等説明

③ 職場説明会・体験会の実施（計 1 回）

福祉業界を取り巻く状況や福祉の魅力に対する理解を深めていただくとともに、職場説明会・体験会を通して社会福祉協議会の事業に興味をもっていただくことで、本会の職員採用試験受験者の増加に繋げることを目的に開催した。

実施日	参加者数	内 容
3 月 3 日	3 名	【オリエンテーション・アイスブレイク】 【説明①】 事業概要説明 【座談会】 若手職員と座談会

		【説明②】採用情報等説明 【体験・見学】福祉・介護・保育の就職フェアわかやま 【まとめ】まとめのワーク
--	--	--

(9) その他

① 県社協企画広報ワーキングチーム

第6次県社協活動計画の基本理念等の実現に向けて、県社協の「情報発信・広報力の強化」を目指し、月刊広報誌「福祉わかやま」やホームページ、SNS 等の内容充実をはじめ、福祉情報の収集・提供、本会事業のPR、地域福祉推進フォーラムの内容検討等、セクションの枠を超えた協議を柔軟に行うために、県社協企画広報ワーキングチームを設置した。

構成人数	開催回数	主な内容
10 名	12 回	①広報誌「福祉わかやま」の企画編集 ②ホームページ、SNS 等の企画・効果的運用 ③その他、福祉情報の収集・提供

② その他

期日	場所	内容
9 月 4 日	和歌山市	安全運転管理者講習の受講
11 月 15 日	田辺市	人権フェスタへの参画

《総務企画部・総務経営班・社会福祉事業従事者福利厚生事業及び表彰事業関係》

1 社会福祉事業従事者の福利厚生事業等への取組

(1) 県民間社会福祉事業従事者共済の運営

① 給付事業、貸付事業、福利厚生事業の実施

ア 加入状況（令和8年3月31日現在）

施設・団体数 284 か所、会員 8,067 名

イ 給付事業

種 別	人 員	給付額
退職手当給付金	965 人	966,035,461 円
結婚祝金	96 人	2,880,000 円
出産祝金	182 人	5,460,000 円
傷病見舞金	112 人	4,430,000 円
災害見舞金	0 人	0 円
死亡弔慰金	4 人	400,000 円
合 計	1,359 人	979,205,461 円

ウ 貸付事業

種 別	人 員	貸付額
生活資金	1 人	500,000 円
住宅資金	0 人	0 円
合 計	1 人	500,000 円

エ 福利厚生事業

家庭常備薬の斡旋

- ・ 6 月実施：219 事業所、1,827 人が利用
- ・ 10 月実施：209 事業所、1,608 人が利用
- ・ 2 月実施：210 事業所、1,695 人が利用

② 運用基本方針に基づいた資産運用の実施

ア 「民間社会福祉事業従事者共済運営委員会」の開催

期 日	名 称	場 所	議 事
8 月 5 日	第 1 回 運営委員会	ビッグ愛	・ 令和 6 年度事業報告について ・ 令和 6 年度決算報告について
9 月 26 日	第 2 回 運営委員会	文書審議	・ 委員長、副委員長の選任について
12 月 2 日	第 3 回 運営委員会	ビッグ愛	・ 定年延長に伴う退職金給付制度の見直しについて
3 月 19 日	第 4 回 運営委員会	ビッグ愛	・ 「資産の運用ガイドライン」の一部改正について ・ 資産運用外部委託の追加抛出について ・ 令和 7 年度補正予算（案）について ・ 令和 8 年度事業計画（案）について ・ 令和 8 年度予算（案）について ・ 退職金給付事業施行細則の改正（案）について ・ 加入団体の定年延長に伴う掛金及び給付金の取扱い等に関する要領（案）について

イ 資産運用に関する基本方針に基づいた運用

基本方針に基づき、外部委託による資産運用の実施。

【外部委託資産運用状況（令和8年3月31日現在）】

金融機関名	信託元本	時価総額	時間加重収益率
三菱UFJ 信託銀行	5,394,668,779 円	6,158,670,017 円	2.14%
りそな銀行	4,778,123,193 円	5,216,873,291 円	4.14%
みずほ信託銀行	2,261,392,388 円	3,104,333,098 円	10.18%
計	12,434,184,360 円	14,479,876,406 円	

③ 退職金充足率

138.56%（令和8年3月31日現在の要支給額に基づく）

④ 加入施設・事業所及び会員への情報公開

加入施設・事業所及び会員に対して文書にて報告を行った。

期 日	報告内容
6月13日	令和7年3月末現在の共済の現状
10月17日	令和7年9月末現在の資産運用状況

⑤ 共済制度の加入促進

新規加入施設・事業所 1 か所

⑥ 全国民間社会福祉従事者共済連絡協議会及び他の共済実施団体との連携

会議名	期 日	場所
令和7年度 全国民間社会福祉従事者共済連絡協議会 全国会議	10月30～31日	滋賀県
令和7年度 東海・近畿ブロック会議【開催当番県】	1月22日	和歌山県

（2）独立行政法人福祉医療機構「社会福祉施設職員等退職手当共済制度」の事務受託

- ① 令和7年3月31日での業務委託契約の解約に伴い、契約解除後の経過措置として、4月1日から6月30日まで関係書類の転送業務を行った。

（3）福利厚生センターの地方事務局の受託

- ① 受託事務の遂行及び会員交流事業の企画・実施

ア 加入状況（令和8年3月31日現在）

加入法人・団体：51 法人・団体（会員数：1,894 名）

イ 会員交流事業の企画・実施

期 日	事業名	参加人数
4月1日～2月28日	ナガシマリゾート電子クーポン	会員・家族 36 名
6月1日～12月31日	海遊館入館割引券	会員・家族 42 名
7月1日～10月31日	ラフォーレ倶楽部宿泊プラン	会員・家族 24 名
8月24日	京都貴船川床バスツアー	会員・家族 45 名
9月20日	よしもと新喜劇観劇バスツアー	会員・家族 45 名
12月1日～3月31日	ディナークーポン	会員・家族 320 名
1月18日	宝塚歌劇観劇バスツアー	会員・家族 45 名
2月8日	かにグルメ日帰りバスツアー	中止(悪天候のため)
2月27日～3月16日	優待販売！お取り寄せグルメ (かにグルメ日帰りバスツアー中止による代替事業)	会員 12 名

② その他

会議への参加

会議名	期 日	場所等
福利厚生センター全国連絡会議	8 月 29 日	オンライン

(4) 社会福祉関係功労者の顕彰

① 県社会福祉功労者表彰式の開催

ア 期 日 10 月 1 日

イ 場 所 県民交流プラザ和歌山ビッグ愛（和歌山市）

ウ 参加者 約 140 名

エ 内 容 ・和歌山県知事感謝 32 名 3 団体
 民生委員・児童委員功労者 24 名
 社会福祉事業従事功労者 8 名
 福祉ボランティア功労者 3 団体
 ・和歌山県社会福祉協議会会長表彰 111 名 5 団体
 民生委員・児童委員功労者 33 名
 社会福祉施設役員・職員功労者 48 名
 社会福祉関係団体役員・職員功労者 1 名
 社会福祉協議会役員・職員功労者 8 名
 ボランティア功労者 2 名 4 団体
 永年勤続功労者 19 名
 優良社会福祉協議会 1 社協

② 県社協会長表彰、感謝の授賞

ア 県社協会長表彰

10 月 1 日に和歌山市で開催された令和 7 年度和歌山県社会福祉功労者表彰式において、社会福祉関係者の功労をたたえ、本会会長表彰を行った。

（被表彰者数は、前掲①県社会福祉功労者表彰式の開催のエ内容に記載）

イ 県社協会長表彰及び全社協会長表彰候補者推薦審査会の開催

期 日	場 所
7 月 10 日	和歌山県庁北別館

ウ 県社協会長感謝

本会が行う事業等に協力援助し、その功績が顕著であった 1 名・2 団体に対し、本会会長感謝状の贈呈を行った。

③ 各種表彰等への推薦

ア 全社協会長表彰候補者の推薦

全国社会福祉協議会会長表彰の推薦を行い、下記のとおり計 32 名が受賞された。

区 分	受賞者数
民生委員・児童委員功労者	5 名
社会福祉法人・福祉施設功労者	5 名
社会福祉協議会・民間社会福祉団体功労者	1 名
永年勤続功労者	21 名

《総務企画部・企画班・地域福祉活動推進支援事業関係》

1 市町村社会福祉協議会の活動支援、地域福祉の推進

地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制の構築を視野に入れ、人材の育成・資質向上を促進するとともに、各地域における事業展開を支援した。

(1) 包括的な相談支援に取り組める人材の育成・資質の向上

① 地域生活課題の解決に向けたソーシャルワーク研修会

回	期日・参加者・場所	内容概要
1	期 日 場 所 参 加 者 6月19日 和歌山ビッグ愛2階 社協12名（県社協含む）、施設3名、行政10名（計25名）	【講義編】 (1) 「地域共生社会の実現に向けた県の取組について」 県福祉保健部福祉保健政策局 社会福祉課 地域福祉班 主査 竹内 康模 氏 (2) 講義①「地域生活課題の捉え方」 ②「地域共生社会とは何か」 ③「ソーシャルワークの基礎」 講師：摂南大学 講師 上野山 裕士 氏
2	期 日 場 所 参 加 者 7月24日 和歌山ビッグ愛 展示ホール 社協11名（県社協含む）、施設2名、行政4名（計17名）	【演習編】 事例報告①「社会福祉施設×地域生活課題」 社会福祉法人和歌山県社会施設事業会 （児童養護施設 こぼと学園） 自立支援コーディネーター担当職員 山東 真以 氏 事例報告②「行政×地域生活課題」 日高川町役場（保健福祉課）社会福祉士 阪田 伸哉 氏 保健師・主任ケアマネジャー 保田 尚子 氏 助言者：摂南大学 講師 上野山 裕士 氏
3	期 日 場 所 参 加 者 8月28日 和歌山ビッグ愛 12階 社協10名（県社協含む）、施設2名、行政2名（計14名）	【実践編】 演習：地域生活課題の解決に向けた、アクションプラン作成 プレゼン：参加者（事前学習によるアクションプラン） 助言者：摂南大学 講師 上野山 裕士 氏

② 社会福祉協議会新任職員研修会

期日・参加者・場所	内容概要
期 日 場 所 参 加 者 12月23日 和歌山ビッグ愛12階 20社協33名（県社協含む）	(1) 【仲間づくり・チームビルディングゲーム】 ペーパータワー作成からチームで行うことの意味を考える (2) 【講義①】「社会福祉協議会とは」 和歌山県社会福祉協議会 総務企画部 副部長 井上 真典 (3) 【仲間づくり・昼食】 (4) 【講義②】「先輩職員から学ぶ」 講師：かつらぎ町社会福祉協議会 主査 澤本 真希 氏 すさみ町社会福祉協議会 地域福祉活動専門員 田中 大介 氏 (5) リフレクションとアクションプランづくり (6) 仲間に向けてメッセージ

③ 研修の情報提供および参加促進

市町村社会福祉協議会における人材育成、職員の資質向上に係る計画的な研修受講のため、県

社協、県市町村社協連絡協議会、全国社会福祉協議会等が実施する研修を一覧にした「研修リスト」を作成し提供した。

また、メールニュース等による研修情報の提供により、参加促進に努めた。

(2) 地域福祉推進の中核を担う市町村社協活動の強化促進

① 市町村社協巡回訪問等による個別支援

期日	支援社協	内容
4月15日	有田地方社協	令和7年度有田地方社協連絡協議会職員研修（講師派遣）
7月25日	有田地方社協	令和7年度有田地方社協連絡協議会研修会
8月6日	紀北ブロック社協	令和7年度和歌山県市町村社協連絡協議会 紀北ブロック第1回会議
10月22日	紀美野町社協	紀美野町社会福祉協議会第1回介護保険事業所運営検討委員会
11月6日	新宮市社協	地域ささえあいフォーラム「みんなでつくろう！わがらのまち」
11月21日	田辺市社協	役職員研修会（講師派遣）
2月5日	紀美野町社協	紀美野町社会福祉協議会第2回介護保険事業所運営検討委員会 事前打ち合わせ
2月9日	白浜町社協	第4期白浜町地域福祉推進計画評価委員会
2月13日	紀北ブロック社協	紀北ブロック社協 職員研修会
2月18日	紀美野町社協	紀美野町社会福祉協議会第2回介護保険事業所運営検討委員会
2月17日	美浜町社協	法人運営に関する情報の提供

② 和歌山県市町村社協連絡協議会活動の支援

ア 市町村社会福祉協議会 会長会議

回	期日・参加者・場所	内容概要
1	期 日 場 所 参 加 者 12月18日 和歌山ビッグ愛12階 26社協 58名 (県社協含む)	(1) 優良社協表彰 活動報告 「災害時に備えた地域づくり（災害ボランティア運営事業）について」 主旨説明：社会福祉法人和歌山県社会福祉協議会 事務局長 藁科 智将 報告：社会福祉法人海南市社会福祉協議会 会長 伊藤 明雄 氏 事務局長 仲 恭伸 氏 (2) 報告・協議 「災害福祉法制とこれからの社協に求められる活動・機能」 県災害ボランティアセンター 所長 南出 考

イ 市町村地域福祉主管課長・市町村社会福祉協議会事務局長会議

回	期日・参加者・場所	内容概要
1	期 日 場 所 参 加 者 10月14日 和歌山ビッグ愛 大ホール 30社協 55名 (県社協含む)、 27市町村 33名	(1) 行政説明 「和歌山県地域福祉推進計画の改定と市町村意見交換会について」 県福祉保健部福祉保健政策局 社会福祉課 地域福祉班 班長 則岡 麻耶子 氏 ① 和歌山県地域福祉推進計画 改訂版の概要について ② 市町村との意見交換会・アンケート結果報告

		③ その他 (2) 実践報告 「重層的支援体制整備事業の実施状況について」 橋本市 健康福祉部 福祉課課長補佐 高井 喜也 氏 ① 重層的支援体制整備事業の概要 ② 個別支援事例の紹介 (3) 県社協説明 ① 「社協基本要項 2025 から考えるこれからの社会福祉協議会」 県社協 地域福祉部 部長 榎本 幸治 ② 「社会福祉協議会に求められる役割と今後の方向性について 社協と災害支援活動」 県災害ボランティアセンター 所長 南出 考 県社協 総務企画部 副部長 井上 真典 ③ 「特例貸付借受人等生活困窮者への支援について」 県社協 地域福祉部 生活資金班 班長 田中 諭
--	--	---

ウ 業務課題検討会の開催

a 人材確保、人材育成

回	期日・参加者・場所	内容概要
1	期 日 場 所 参 加 者 6月16日 和歌山ビッグ愛7階 8社協 8名	(1) 検討テーマの確認 ① 新任職員研修会の企画について ② メンバーで検討していきたいこと (2) 報告 令和7年度県内社会福祉協議会版職業体験事業（進捗状況）
2	期 日 場 所 参 加 者 9月29日 和歌山ビッグ愛7階 7社協 7名	(1) 新任職員研修会の延期について (2) 介護サービス部門の人材確保について (3) 和歌山県社会福祉法人経営者協議会とのタイアップによる研修について
3	期 日 場 所 参 加 者 1月15日 和歌山ビッグ愛7階 8社協 8名	(1) 県経営協・県経営協青年会・県保育連合会との共催による研修会（報告） (2) 新任職員研修会（報告） (3) 介護サービス部門の人材確保について (4) 今年度の検討会まとめについて

b 災害時の社協活動

回	期日・参加者・場所	内容概要
1	期 日 場 所 参 加 者 6月26日 和歌山ビッグ愛12階 18社協 29名 (県社協含む)	(1) 導入説明 ① 目的の共有 ② 県内における支援課題 ③ 災害支援の潮流 ④ 令和7年度広域・同時多発災害対応訓練について ⑤ 災害VC運営支援システム（キントーン）について (2) グループ討議 ① 自組織における大規模災害時の強化について

		② 災害時被災者支援における連携強化について
2	期 日 8月25日 場 所 和歌山ビッグ愛8階 参 加 者 24社協 44名 (県社協含む)	(1) 〈第1部〉災害VC運営支援システム(キントーン)次年度の運用・費用について ① 次年度の運用方針・費用負担について ② 今後の進め方・取り組みについて (2) 〈第2部〉社協の力・特性を発揮するために「強化課題の焦点化」 ① 導入説明 ② グループワーク
3	期 日 11月6日 場 所 和歌山ビッグ愛8階 参 加 者 20社協 35名 (県社協含む)	(1) 令和7年度広域・同時多発災害対応訓練について ① 訓練プログラム及び市町村社協からの参加について (2) 令和7年度近畿ブロック災害支援研修について ① 日程・会場等の共有及びプログラム協議進捗状況について (3) 社協の力・特性を発揮するために「強化課題の焦点化」 ① 趣旨説明 ② 全社協「災害時支援者研修」講師養成研修 受講者からの伝達(有田市社協 宮本氏) ③ グループワーク・まとめ

c 生活課題への取組(特例貸付借受人等生活困窮者への支援)

回	期日・参加者・場所	内容概要
1	期 日 8月26日 場 所 和歌山ビッグ愛1階 参 加 者 17社協 31名 (県社協含む)	(1) 昨年度検討会の振り返り (2) 課題提起 (3) 情報交換(グループワーク) ① 提供するサービスについて ② 新たな福祉課題について
2	期 日 9月22日 場 所 和歌山ビッグ愛1階 参 加 者 14社協 24名 (県社協含む)	(1) グループワーク(実施方法やポイントについて) ① 「フォローアップ支援のために提供するサービス」 ② 「新たな福祉課題、生活課題への対応」
3	期 日 10月28日 場 所 和歌山県勤労福祉会館プラザホープ3階 参 加 者 16社協 32名 (県社協含む)	(1) ワールドカフェ(全体共有によるブラッシュアップ) ① 「フォローアップ支援のために提供するサービス」 ② 「新たな福祉課題、生活課題への対応」
4	期 日 12月1日 場 所 和歌山県勤労福祉会館プラザホープ3階 参 加 者 14社協 28名 (県社協含む)	(1) 全体共有「フォローアップ支援のために提供するサービス」 (2) 全体共有「新たな福祉課題、生活課題への対応」 (3) 検討会での“学び”の振り返り リフレクションシートの作成

エ 市町村社会福祉協議会役職員研修会

期日・参加者・場所	内容概要
期 日 2月2日 場 所 和歌山ビッグ愛1階 大ホール	【和歌山県市町村社協連絡協議会 業務課題検討会報告】 (1) 人材確保・人材育成 古座川町社会福祉協議会 事務局長 寺岡 克視 氏 (2) 災害時の社協活動

参 加 者	28 社協 112 名 (県社協含む)	紀の川市社会福祉協議会 地域福祉課長補佐 道本 篤幸 氏 (3) 生活課題への取組 (特例貸付借受人等生活困窮者への支援) かつらぎ町社会福祉協議会 事務局長 山本 幸則 氏 (4) 社協の使命や活動・事業のあり方を考える会 (中間報告) 和歌山県社会福祉協議会 総務企画部 【講義】 「中期経営計画の策定を通じた社協の総合力の向上、社協の事業・組織基盤の強化」 社会福祉法人 全国社会福祉協議会 地域福祉部長 全国ボランティア・市民活動振興センター長 高橋 良太 氏
-------	------------------------	--

オ 過去の災害支援を踏まえた確認事項等への対応

a 令和7年度広域・同時多発災害対応訓練 (地域福祉部ボランティア振興班に記載。)

カ 市町村社会福祉協議会便覧の作成

和歌山県内の市町村社会福祉協議会の概要把握及び自己点検を目的に、市町村社会福祉協議会便覧を作成した。

キ 業務課題検討会にかかる企画の実行支援

a 社会福祉協議会職業体験

期日・参加者・場所		内容概要
期 日	令和7年8月 ～令和8年3月	○近畿府県の福祉系大学、短大、専門学校及び、県内の大学、短大、専門学校へのPR
場 所	受入社協 13 社協	○各受入社協での職業体験 (1～5 日)
参 加 者	20 名 (2 社協)	

③ 県内市町村社協における地域福祉活動計画の策定・実行の状況把握

ア 白浜町社会福祉協議会

回	期日	内容概要
1	2月9日	(1) 第4期白浜町地域福祉推進計画の進捗状況について (2) 助言者からの評価について (日本福祉大学 学長補佐 野尻 紀恵 氏) (3) 意見交流

④ 多様な地域福祉実践の情報収集と発信

ア 市町村社会福祉協議会等の地域福祉活動事例等の収集及びホームページや SNS による掲載に努めた。

イ 地域づくりと居場所のチカラを考える協働実践研修会 (和歌山会場) について、サテライト会場としての運営を行った。

期日・参加者・場所		内容概要
期 日	7月18日	(1) 開会挨拶 厚生労働省、子ども家庭庁
場 所	和歌山ビッグ愛 1 階 展示ホール	(2) 報告 こども食堂全国箇所数調査の結果などから見える こども食堂の現状 (むすびえ 北川 氏)
参 加 者	16 名	(3) 基調講演 こども食堂や居場所のちから (むすびえ 湯浅 氏)

	(4) 分科会（第1分科会運営）今更聞けない！こども食堂って何？ 進行・コーディネーター：始良市社協、青森県社協 活動報告①守山市社協（滋賀県）柳 氏 活動報告②奥州市社協（岩手県）浅間 氏 活動報告③薩摩川内市社協（鹿児島県）山内 氏、福元 氏 (5) 各会場からの報告 (6) 閉会挨拶 全国社会福祉協議会（ボランティア・市民活動振興部）
--	--

(3) 「相談・支援体制の強化」と「地域づくりのための活動基盤整備」の支援

① 生活課題への取組

上記、(2) 地域福祉推進の中核を担う市町村社協活動の強化促進-②和歌山県市町村社協連絡協議会活動の支援-ウ 業務課題検討会の開催-c 生活課題への取組（特例貸付借受人等生活困窮者への支援）参照

(4) 「社会福祉協議会」の使命や活動・事業のあり方の検討

回	期日・参加者・場所	内容概要
1	期 日 場 所 参 加 者 7月4日 和歌山ビッグ愛7階 6社協 11名 (県社協含む) 学識1名、講師1名	(1) 基本要項 2025 の確認 講師：全国社会福祉協議会 地域福祉部 参事 森山 小槇 氏 (2) ディスカッション（課題感等の共有）
2	期 日 場 所 参 加 者 8月21日 御坊市福祉センター 6社協、9名 (県社協含む)	(1) 事業分析① 法人経営部門 ①御坊市社会福祉協議会 ②有田市社会福祉協議会 (2) ランチミーティング
3	期 日 場 所 参 加 者 9月12日 有田市福祉館なごみ 4社協、11名 (県社協含む) 学識 1名	(1) 講義 ①ノーマライゼーションとケアリングコミュニティ ②住民主体と福祉教育 講師：日本福祉大学 学長 原田 正樹 氏 (2) ランチミーティング
4	期 日 場 所 参 加 者 10月30日 田辺市民総合センター 6社協 12名 (県社協含む)	(1) 事業分析② 地域福祉活動推進部門 ①田辺市社会福祉協議会 ②太地町社会福祉協議会
5	期 日 場 所 参 加 者 1月29日 かつらぎ町社会福祉協議会 5社協、11名 (県社協含む) 学識 1名	(1) 事業分析③ 相談支援・権利擁護部門、生活支援SV 部部門 ①和歌山市社会福祉協議会 ②かつらぎ町社会福祉協議会

(5) 地域福祉活動推進のための関係機関との連携強化

① 和歌山県市町村社協連絡協議会の運営支援

ア 総会

回	期日・参加者・場所	内容概要
1	期 日 場 所 参 加 者 4月18日 和歌山ビッグ愛8階 30社協（うち委任状による出席4社協）44名	(1) 議 事 1) 令和6年度事業報告・決算について 2) 令和6年度事業報告・決算にかかる監事監査報告について 3) 令和7年度事業計画・予算（案）について 4) その他

イ 理事会

回	期日・参加者・場所等	内容概要
1	期 日 場 所 参 加 者 4月18日 和歌山ビッグ愛7階 理事9名（うち委任出席1名）、監事2名	(1) 令和6年度事業報告・決算について (2) 令和6年度事業報告・決算にかかる監事監査報告について (3) 令和7年度事業計画・予算（案）について (4) 総会議事の確認及び進行について (5) その他 ①全社協・地域福祉推進委員会（市町村社協代表委員）の推薦について
2	期 日 開催方法 参 加 者 6月6日 書面 理事8名	(1) 和歌山県市町村社協連絡協議会理事（紀南ブロック選出）の補欠について (2) 第22回全国社協職員のつどい和歌山大会への協力について
3	期 日 場 所 参 加 者 3月9日 和歌山ビッグ愛8階 理事9名（うち委任出席2名）、監事1名	(1) 令和7年度事業報告（案）・決算（見込み）について (2) 令和8年度事業計画（案）・予算（案）について (3) 役員改選について (4) 令和8年度総会の開催について (5) その他

ウ 監事会

期日・場所	参加者	内容概要
期 日 場 所 4月15日 高野町社協、印南町社協	監事2名	令和6年度事業および財産状況の監査

② 全国・近畿ブロック会議等への参加

ア 生活支援コーディネーター関連

期日	場所	名称
6月23日	和歌山市	生活支援コーディネーター実践研修会（第1回）（オブザーバー）
11月17日	紀美野町 （紀北会場）	生活支援コーディネーター実践研修会（第2回）（オブザーバー）
12月10日	田辺市 （紀南会場）	
2月3日	田辺市	生活支援コーディネーター実践研修会（第3回）（オブザーバー）

イ 全国社会福祉協議会、近畿ブロック府県社協等関連

期日	場所	名称
5月15,16日	東京都	都道府県・指定都市社協地域福祉推進担当部・課・所長会議
8月19日	オンライン	令和年度第1回ホームヘルプの質を高めるオンラインサロン (オブザーバー)
9月26日	オンライン	中期経営計画策定セミナー (オブザーバー)
11月8,9日	大津市	第12回生活困窮者自立支援全国研究交流会
11月18日	神戸市	近畿ブロック府県・指定都市社協地域福祉・ボランティア担当 部・課・所長会議
2月19日	堺市	近畿ブロック府県・指定都市社協地域福祉・ボラセン担当者会議

ウ 近畿地域福祉学会

期日	場所	名称
6月28,29日	兵庫県	日本地域福祉学会第39回大会
8月5日	オンライン	2025年度第1回近畿地域福祉学会役員会 第37回近畿地域福祉学会滋賀大会実行委員会
12月20日	滋賀県	第37回近畿地域福祉学会滋賀大会 2025年度第2回近畿地域福祉学会役員会 第37回近畿地域福祉学会滋賀大会実行委員会 2025年度近畿地域福祉学会・日本地域福祉学会近畿部会総会

エ 孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム

期日	場所	名称
3月11日	オンライン	令和7年度孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム通常総会及 び関連イベント

③ 企業の地域貢献活動との連携

ア (株) セブン-イレブン・ジャパン「商品寄贈による社会福祉貢献活動 寄贈品に関する協定書」に基づく連携

セブン-イレブン、県、県社協の三者で締結した協定に基づき寄贈された商品（加工食品・飲料、雑貨等）について、地域で支援を必要とする世帯・個人（生活に困難を抱える方）、社会福祉施設、こども食堂等への配分に協力した。

回	寄贈日	分量	配分先（ブロック）
1	10月23日	408点	紀中
2	10月27日	211点	紀南
3	12月22日	1,496点	紀北

イ (株) オークワ「和歌山県における地域福祉活動の推進に係る連携・協力に関する協定」に基づく連携

オークワと県社協で締結した協定に基づき寄贈された商品（精米）について、地域で支援を必要とする世帯・個人（生活に困難を抱える方）、社会福祉施設、こども食堂等への配分に協力した。

寄贈月	回数	分量	配分先ブロック
4月	2	86.5kg	紀北、紀中
5月	1	43.5kg	紀南

6 月	2	79.0 kg	紀北、紀中
7 月	1	44.0 kg	紀南
8 月	3	104.5 kg	紀北、紀中、紀南
9 月	1	36.4 kg	紀北
10 月	2	104.0 kg	紀中、紀南
11 月	1	20.0 kg	紀北
12 月	2	22.0 kg	紀中
1 月	2	59.8 kg	紀南、紀北
2 月	1	30.0 kg	紀中
3 月	1	56.0 kg	紀南
合計	19 回	685.7 kg	

ウ わかやま市民生活協同組合「和歌山県における地域福祉活動の推進に係る連携・協力に関する協定」に基づく連携

- a わかやま市民生活協同組合と県社協で締結した協定に基づき寄贈された商品（加工食品・飲料等）について、地域で支援を必要とする世帯・個人（生活に困難を抱える方）、社会福祉施設、こども食堂等への配分に協力した。

回	期 日	分 量	配分先ブロック
1	5 月 1 日	1,752 点	紀中（日高郡内）
2	7 月 4 日	1,405 点	紀南（東牟婁郡内）
3	8 月 26 日	1,750 点	紀北（紀の川市社協）
4	11 月 4 日	820 点	紀中（有田地方内 3 社協）
5	1 月 9 日	1,229 点	紀南（西牟婁郡内）
6	3 月 4 日	1,876 点	紀北（橋本市社協）

- b わかやま市民生活協同組合と共催により、子育て支援を目的とした「0 歳児からの音楽会」を開催した。

期日・参加者・場所		内容概要
期 日	2 月 28 日	(1) ブース展示 (2) 音楽会 演奏グループ：『Wa. corda』（ワコルダ） 小倉 浩晃 氏、高山 陽子 氏、小倉 充子 氏、鈴木 学 氏
参加者	午前の部 234 名 午後の部 178 名	
場 所	紀南文化会館小ホール	
期 日	3 月 21 日	(1) 音楽会 演奏グループ：『Wa. corda』（ワコルダ） 小倉 浩晃 氏、高山 陽子 氏、小倉 充子 氏
参加者	103 名	
場 所	新宮市中央児童館 (新宮市社協)	

エ 生命保険協会 和歌山県協会からの福祉巡回車寄贈等

期日・場所		内容概要
期 日	12 月 4 日	「生命保険協会和歌山県協会」福祉巡回車寄贈式 寄贈先：太地町社会福祉協議会
場 所	和歌山市	
期 日	12 月 17 日	12 月度次席会（研修会） ・本会の事業説明（講師派遣）
場 所	和歌山市	

オ 保険等の取扱い(本会受付分)

保険種別	加入件数
福祉サービス総合補償	11 件
送迎サービス補償	なし

2 和歌山県民生委員児童委員協議会との連携、民生委員・児童委員活動支援

(1) 民生委員・児童委員の活動状況把握と情報発信

民生委員児童委員活動について取材による情報収集を行い、広報誌での情報発信に努めた。

(2) 社会福祉協議会活動との連携強化

「新任民生委員・児童委員研修会」において、担当職員を派遣し、生活福祉資金貸付制度、福祉サービス利用援助事業及び福祉サービス苦情解決事業の説明を行った。

《総務企画部・企画班・施設関係》

1 「制度の狭間にある福祉課題・生活課題解決への協働プロジェクト」を通じ、地域を支える社会福祉法人の活動を支援

地域共生社会の実現に向けて、地域における公益的な取組を責務とする社会福祉法人がその一翼を担うことができるよう、「制度の狭間にある福祉課題・生活課題解決への協働プロジェクト」を通じて社会福祉法人の公益的な取組を支援した。

(1) プロジェクトにおける多様な事業活動の開発、展開

① 地域共生社会の実現に向けた取組の促進モデル（助成）事業の実施

地域共生社会の実現に向けて、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な福祉サービス提供体制の整備を目的とした改正社会福祉法が令和3年4月に一部施行された。

社会福祉法人・福祉施設には、社会福祉法人制度改革で求められてきた「地域における公益的な取組」の推進を図る中で、より一層、地域の様々な生活課題に積極的に対応し、地域共生社会の一翼を担うことが期待されている。こうした状況から、個々の社会福祉法人独自の取組を促進、支援するため、モデル（助成）事業を実施した。

【令和7年度指定法人：5法人 / 助成総額950千円】

事業名	つながり大日カフェ（強化発展）	200 千円
事業内容	認知症や介護全般、その他日々の暮らしに対する相談を受けられる職員を常時配置したり、来所だけでなく電話や手紙、メール、SNS 等での相談対応も、年間を通じて各種相談対応に応じる。地域関係機関とともに、防災等に関する研修会や交流会・訓練などを行い、防災に関する意識を高め、非常時等に協力し合える関係づくりを進める。また、作品展を実施し、要介護状態になっても残存能力に応じた楽しみのある生活が送れることを知ってもらうとともに、地域住民の方の活躍の機会を増やす。	
事業名	麦の郷 多文化共生・国際交流センター（※略称「むぎたぶ」）（強化発展）	200 千円
事業内容	これまで、思春期世代の居場所事業から孤立しがちな外国ルーツの児・者を支援する事業を実施してきた。今年度は、地域活動支援センターを活用した居場所「むぎたぶ cafe」や紀の川市地域おこし協力隊の運営している café「メリーズハウス」での地域との交流イベントを、月 1 回ずつ実施し、地域に住む外国ルーツの児・者や、生きづらさや障害のある人、地域ボランティア等、誰もが気軽に相談できる場や安心して過ごせる居場所をつくる。	
事業名	園庭開放事業（継続）	150 千円
事業内容	地域の未就学児童とその保護者を対象に、園庭や雨天時には図書室を開放し、天候に左右されることなく、安全にのびのびと遊べる場所の提供を行い、保護者同士の交流や、子育てについて必要がある時には相談に応じ、施設が連携している機関へつながる支援を行うことにより、子供の貧困防止や子育て家庭の孤立防止等を目指す。	
事業名	葵園元気ライフ（継続）	200 千円
事業内容	地域の 70 歳以上の（独居）高齢者を対象とした、月 1 回 1 時間程度の専門の担当職員による健康体操等を実施し、住み慣れた場所での交流等の居場所づくりやご自宅で生活を続けられるように健康維持を促進し、参加者への継続した支援を目標とする。	
事業名	誰もが住みやすいまちづくり ～子供達の未来に夢を～（新規）	200 千円
事業内容	従来やってきたシニアに特化した活動は、まごころはうすの中で形を変えて取り組んで行く。一方で、こどもたちの居場所支援として、10 月 11 日に OMOSHAI イベントを開催し、子供達の体験型イベントを行う。リアルで寄り添う事を常としていた支援者側も、仮想空間の中でしか自己	

表現が出来ない子供達が増えていく現実を受け止め、仮想空間での支援に挑戦したり、本事業のイベントにて子供達の体験型イベントを実施し、リアルの世界でも子供達が相談できる大人を作ることを目標とする。

※モデル助成事業開始（平成 28 年度～）からの延べ助成件数 … 53 事業（19 法人）

② 関係会議・研修、個別訪問等によるプロジェクトへの参画促進

社会福祉法人の「地域における公益的な取組」を促進・支援するため、下記モデル事業実施法人の取組を広報誌で紹介し、普及啓発に努めた。

掲載号	法人名	掲載事例（テーマ）
令和 7 年 11 月	山口葵会	葵園元氣ライフ～いつまでも元気で、住み慣れた地域で暮らせるように～

（2）実践事例の収集・発信（見える化）と普及啓発

① 「ふくしフォトコンテスト 2025」の開催

地域共生社会の実現に向け、誰もの身近にある「福祉」「地域福祉」を県民及び関係者に向けて啓発する（福祉への理解をすすめる）とともに、「福祉職場」の素晴らしさ、福祉のイメージUPを目的とし、令和 4 年度に引き続き、県社協（協働プロジェクト）、県経営協、経営協青年会の 3 者共催による取組として「ふくしフォトコンテスト」実施した。

ア 応募総数 157 作品（応募者 80 人）

イ 入 賞 計 8 点

賞の名称	選定数	賞品
最優秀賞	1 作品	商品券 3 万円
優秀賞	2 作品	商品券 1 万円
入選	5 作品	商品券 5 千円

ウ 参 加 賞 手作りらくがき帳（製作：社会福祉法人やおき福祉会）

エ 審査委員会

	団体名	職名	氏名	備考
1	県経営協	会 長	森 田 昌 伸	審査委員長
2	県経営協青年会	会 長	切 士 知 憲	
3		副会長	土 井 邦 嵩	
4	県社会福祉協議会	常務理事	中 村 茂	
5	外部アドバイザー	写真家	諸 永 恒 夫	アドバイザー

オ 取組経緯

期日	内容
7 月 10 日～	募集案内通知、広報 PR（プレスリリース）
8 月 1 日～9 月 5 日	作品募集期間（県社協ホームページ・応募専用フォーム）
9 月 24 日	第 1 次審査（第 1 次審査通過・36 作品）
10 月 30 日	第 2 次審査（審査委員会・入賞作品決定）
11 月 18 日	審査結果通知（応募者全員）、参加賞送付
11 月 19 日	審査結果を県社協ホームページ、SNS で公開

11月28日	令和7年度 第3回合同研修会（講演後） ・入賞作品披露（スライドショー） ・表彰式
11月28日～12月1日	パネル展示 ふれあい作品展
12月1日	県社協広報誌「福祉わかやま」12月号にて作品紹介
12月13日	那智勝浦町健康福祉まつり 展示
12月18日	パネル展示 きしゅうあったかマルシェ 2025
1月16日	パネル展示 全国経営協共催 都道府県経営協セミナー（後期）
1月19日～1月26日	第1回パネル展示（スーパーセンターオークワセントラルシティ和歌山店）
2月9日～2月16日	第2回パネル展示（オークワ パビリオンシティ田辺店）
2月17日～2月24日	第3回パネル展示（スーパーセンターオークワ南紀店）

（3）推進委員会事務局の運営

① 幹事会の開催

期日	場所	参加者	内容
8月4日	和歌山 ビッグ愛	幹事10名 オブザーバー2名（県）	・地域共生社会の実現に向けた取組の促進モデル事業助成先の選定について

② 総会の開催

期日	場所	参加者	内容
3月24日	オンライン	10法人10名 オブザーバー2名（県）	ア 令和7年度事業進捗状況について イ 令和8年度事業計画・予算（案）について ウ その他

③ 小委員会等の開催

ア 小委員会設置検討会

期日	場所	参加者	内容
11月21日	和歌山 ビッグ愛	12法人 17名	【講義】 『大阪しあわせネットワーク オール大阪の社会福祉法人による社会貢献事業について』 講師 社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会 施設福祉部 社会貢献推進室 室長 徳本 玲子氏 【説明】 「本県のこれまでの取組と今後の方向性について」 説明者 社会福祉法人和歌山県社会福祉協議会 総務企画部 副部長 井上 真典 【協議・意見交換】

イ 「居場所づくり」普及検討 小委員会

1月28日	和歌山 ビッグ愛	7法人 8名	・取組の共有 ・協議（意見交換） ・まとめ（今後の方向性の確認）
-------	-------------	-----------	--

ウ 社会福祉法人による相談支援 小委員会

1月28日	和歌山 ビッグ愛	3法人 4名	・取組の共有 ・協議（意見交換）
-------	-------------	-----------	---------------------

エ 災害時の福祉的支援 小委員会

2月12日	和歌山 ビッグ愛	5法人 6名	・取組の共有 ・協議（意見交換）
-------	-------------	-----------	---------------------

2 社会福祉法人（社会福祉施設）をはじめとする関係団体との連携強化

（1）和歌山県社会福祉法人経営者協議会及び社会福祉施設協議会との連携による支援

① 研修機会の提供

ア 和歌山県社会福祉法人経営者協議会との連携による研修機会提供

期日	場所	内 容
6 月 3 日	和歌山市	県社会福祉法人経営者協議会及び経営青年会 総会・研修会 【取組報告】①児童養護施設がおこなう公益的な取組「園庭開放事業」 ～「地域共生社会の実現に向けた取組の促進モデル事業」を活用した取組～ 社会福祉法人 和歌山県社会施設事業会 児童養護施設 こばと学園 園長 福島 友利 氏 保育士・自立支援コーディネーター 山東 真以 氏 ②福祉人材確保・育成・定着のための取組 ～課題解決思考×未来志向で臨む人材不足対策～ 社会福祉法人 黒潮園 理事長 岡 司 氏 ③福祉人材確保・育成・定着のための取組 まだ見ぬ “働きやすさ” を探して ～人材が根づく未来づくり～ 社会福祉法人 江東会 西区南堀江保育園でのひら 園長 梁川 閏奎 氏
8 月 27 日	和歌山市	全国経営協共催 都道府県経営協セミナー（前期） （県社会福祉法人経営者協議会及び経営青年会 第2回合同研修会） 【講義Ⅰ】「社会福祉法人 2040 年には間に合う？」 ～昨今の社会保障・社会福祉をめぐる動向と全国経営協の取組を踏まえて～ 講師：全国社会福祉法人経営者協議会 制度・政策委員会 専門委員 梅野 高明 氏 【動 画】「全国青年会がいま目指していること～各委員会の取り組み～」 説明者：和歌山県社会福祉法人経営青年会 会長 切土 知憲 氏 【講義Ⅱ】「カスタマーハラスメントから職員を守る ー社会福祉法人に求められる組織的対応とトップの責任ー」 講師：全国社会福祉法人経営者協議会 事務局
11 月 28 日	和歌山市	社会福祉法人 人材確保・人材育成研修（独自研修） （県社会福祉法人経営者協議会及び経営青年会 第3回合同研修会） （県市町村社協連絡協議会 人材確保・人材育成検討会 研修会） （県保育連合会 研修会） 【講義】『“人が集まり、人が辞めない法人”は何を大事にしているのか？』 ～佑啓会が実践する人材戦略～ 講師：社会福祉法人 佑啓会 常務理事 里見 吉佑 氏 【ふくしフォトコンテスト2025 入賞作品披露・表彰式】
1 月 16 日	和歌山市	全国経営協共催 都道府県経営協セミナー（後期） （県社会福祉法人経営者協議会及び経営青年会 第4回合同研修会） 【講義①】「社会福祉法人は“国宝”！社会から認められる法人を目指す ～昨今の社会保障・社会福祉をめぐる動向と全国経営協の取組を踏まえて～ 講師：全国社会福祉法人経営者協議会 制度・政策委員会 専門委員 吉川 郁子 氏 【動 画】「全国青年会がいま目指していること～各委員会の取り組み～」 説明者：和歌山県社会福祉法人経営青年会 会長 切土 知憲 氏 【講義②】「DX 推進が拓く福祉の未来 ～まずは第一歩！バックオフィス業務の効率化～ 講師：全国社会福祉法人経営者協議会 ふくし DX 推進委員会 専門委員 綱島 由美子 氏

イ 和歌山県保育連合会との連携による研修機会提供

期日	場所	内 容
5月17日	和歌山市	県保育連合会 総会・研修会 テーマ：「こどもの理解と発達支援について」 ～虐待など不適切事案の防止、私たちが取り組むべきこと～ 講師：こども発達支援スマイルウェル（児童発達支援事業所） 代表 形部 麻里 氏（作業療法士・公認心理師）
9月7日	田辺市	県保育士部会研修会 【基調報告】和歌山県保育連合会 会長 森田 昌伸 氏 【研修Ⅰ】乳幼児期のこどもの食育について ①「乳幼児期に必要な微量栄養素（ビタミン・ミネラル）について」 講師：人間総合科学大学 人間科学部 健康栄養学科 講師 貝原 奈緒子 氏 ②「楽しい食育のススメ」 ～こどもが食育に興味をもつポイント～ 講師：東大阪大学短期大学部 実践食物学科 准教授 松田 依果 氏 【研修Ⅱ】「楽しい！おもしろい！」からはじまる ～あそびの時間～ミニワークショップ 忍者手裏剣作り 講師：えほん・あそび作家 浦中 こういち 氏
2月7日	田辺市	第64回県保育研究会 【研究発表】 ①「すべての子どもの育ちを支える保育の質の向上、家庭支援」 ～特別な支援をきっかけにすべての「子ども」と「保育士」が成長する保育～ 【発表】社会福祉法人 しょうぶ会 しょうぶこども園 ②「造形あそびを通してこども・家庭・園をつなぐ」 ～つながるって楽しい！手をつないで共に育む保育を目指して～ 【発表】白浜町立 白浜保育園 【助言者】和歌山信愛大学教育学部 子ども教育学科 教授 森下 順子 氏

② 各施設協議会・福祉関係団体との連絡調整、情報収集と課題把握、助成

ア メールニュースの発行（県経営協26回／県保連40回）

社会福祉法人関連の情報を迅速に提供するため、県社会福祉法人経営者協議会及び県保育連合会との連携によりメールニュースを配信した。

イ 関係会議等への出席

期日	場所	名 称
5月17日	和歌山市	県保育連合会 総会・研修会
6月3日	和歌山市	県経営協 総会・研修会
6月5日	白浜町	県児童福祉施設連絡協議会 総会
6月26日	白浜町	近畿乳児福祉協議会 和歌山大会
9月13日	和歌山市	第34回「三つわ祭り」
1月29日	和歌山市	近畿地区知的障害関係施設長等会議
2月7日	田辺市	県保育連合会 第64回県保育研究会

ウ 種別施設協議会・福祉関係団体への助成等

a 種別施設協議会への助成（種別組織育成事業助成金）

団体名	助成金額
和歌山県保育連合会	50,000 円
一般社団法人和歌山県老人福祉施設協議会	50,000 円

和歌山県児童福祉施設連絡協議会	50,000 円
和歌山県母子生活支援施設協議会	50,000 円
和歌山県知的障害者福祉協会	50,000 円
計	250,000 円

b 福祉団体への助成（社会福祉団体事業助成金）

団体名	助成金額
公益社団法人母子寡婦福祉連合会	150,000 円
社会福祉法人和歌山県身体障害者連盟	150,000 円
和歌山県里親会	50,000 円
和歌山県障害児者父母の会連合会	50,000 円
計	400,000 円

c 企業等からの寄付の受入れ調整

団体名	寄贈内容	寄贈先
株式会社テレビ和歌山、株式会社和歌山放送、三重テレビ放送株式会社、ドリームサーカス株式会社	ワールド・ドリームサーカス和歌山公演無料招待	案内のみ (県療護施設連絡協議会、県内救護支援施設、県児童養護施設協議会、和歌山乳児院、県母子生活支援施設協議会、県社会福祉法人経営者協議会、県老人福祉施設講義会)
NHK 厚生文化事業団	NHK 福祉大相撲車両「福祉相撲号」	社会福祉法人つばさ福祉会

③ 全国・近畿ブロック等の情報収集、整理、発信（全国会議、ブロック会議等への参加、派遣）

期日	場所	会議・研修会名等
4 月 14 日	神戸市	近畿ブロック保育協議会 第 1 回正副会長会議
4 月 15 日	大阪市	近畿社会福祉法人経営者協議会 第 1 回役員会
4 月 25 日	京都市	全国経営協 近畿ブロック会議
5 月 26 日	大阪市	保育三団体 近畿ブロック保育研修会
6 月 6 日	東京都	全国経営協 第 1 回協議員総会
6 月 17 日	大阪市	近畿社会福祉法人経営者協議会 第 2 回役員会
7 月 10 日	神戸市	2025 年度 近畿ブロック保育研究集会
7 月 11 日	神戸市	近畿ブロック保育協議会 第 2 回正副会長会議（処理委員会）
7 月 15 日	大阪市	近畿社会福祉法人経営者協議会 総会・第 3 回役員会・研修会
7 月 17 日～18 日	奈良市	滋賀県・奈良県・和歌山県 経営協青年会 合同研修会
9 月 18 日～19 日	福岡市	第 44 回全国社会福祉法人経営者大会
10 月 14 日	大阪市	近畿社会福祉法人経営者協議会 第 4 回役員会
11 月 20 日～21 日	東京都	2025 年度 全国教育・保育研究大会
11 月 18 日	神戸市	近畿ブロック保育協議会 第 3 回正副会長会議
11 月 18 日	大阪市	近畿社会福祉法人経営者協議会 第 5 回役員会
12 月 16 日	大阪市	近畿社会福祉法人経営者協議会総会・第 6 回役員会
1 月 20 日	大阪市	近畿社会福祉法人経営者協議会 総会・第 7 回役員会
2 月 13 日	奈良市	近畿社会福祉法人経営者協議会 ブロックセミナー（奈良大会）

④ 団体事務局受任による支援

ア 和歌山県社会福祉法人経営者協議会事務局

県社会福祉法人経営者協議会及び県社会福祉法人経営青年会の活動推進、各種情報の提供、研修会の開催、全国及び近畿社会福祉法人経営者協議会との連携等を通じ、活動支援を行った。

イ 和歌山県保育連合会事務局

県保育連合会及び保育士部会の総会・研修会の開催、近畿・全国保育協議会との連携、会議への派遣等の活動支援を行った。また、令和 8 年度近畿ブロック保育研究集会（和歌山大会）開催のため、実行委員会を開催、準備を進めた。

ウ 和歌山県児童館連絡協議会事務局

県児童館連絡協議会総会、児童厚生員等研修会の開催、一般財団法人児童健全育成推進財団との連携、関係会議への出席等を通じ、活動支援を行った。

エ 和歌山県訪問介護事業所協議会事務局

県訪問介護事業所協議会総会、訪問介護員等研修会の開催、近畿ブロックホームヘルプ業務推進に係る連携会議への出席等を通じ、活動支援を行った。

(2) 新たな生活課題への対応と協働の場づくり（協働プロジェクトに包含）

(3) 災害福祉支援ネットワーク及び災害派遣福祉チーム（DWAT）の運営

① 和歌山県災害福祉支援チームの派遣に関する基本協定書の締結

ネットワーク構成団体	協定締結日
和歌山県社会福祉法人経営者協議会	令和 5 年 10 月 12 日
和歌山県児童福祉施設連絡協議会	
一般社団法人和歌山県老人福祉施設協議会	
和歌山県訪問介護事業所協議会	
和歌山県知的障害者福祉協会	
和歌山県療護施設連絡協議会	
和歌山県保育連合会	令和 5 年 11 月 22 日
和歌山県	(ネットワーク事務局)
社会福祉法人和歌山県社会福祉協議会	

② 全国会議等への出席

期日	会議名	場所
6 月 9 日	災害福祉支援ネットワーク全国会議	東京都
7 月 29 日	近畿 DWAT 事務局勉強会	奈良県
12 月 5 日	厚生労働省災害福祉支援ネットワーク中央センター事業「ブロック会議」	大阪府
11 月 14 日	災害福祉支援センター情報共有会議	東京都

③ チーム員候補者の届出 25 名（令和 7 年度）

④ チーム員登録時研修会の開催（県と共催）

期日	場所	内 容
11 月 11 日	和歌山市	講義① 【報告と質疑応答】令和 6 年能登半島地震における支援活動について 基調講義：「石川県における DWAT による支援の全体像」 講師：華頂短期大学 教授 武田 康晴 氏 報 告：和歌山 DWAT チーム員 (社福) 寿敬会 養護老人ホーム大日山荘 施設長 高木 久登 氏 演習① 避難所における福祉ニーズについて考える 講師：華頂短期大学 教授 武田 康晴 氏

		演習② 一般避難所での災害派遣福祉チームの活動 講師：華頂短期大学 教授 武田 康晴 氏 その他 和歌山 DWAT 登録説明
--	--	--

【受講者&チーム員登録証発行】計 29 名

⑤ ステップアップ研修の開催（県と共催）

期日	場所	内 容
2 月 10 日	和歌山市	講義① 「DWAT による災害時要配慮者支援の実際」 講師：華頂短期大学 教授 武田 康晴 氏 講義② 「災害時における保健師の活動について」 講師：和歌山県 福祉保健部 福祉保健政策局 医務課 看護班 主任 綾仁 まどか 氏 演習 「避難所における情報収集と整理・集約」 講師：華頂短期大学 教授 武田 康晴 氏

【受講者】20 名

⑥ その他

活動に必要な資機材の整備

（4）教員免許取得に係る「介護等体験」事業の実施

「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律（平成 9 年法律第 90 号）」に基づき、教員免許の取得を希望する者は社会福祉施設等での「介護等体験」が義務づけられていることから、本会が受入調整業務を実施している。

① 介護等体験事業の実績

介護等体験期間	7 月 14 日～11 月 28 日（1 人あたり 5 日間）		
申込大学等	18 大学	申込者数	256 名
体験修了者数	256 名	体験受入施設数	67 施設

（5）障害者施設授産活動活性化資金融資事業の実施

県内の就労継続支援 A 型・B 型事業所、就労移行支援事業所、地域活動支援センター及び小規模作業所で行われている授産活動を活性化させ、施設利用者等の工賃支給状況を改善し、もって障害者の社会参加と自立を図るため、授産活動の活性化を目的とする無利子融資事業を実施した。

① 新規融資（なし）

② 債権管理状況（令和 8 年 3 月 31 日現在）

融資中件数	融資中金額	原資残額
0 件	0 円	10,000,000 円

《総務企画部・企画班・企画調整関係》

1 新たな福祉課題（分野）への対応と地域福祉推進フォーラムの開催

(1) 和歌山県こども食堂応援ネットワーク事業

① 会員数（令和8年3月31日現在）

こども食堂会員 147 か所

サポート会員 個人3名、団体31団体

② 食材・寄付等の物資の受入体制の構築・分配・マッチング

企業・団体・個人等から提供された食材・寄付等について、適切に分配を行った。

ア 寄付物品

受領日	相手	物品	配布先
8月8日	和歌山県農業協同組合連合会	みかんジュース (12本×150ケース)	和歌山市内のこども食堂 (20 か所)
10月21日	県循環型社会推進課	フードドライブ商品 (556品)	県内こども食堂 (32 か所)
11月18日	和歌山県警察本部	サツマイモ (20 kg)	有田振興局 (湯浅町) のこども食堂 (1 か所)
11月26日	ネッソー株式会社	米 (2kg×27袋)	日高振興局、西牟婁振興局、東牟婁振興局管内こども食堂 (21 か所)
12月20日	県循環型社会推進課 (環境まつり)	フードドライブ商品 (34品)	和歌山市内のこども食堂 ※スタートアップ支援として、開設1年未満のこども食堂会員を対象に送付 (抽選で2 か所)。
2月13日	清正水産株式会社	鮮魚 (ぶり 20尾)	和歌山市内こども食堂 (11 か所)

※北海道旭川市ふるさと納税を活用した「こどもふるさと便」による

イ 寄付金

a 寄付金の受入れ

団体数	15 団体
寄付金総額	1,513,219 円

b 活動助成事業として配分

令和7年12月に本ネットワーク会員に、運営費用（食材費、水光熱費、消耗品費等）を助成した（@15,000円×84団体）。

ウ ダイレクトマッチング

少量の寄付物品については、寄付者の近隣で実施しているこども食堂を紹介した（15件）。

③ こども食堂交流会の開催

こども食堂運営者、支援機関等向けのセミナー・交流会を開催し、団体間での情報や課題の共有等を行った。

ア こども食堂 交流会

期日・場所	参加者数	内容
10月7日・田辺市	19名	(1) ミニセミナー
10月8日・和歌山市	25名	(2) 交流①最近のエピソードを紹介 (3) 交流②自由参加

イ 企業との連携を目的としたイベント

a つながる WA となる展

期日・場所	来場者数	内容
1 月 26 日・和歌山市	約 25 名	県内子ども食堂会員からのありがとうメッセージの展示

b エピソード大会（むすびえとの共催による）

期日・場所	参加者数	内容
1 月 26 日 和歌山市	11 名	(1) 説明 子ども食堂ってどんなところ？ 認定 NPO 法人センター子ども食堂支援センターむすびえ (2) エピソード大会 子ども食堂での出来事、企業のサポート内容 つれもて食堂、新宮運送株式会社、JA 紀州 (3) 交流タイム

c 関西地域ネットワーク団体交流会 in 和歌山（むすびえとの共催による）

期日・場所	参加者数	内容
3 月 23 日 JA ビル	23 名	(1) リレートーク 関西 2 府 4 県の地域ネットワーク団体の取組 (2) 意見交換

④ 新規開設立ち上げ支援

子ども食堂の新規立上げにかかる相談対応、立上げ支援講座の実施、ヘルプメイトの派遣、地域との調整等の支援を行った。

ア 開設等相談

電話、来所、メールにより随時開設相談を行った。

相談内容	件 数
新規開設相談	26 件
運営相談	9 件

イ 開設支援講座（オンライン）

期日	参加者数	内容
11 月 26 日	12 名	運転資金の作り方
11 月 27 日	6 名	助成金・補助金の申請書類のコツ
12 月 3 日	6 名	やってみよう！ここから始める子ども食堂

ウ ヘルプメイト

a 登録数 26 団体

b 活動数 2 団体

エ 運搬サポーター（令和 7 年 10 月から実施）

a サポーター登録者数 4 名

b 活動数 実績なし

オ 県域アドバイザー

上記ヘルプメイトの活動が円滑に行われるよう、専門的知識及び実務経験を有し、助言や支援ができる県域アドバイザーを設置した。

NPO 法人子ども食堂わかやま 理事長 岡 定紀 氏

⑤ ホームページ等による情報発信

ホームページ・SNS等を活用し、こども食堂の取組等の情報を発信した。

ア ホームページ（随時）

研修会案内や活動レポート等を掲載した。

イ メールニュース（77通）

助成等情報を随時メールニュースにより発信した。

ウ ミキハウス子育て総研株式会社が運営する子育て情報サイト「ハッピーノート.com」を使ったこども食堂の紹介

こども食堂の認知拡大を目的に令和6年度の掲載に引き続き県内2か所（計4か所）のこども食堂紹介。併せて、SNSの情報拡散を実施した。

期日	場所	内容
7月10日	和歌山市	事業打合せ
10月28日	オンライン	取材事前打ち合わせ
11月5日	オンライン	取材事前打ち合わせ
11月20日	和歌山市	取材
11月29日	田辺市	取材
3月2日	和歌山市	事業打合せ

⑥ その他

ア 関係機関との連携

a わかやま市民生活協同組合

期日	場所	内容
4月24日	和歌山市	ロジハブ体制の構築について（相談）
8月29日	和歌山市	ロジハブ体制の構築について（相談）
10月31日	和歌山市	ロジハブ体制の構築について（相談）
1月23日	和歌山市	次年度実施に向けた、事業内容について（相談）

b 和歌山市こども食堂連絡協議会

期日	場所	内容
7月11日	和歌山市	総会・団体交流会・研修会（出席）
8月7日	和歌山市	みそのマルシェへの参加について（打ち合わせ）
10月19日 11月16日	みその商店街	みそのマルシェに参加し、本ネットワークの活動啓発を行った

c 県関係部署、振興局（地域づくり課）

期日	場所	内容
4月8日	和歌山市	振興局との事務打ち合わせ
5月9日	和歌山市	生活衛生課との打ち合わせ ・一般社団法人食品衛生協会からのサポートについて
7月29日	和歌山市	振興局とのワークショップ
9月29日	和歌山市	循環型社会推進課との打ち合わせ ・フードドライブについて
11月27日	オンライン	西牟婁振興局管内のこども食堂の連携について（企画相談）
2月17日	田辺市	西牟婁郡内こども食堂勉強会
2月26日	オンライン	西牟婁郡内こども食堂支援に関する懇談会
3月2日	オンライン	食の安全意見交換会

d 認定NPO法人全国こども食堂支援センターむすびえ

期日	場所	内容
5月9日	和歌山市	今後のネットワーク事業の進め方について
5月29日	和歌山市	事業打ち合わせ
6月17日	オンライン	事業の進捗状況について
7月2日	オンライン	事業の進捗状況について
7月25日	オンライン	事業の進捗状況について
7月28日	和歌山市	事業打ち合わせ
9月1日	オンライン	下期事業の進め方について
9月18日	オンライン	企業との連携について企画
10月17日	オンライン	事業の進捗状況について
10月28日	オンライン	企業との連携について企画
11月27日	オンライン	西牟婁郡内のこども食堂ネットワーク構築に向けた相談
12月3日	オンライン	開設支援講座アーカイブの作成について
12月9日	オンライン	開設支援講座の振り返りについて
12月11日	オンライン	2025年度こども食堂全国箇所数調査及び子ども食堂の実態・困りごと調査2025（参加）
12月24日	オンライン	ロジハブ体制等、事業の進捗状況の共有
1月13日	オンライン	都道府県社協交流会（参加）
2月6日	オンライン	事業の進捗状況について
2月12日	オンライン	地域の居場所のトータルコーディネート事業成果報告会（参加）
2月28日	東京都	都道府県社協交流会、全国交流会2026（参加）
3月11日	和歌山市	関西地域ネットワーク団体交流会企画、視察事前打ち合わせ
3月18日	オンライン	2025年度支援内容の振り返り

e 他県

期日	場所	内容
3月17日	山口県	山口県こども食堂・子どもの居場所ネットワークの取組について
3月23日	和歌山市	佐賀県（食品アクセス確保について）視察受入

（2）第6次和歌山県社会福祉協議会活動計画の遂行並びに進行管理

- ① 活動計画4年目の進捗管理の実施（事務局内）
- ② 令和7年度第1回県社協活動計画検討委員会の開催

期日	場所	内容
11月13日	和歌山市	① 委員長・副委員長の選任について ② 活動計画の進捗状況について ③ その他

（3）新たな福祉課題・生活課題への対応・事業企画の強化

- ① 「ふくしフォトコンテスト2025」の実施（再掲）
- ② 災害福祉支援ネットワーク・災害派遣福祉チーム（DWAT）の運営（再掲）
- ③ 県社協活動の見える化・広報強化のためのSNS（Instagram、Facebook）活用

(4) 組織的なワーキングチーム活動の強化

① 企画広報ワーキングの実施（再掲）

構成人数	開催回数	主な内容
10 名	12 回	①広報誌「福祉わかやま」の企画編集 ②ホームページ、SNS 等の企画・効果的運用 ③その他、福祉情報の収集・提供

② 中核・中堅職員層ワーキングの実施

第6次県社協活動計画の第4章-2組織基盤の強化に関し、基本理念・行動指針等を全職員が理解し、活動計画の実行に向けて同じベクトルを持ち、自ら考えて仕事ができるようにするためには、各部署のチームリーダー的立場にある（実務の中核を担う）職員が想いをともにし、リーダーシップ・フォロワーシップ・部署間連携を図りながら業務に取り組むことが大変重要である。こうした場を組織的・意図的に設けるため、令和4年9月より実施している。

構成人数	開催回数	主な内容
10 名 (オブザーバー含む)	11 回	①第6次県社協活動計画の実行に関すること（全体に共通する事項、特に「組織基盤の強化」に関すること）及び進行管理に関すること ②新たな課題、潜在的課題、共通課題への対応に関すること ③部署間連携の促進に関すること（協働事業の企画実施・調整、重点目標・事業の共有）

③ 法人設立70周年記念事業ワーキングの実施

構成人数	開催回数	主な内容
11 名 (オブザーバー含む)	8 回	①法人設立70周年記念事業の企画立案・実施に関すること

(5) 法人設立70周年記念事業の実施

令和7年12月22日に法人設立70周年を迎えるにあたり、法人設立70周年記念として次の事業を実施した。

① 県地域福祉推進フォーラム～変わらないために変わり続ける～の開催

県社協が理念に掲げる「ともに生きる^{わかやま}地域社会の実現」に向け、今一度先人の皆さまが築いてきた「変わらない福祉実践の大切さ」を振り返るとともに、それらをこれから先も持続可能なものとするため、挑戦し、変えていくべきものは何か、登壇者と参加者が共に考える機会とした。

ア 日 時 12月18日

イ 会 場 ビッグ愛1階大ホール

ウ 共 催 県市町村社協連絡協議会

エ 後 援 和歌山県、和歌山県民生委員児童委員協議会、和歌山県社会福祉法人経営者協議会、和歌山県社会福祉法人経営青年会、社会福祉法人和歌山県身体障害者連盟、和歌山県ボランティア連絡協議会、社会福祉法人和歌山県共同募金会

オ 参加者 市町村社協、社会福祉施設、民生委員・児童委員、ボランティア、行政職員等
計169人（登壇者等関係者を含め約200人）

カ プログラム

a 開会・オリエンテーション

開会挨拶 県社協 会長 宮崎 泉

来賓祝辞 県議会 議長 岩田 弘彦 氏

来賓紹介 県議会 福祉環境委員会 委員長 北山 慎一 氏

県社会福祉法人経営者協議会 会長 森田 昌伸 氏

b 趣旨説明・基調講演

「地域共生社会の実現に向けて～変わらないために変わるべきもの～」

摂南大学 現代社会学部 講師 上野山 裕士 氏

c トークセッション

テーマ ①社会的孤立への取組、②防災・災害への取組

【登壇者】

(敬称略)

役割		所属	役職	氏名
コーディネーター&コメンテーター		摂南大学 現代社会学部	講師	上野山 裕士
登壇者	社協	社会福祉法人 湯浅町社会福祉協議会	事務局長	阪井 達夫
	施設	社会福祉法人和歌山つくし会 つくし医療・福祉センター	理学療法士	小山 有佳乃
	民生委員	和歌山県民生委員児童委員協議会	会長	松下 明
	学生	和歌山大学 教育学部／ プラットフォーム部	3回生／ 部長	出口 遼
		摂南大学 現代社会学部 現代社会学科	3回生	大橋 美優
	企業	株式会社オークワ 総務部・サステナビリティ推進室	部長兼室長	坂口 博之
	行政	和歌山県教育委員会 生涯学習課	課長	西川 展子
県社協コメンテーター		社会福祉法人 和歌山県社会福祉協議会	地域福祉部長	榎本 幸治

キ 登壇者事前打ち合わせ

期日	場所	内容
12月3日	オンライン	フォーラム当日の進め方について等
12月9日	オンライン	フォーラム当日の進め方について等
12月18日	ビッグ愛	フォーラム実施にかかる事務連絡等

② きしゅうあったかマルシェ 2025 の開催

前掲①地域福祉推進フォーラムと併せて、県内の就労継続支援事業所等で作られたパンやクッキー、お弁当、コーヒー、雑貨等を販売するイベント「きしゅうあったかマルシェ 2025」を開催した。

ア 日 時 12月18日

イ 会 場 ビッグ愛1階展示ホール

ウ 出店事業所数 13 事業所

法人名	事業所名
社会福祉法人 きのかわ福祉会	ふるさとファーム、ナチュラルベーカリーharu
社会福祉法人 野のはな	セントラルキッチンさくら
株式会社 キシウラ	Confiance
社会福祉法人 一峰会	おかし工房桜和、パン工房かたつむり、あすの 実
特定非営利活動法人 ふれあい	ふれあい作業所
株式会社 ドリームサポート	ドリームサポート
社会福祉法人 山水会	三幸園
一般社団法人 クリエイターズ	クリエイターズ
特定非営利活動法人 エルシティオ	共同作業所エルシティオ
－	cafe kupono
特定非営利活動法人 ジョイ・コム	wakayama*chocolat 「toco*towa」
社会福祉法人 あおい会	菓子工房ふあんふあん
一般社団法人 和歌山県セルプセンター	－

エ 来場者 約 500 人

③ 法人設立 70 周年記念小史の発刊

平成 27 年度から令和 7 年度までの 10 年間を振り返りながら、未来への更なる発展を誓うため、発刊した。

ア 作成部数 2,000 部

イ 配布先 上記地域福祉推進フォーラム参加者、本会会員等関係者

～事項別報告～

Ⅱ 地域福祉部

<<地域福祉部・権利擁護班・地域福祉権利擁護事業関係>>

1 日常生活自立支援事業の実施

(1) 福祉サービス利用援助事業の実施

- ① 福祉サービス利用援助事業の全市町村社会福祉協議会への委託実施

新規	解約	年度末実利用者数
153 件	96 件	780 件

- ② 生活保護受給者への利用料全額助成の実施

年度末対象者数	助成合計 (円)
延べ 287 名	9,495,000 円

- ③ 住民税非課税者への利用料半額助成の実施

年度末対象者数	助成合計 (円)
延べ 335 名	2,789,000 円

- ④ 福祉サービス利用援助システムの運営・改修

平成 17 年度から本会と市町村社協がネットワークを介した業務システムを運用しているが、平成 22 年 5 月には新システムへと移行し、平成 25 年度、平成 28 年度にはシステムの一部改修を行い、さらなる事務の効率化を図ってきた。

令和 7 年度は、変更契約書の出力時、甲の現住所を出力する機能、財産状況確認表・収支状況等確認表の行入れ替え機能をそれぞれ追加した。

その他、軽微な仕様変更を行った。

(2) 事業従事者の資質向上

- ① 専門員研修会の開催（詳細 7 専門員・生活支援員の研修実施状況のとおり）

第 1 回	第 2 回	計 2 回
43 名	31 名	74 名

- ② 生活支援員研修会の開催（詳細 7 専門員・生活支援員の研修実施状況のとおり）

新任	継続	計 2 回
36 名	37 名	73 名

(3) 契約締結審査会の開催 12 回（毎月 1 回）（詳細 6 契約締結審査会の開催状況のとおり）

(4) 委託先への支援

- ① 現地支援

ア 現地支援 9 か所

期 日	市町村社協名
6 月 30 日	橋本市
7 月 4 日	印南町
7 月 10 日	御坊市
7 月 28 日	日高川町
8 月 7 日、9 月 4・11 日	田辺市
8 月 8・28 日	新宮市
8 月 22 日	九度山町
8 月 27 日	串本町
9 月 9 日	湯浅町

イ 現地支援への同行 6 か所

期 日	市町村社協名
10 月 2 日	橋本市
11 月 5 日	湯浅町

11月14日	御坊市
12月2日	新宮市
12月3日	串本町
12月11日	田辺市

- ② 福祉サービス利用援助事業から成年後見制度への円滑な移行促進
令和7年度移行者数 17人（実利用者数の約2%）
- ③ 市町村社協法律相談支援事業の実施
令和7年度は、実施無し

2 成年後見制度利用促進基本計画に基づく取組促進への協力

（1）成年後見制度利用促進に関する研修会等の開催

① 成年後見制度利用の促進

ア 社会福祉法人等への成年後見制度出前講座の開催

成年後見制度の利用促進を図るため社会福祉法人等へ出向き、制度概要の説明を行った。
（実施件数7か所）

イ 和歌山県成年後見制度利用促進協議会の開催

成年後見制度の利用の促進に関する法律第12条第1項に規定する成年後見制度利用促進基本計画に基づき、成年後見制度の利用の促進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、県内における取組成年後見制度の利用を促進するための取組方針並びに市町村及び市町村社会福祉協議会への支援を検討し、地域福祉の発展・向上を目指すことを目的として開催した。

期日	場所	参加者	内容
8月26日	和歌山ビッグ愛 （オンライン）	24名	・成年後見制度利用促進に係る県内各市町村の取組状況及び今年度開催事業等について ・県内市町村社協による成年後見制度取組状況調査結果の共有 ・成年後見制度利用促進に係るアドバイザー派遣事業について ・情報共有
3月18日	和歌山ビッグ愛 （ハイブリッド）	21名	・令和7年度実施主体意見交換会結果報告及び来年度実施予定事業について ・各団体からの情報共有（令和8年度取組等について）

ウ 成年後見制度利用促進に向けた体制整備研修会の開催

期日	場所	参加者	内容
10月7日	和歌山ビッグ愛 （オンライン）	70名	講義「第2期成年後見制度利用促進基本計画の中間検証を踏まえた今後の動向について」 講師：厚生労働省社会・援護局地域福祉課 成年後見制度利用促進室 行政説明「和歌山県における成年後見制度利用促進の現状」 説明：和歌山県社会福祉課 講義「民法（成年後見関係）改正の方向性とポイント～中間試案を受けて～」 講師：紀北はしもと法律事務所 弁護士 堀江 佳史 氏

エ 成年後見制度市町村長申立て研修会の開催

期日	場所	参加者	内容
10月7日	和歌山ビッグ愛 (オンライン)	71名	講義「市町村長申立の意義と申立てに係る必要書類について」 講師：弁護士 太田 達也 氏（ふたば法律事務所） 講義「市町村長申立てにかかる実務について」～行政からの視点～ 講師：白浜町 民生課 地域包括支援センター 社会福祉士 羽根 一誠 氏 講義「市町村長申立てにかかる実務について」～社協からの視点～ 講師：紀の川市社会福祉協議会 専門員 小林 伊珠美 氏

オ 成年後見制度利用促進にかかるアドバイザー派遣事業

成年後見制度利用促進にあたり、中核機関の立ち上げや圏域単位での仕組みづくりなど、管内市町村の体制整備に関するアドバイザー、市町村等からの支援困難事案や後見人等に関する苦情等の相談に対して権利擁護支援に関する総合的な助言を行う専門的支援アドバイザーを派遣した。

a 体制アドバイザー派遣

期日	場所	派遣アドバイザー
6月24日	日高川町	県社会福祉士会 廣井 英徳 氏 白浜町 羽根 一誠 氏
8月22日	北山村	串本町 濱 麻衣子 氏 かつらぎ町社会福祉協議会 山本 幸則 氏
10月10日	湯浅町	白浜町 羽根 一誠 氏 串本町 濱 麻衣子 氏
1月15日	由良町	県社会福祉士会 三林 達哉 氏 串本町 濱 麻衣子 氏
3月23日	高野町	県社会福祉士会 三林 達哉 氏（オンライン） 串本町 濱 麻衣子 氏

b 権利擁護支援アドバイザー派遣

期日	場所	派遣アドバイザー
11月4日	海南市	県社会福祉士会 三林 達哉 氏
11月28日	みなべ町	弁護士会 太田 達也 氏 県司法書士会 和田 佳人 氏 県社会福祉士会 三林 達哉 氏 白浜町 羽根 一誠 氏 有田川町社会福祉協議会 北川 昌宏 氏
3月26日	みなべ町 (オンライン)	弁護士会 太田 達也 氏 県社会福祉士会 三林 達哉 氏 白浜町 羽根 一誠 氏

② 県成年後見センターの機能整理と運営

ア 相談支援 45件

イ 成年後見支援センター運営委員会の開催

期日	場所	参加者	内容
3月3日	和歌山 ビッグ愛	太田 達也 弁護士 山本 美佐子 司法書士 星野 佳世子 社会福祉士	・令和7年度事業報告 ・令和8年度事業計画 (案)

ウ 法人後見実施の促進

令和7年8月、社協による法人後見の実施状況について調査を行い、成年後見制度の推進上の課題や問題点について報告を行うと共に、中核機関設置の動きと併せ、後方支援に努めた。

3 問題の深刻化の予防

(1) 福祉サービス利用援助事業に付随する困難課題対応の検討

第2回福祉サービス利用援助事業専門員研修会にて、発達障がいのある方への関わり方について、障がいの特徴やアプローチの仕方等をわかやま法務少年支援センター統括専門官を招き、講義を受けるとともに、かつらぎ町社協が抱える支援困難ケースについて、意見交換を図った。

意見交換の場	期日	参加者	内容
第2回 専門員研修	2月26日 3月5日	専門員 31名	意見交換 「困難課題（支援拒否の家庭）」 ・社協だけでなく、多機関で役割分担を決めて支援にあたる ・収支表を作成し、本人に示す（可視化） ・信頼関係の構築 等

4 事業開始時期 平成11年10月1日

5 本事業にかかる一部業務委託（担当専門員の経験年数は、令和8年1月20日現在）

対象市町村数(30市町村)		
委 託 先 ○担当専門員の職歴、経験年数等	事業対象 地域	事業内容
和歌山市社会福祉協議会 ○社会福祉士、社会福祉主事 ○専門員歴・1～6年	和歌山市	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員4名を配置 生活支援員9名を配置
海南市社会福祉協議会 ○社会福祉士、ヘルパー2級 ○専門員歴・1～7年	海南市	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員5名を配置 生活支援員15名を配置
橋本市社会福祉協議会 ○社会福祉士 ○専門員歴・6年	橋本市	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員1名を配置 生活支援員2名を配置
有田市社会福祉協議会 ○社会福祉士、精神保健福祉士、社会福祉主事、介護福祉士 ○専門員歴・1～25年	有田市	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員9名を配置 生活支援員3名を配置
御坊市社会福祉協議会 ○社会福祉士、社会福祉主事	御坊市	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助

○専門員歴・1～13 年		日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員 3 名を配置 生活支援員 9 名を配置
田辺市社会福祉協議会 ○社会福祉士、社会福祉主事、介護支援 専門員、介護福祉士、保育士 ○専門員歴・1～19 年	田辺市	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員 10 名を配置 生活支援員 18 名を配置
新宮市社会福祉協議会 ○介護福祉士 ○専門員歴・1～2 年	新宮市	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員 2 名を配置 生活支援員 3 名を配置
紀の川市社会福祉協議会 ○社会福祉主事、保育士、幼稚園教諭、 社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉 士 ○専門員歴・1～11 年	紀の川市	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員 5 名を配置 生活支援員 19 名を配置
岩出市社会福祉協議会 ○社会福祉主事 ○専門員歴・21 年	岩出市	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員 1 名を配置 生活支援員 3 名を配置
紀美野町社会福祉協議会 ○介護福祉士、介護支援専門員、介護福 祉士、ホームヘルパー1 級、社会福祉主 事 ○専門員歴・1～20 年	紀美野町	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員 2 名を配置 生活支援員 2 名を配置
かつらぎ町社会福祉協議会 ○社会福祉士、社会福祉主事、介護支援 専門員、介護支援専門員 ○専門員歴・1～3 年	かつらぎ町	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員 4 名を配置 生活支援員 7 名を配置
九度山町社会福祉協議会 ○社会福祉士、介護支援専門員 ○専門員歴・13 年	九度山町	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員 1 名を配置 生活支援員 1 名を配置
高野町社会福祉協議会 ○社会福祉主事、介護福祉士 ○専門員歴・4～20 年	高野町	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員 2 名を配置 生活支援員 2 名を配置
湯浅町社会福祉協議会	湯浅町	福祉サービスの利用援助

○社会福祉士、社会福祉主事、介護支援 専門員 ○専門員歴・1～20年		日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員2名を配置 生活支援員2名を配置
広川町社会福祉協議会 ○社会福祉主事 ○専門員歴・1～13年	広川町	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員3名を配置 生活支援員3名を配置
有田川町社会福祉協議会 ○社会福祉士、介護福祉士 ○専門員歴・1～10年	有田川町	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員4名を配置 生活支援員4名を配置
美浜町社会福祉協議会 ○社会福祉主事 ○専門員歴・2年	美浜町	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員1名を配置 生活支援員1名を配置
日高町社会福祉協議会 ○介護福祉士 ○専門員歴・8年	日高町	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員1名を配置 生活支援員2名を配置
由良町社会福祉協議会 ○社会福祉主事 ○専門員歴・20年	由良町	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員1名を配置 生活支援員2名を配置
印南町社会福祉協議会 ○社会福祉主事、社会福祉士、介護支援 専門員 ○専門員歴・20年	印南町	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員1名を配置 生活支援員2名を配置
みなべ町社会福祉協議会 ○社会福祉士、介護支援専門員、社会福 祉主事 ○専門員歴・2～13年	みなべ町	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員3名を配置 生活支援員7名を配置
日高川町社会福祉協議会 ○社会福祉士、社会福祉主事 ○専門員歴・2～20年	日高川町	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員3名を配置 生活支援員3名を配置

白浜町社会福祉協議会 ○社会福祉士、介護福祉士、社会福祉主事 ○専門員歴・1～15年	白浜町	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員4名を配置 生活支援員4名を配置
上富田町社会福祉協議会 ○社会福祉士、社会福祉主事 ○専門員歴・5～14年	上富田町	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員2名を配置 生活支援員1名を配置
すさみ町社会福祉協議会 ○社会福祉士、介護福祉士 ○専門員歴・2～8年	すさみ町	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員3名を配置 生活支援員3名を配置
那智勝浦町社会福祉協議会 ○社会福祉士、主任介護支援専門員 ○専門員歴・1～20年	那智勝浦町	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員3名を配置 生活支援員3名を配置
太地町社会福祉協議会 ○社会福祉主事 ○専門員歴・15年	太地町	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員1名を配置 生活支援員1名を配置
古座川町社会福祉協議会 ○社会福祉主事 ○専門員歴・8年	古座川町	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員1名を配置 生活支援員3名を配置
北山村社会福祉協議会 ○社会福祉士 ○専門員歴・1～16年	北山村	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員2名を配置 生活支援員1名を配置
串本町社会福祉協議会 ○社会福祉士、精神保健福祉士、社会福祉主事 ○専門員歴・4～20年	串本町	福祉サービスの利用援助 日常生活上の手続きに関する援助 日常的金銭管理サービス 書類等預かりサービス 専門員3名を配置 生活支援員3名を配置

6 契約締結審査会の開催状況

委員 (5名)	玉置・石倉法律特許事務所 石倉 誠也 氏 (弁護士) 県立和歌山医科大学神経精神医学教室 医局長 山田 信一 氏 (医師) 和歌山県司法書士会 理事 林 紀久夫 氏 (司法書士) 和歌山県社会福祉士会 副会長 新野 佳世子 氏 (社会福祉士) 和歌山県社会福祉課 副課長 中村 徳子 氏 (行政)
任期	令和7年10月1日～令和9年9月30日

回数	開催期日	開催場所	参加者	協議事項
第1回	4月21日	和歌山 ビッグ愛	委員4名	(1) 福祉サービス利用援助事業現況報告 (2) 審査 (新規1件) (3) 助言 (新規8件、解約2件) (4) 報告 (新規18件、解約10件)
第2回	5月22日		委員4名	(1) 福祉サービス利用援助事業現況報告 (2) 助言 (新規14件、解約3件) (3) 報告 (新規8件、解約9件)
第3回	6月23日		委員4名	(1) 福祉サービス利用援助事業現況報告 (2) 助言 (新規10件、解約5件) (3) 報告 (新規13件、解約6件、その他1件)
第4回	7月24日		委員5名	(1) 福祉サービス利用援助事業現況報告 (2) 審査 (解約1件) (3) 助言 (新規15件、解約3件) (4) 報告 (新規10件、解約7件)
第5回	8月21日		委員5名	(1) 福祉サービス利用援助事業現況報告 (2) 助言 (新規20件、解約4件) (3) 報告 (新規8件、解約9件、その他1件)
第6回	9月25日		委員5名	(1) 福祉サービス利用援助事業現況報告 (2) 助言 (新規17件) (3) 報告 (新規17件、解約7件、その他1件)
第7回	10月20日		委員5名	(1) 福祉サービス利用援助事業現況報告 (2) 助言 (新規14件、解約3件) (3) 報告 (新規14件、解約6件)
第8回	11月18日		委員4名	(1) 福祉サービス利用援助事業現況報告 (2) 助言 (新規10件、解約6件) (3) 報告 (新規27件、解約6件)
第9回	12月22日		委員5名	(1) 福祉サービス利用援助事業現況報告 (2) 助言 (新規15件、解約2件) (3) 報告 (新規5件、解約15件)
第10回	1月20日		委員5名	(1) 福祉サービス利用援助事業現況報告 (2) 助言 (新規12件) (3) 報告 (新規13件、解約8件)
第11回	2月19日		委員5名	(1) 福祉サービス利用援助事業現況報告 (2) 助言 (新規12件、解約4件) (3) 報告 (新規11件、解約6件、その他3件)
第12回	3月19日		委員4名	(1) 福祉サービス利用援助事業現況報告 (2) 助言 (新規10件、解約2件) (3) 報告 (新規13件、解約3件、その他1件)

7 専門員・生活支援員の研修実施状況

研修名	期日・場所	参加者	内容
生活支援員 新任研修会	6月11日 和歌山ビッグ愛	生活支援員 11名	(1) 「福祉サービス利用援助事業・生活支援員の業務について」

	6月17日 田辺市民総合センター	専門員 25名	(2)「先輩生活支援員に学ぶ」 講師 和歌山市社会福祉協議会生活支援員 池田 悦代 氏 白浜町社会福祉協議会生活支援員 黒田 尚男 氏 (3)「地域福祉権利擁護システムについて」
生活支援員 継続研修会	2月26日 和歌山ビッグ愛 3月5日 ビッグ・ユー	生活支援員 37名	【講義】 「高次脳機能障害について」 講師 県障害児者サポートセンター身体障害者支援係長 川崎 美穂 氏 「高齢者を取り巻く状況と介護保険制度」 講師 県長寿社会課 介護保険班長 西村 崇宏 氏
第1回 専門員 研修会	9月30日 和歌山ビッグ愛 10月3日 田辺市民総合センター	専門員 43名	【説明・グループワーク】 「新日自（仮称）について」 【説明・グループワーク2】 「災害時における本事業の対応について」 【事業説明】 (1) 利用料及び半額助成の改定について (2) 運営監視合議体現地調査について (3) 委託金について (4) ブロック別専門員研修会について (5) 不詳事故予防の徹底について (6) 成年後見制度利用促進について (7) その他
第2回 専門員 研修会	2月26日 和歌山ビッグ愛 3月5日 ビッグ・ユー	専門員 31名	【講義】 「法務少年支援センターの役割と発達障がいのある方への関わり方」 講師 わかやま法務少年支援センター 統括専門官 今村 悟也 氏 【事例検討】 専門員が抱えている困難ケースについての事例検討 【事業説明】 (1) 利用料及び半額助成の改定について (2) R8 委託金について (3) 運営監視合議体現地調査について (4) 不詳事故予防の徹底について (5) その他
相談支援の 実践力強化 研修会 ※生活資金班と共同	3月2日 和歌山ビッグ愛	専門員 32名	(1) 講義「生活課題と相談支援における県内の取組等」 (2) ソーシャルワークと対人援助の基本 (3) ロールプレイによる相談聴き取り (4) グループワーク「支援方針検討」 (5) まとめ

8 広報・啓発実施状況

(1) 広報活動等

- ① 事業周知のための広報活動として、『福祉わかやま』に記事を掲載した。
- ② 本会ホームページに月次集計を掲載した。
- ③ パンフレットを県の関係課・振興局、各市町村、各市町村社会福祉協議会、関係機関等に配布した。

(2) 会議等での事業説明

期 日	会議名	場 所
1 月 23 日	新任民生委員・児童委員研修会（新宮市・東牟婁郡）	那智勝浦町
1 月 27 日	新任民生委員・児童委員研修会（御坊市・日高郡）	田辺市
1 月 29 日	新任民生委員・児童委員研修会（田辺市・西牟婁郡）	田辺市
2 月 4 日	新任民生委員・児童委員研修会（有田市・有田郡）	和歌山市
2 月 5 日	新任民生委員・児童委員研修会（海南市・海草郡）	和歌山市
2 月 6 日	新任民生委員・児童委員研修会（紀の川市・岩出市）	和歌山市
2 月 13 日	新任民生委員・児童委員研修会（橋本市・伊都郡）	橋本市

(3) その他会議等への参加

期 日	会議名	場 所
5 月 15 日	成年後見三士会合同会議	弁護士会館
5 月 16 日	第 1 回和歌山市成年後見制度利用促進会議	和歌山歴史館
5 月 26 日	近畿府県成年後見制度利用促進に係る担当者等情報交換会	大阪府庁
6 月 4 日	和歌山県人権相談ネットワーク協議会研修会	和歌山県自治会館
6 月 13 日	大阪府市町村社協連合会 会長・事務局長研修会	オンライン会議
6 月 25 日	日常生活自立支援事業部・課・所長会議	全社協
7 月 9 日	成年後見制度利用促進第 1 回都道府県全体交流会	オンライン会議
7 月 18 日	第 2 回和歌山市成年後見制度利用促進会議	和歌山歴史館
8 月 4 日	和歌山市社協福祉サービス利用援助事業生活支援員養成講座	和歌山市社協
9 月 8・9 日	社会福祉協議会活動全国会議	全社協
9 月 10 日	成年後見制度利用促進第 2 回都道府県全体交流会	オンライン会議
9 月 19 日	第 3 回和歌山市成年後見制度利用促進会議	和歌山歴史館
9 月 19 日	第 1 回持続可能な権利擁護支援モデル事業	オンライン研修
10 月 29 日	日常生活自立支援事業・成年後見制度担当者会議	兵庫県社協
10 月 31 日	第 2 回持続可能な権利擁護支援モデル事業	オンライン研修
11 月 4 日	和歌山県認知症疾患医療連携協議会	オンライン会議
11 月 7 日	「新たな事業」に関する常務理事・事務局長会議	オンライン会議
11 月 7 日	成年後見制度利用促進体制整備研修	オンライン研修
11 月 13 日	権利擁護支援総合アドバイザー研修	オンライン研修
11 月 17 日	家事関係機関との連絡協議会	オンライン会議
11 月 25 日	意思決定支援研修会	オンライン研修
12 月 1 日	成年後見制度利用促進体制整備研修 応用研修	オンライン研修
12 月 9 日	法テラス和歌山地方協議会	ビッグ愛
12 月 9 日	成年後見制度利用促進体制整備研修	オンライン研修
12 月 10 日	成年後見制度利用促進第 3 回都道府県全体交流会	オンライン会議
12 月 19 日	第 3 回持続可能な権利擁護支援モデル事業	オンライン研修
1 月 9 日	都道府県担当職員・体制整備アドバイザー研修	オンライン研修
1 月 14 日	和歌山県成年後見制度利用促進に係る意見交換会（紀南の部）	ビッグ・ユー
1 月 27 日	和歌山県成年後見制度利用促進に係る意見交換会（紀北の部）	ビッグ愛
2 月 10 日	成年後見三士会合同会議	弁護士会館
2 月 10 日	成年後見制度利用促進に係る近畿府県情報交流会	オンライン会議
2 月 13 日	第 4 回持続可能な権利擁護支援モデル事業	オンライン研修
2 月 18 日	和歌山県人権相談ネットワーク協議会研修会	オンライン研修
2 月 27 日	成年後見制度利用促進体制整備研修（都道府県担当職員向け）	オンライン研修
3 月 10 日	和歌山県法人後見実施団体意見交換会	ビッグ愛
3 月 11 日	成年後見制度利用促進第 4 回都道府県全体交流会	オンライン会議

表1 福祉サービス利用援助事業実施状況(令和7年度)

(単位：人)

社 協 名	令和7年度新規契約者数								事業開始からの累計					実利用 者数
	高 齢 者	知 的 障 がい 者 等	精 神 障 がい 者 等	そ の 他	合 計	左の内訳			高 齢 者	知 的 障 がい 者 等	精 神 障 がい 者 等	そ の 他	合 計	
						一 般	利 用 料 全 額 免 除	利 用 料 半 額 免 除						
和 歌 山 市	15	6	8	0	29	2	25	2	249	78	110	18	455	141
海 南 市	4	1	5	1	11	2	5	4	106	28	55	10	199	60
橋 本 市	0	0	2	0	2	0	1	1	42	4	8	2	56	10
有 田 市	4	0	0	0	4	0	2	2	76	19	24	7	126	34
御 坊 市	3	0	0	0	3	0	2	1	46	21	24	0	91	27
田 辺 市	8	1	3	0	12	2	4	6	198	56	59	6	319	97
新 宮 市	2	0	0	0	2	0	2	0	80	23	8	5	116	22
紀 の 川 市	12	9	6	0	27	5	11	11	75	63	31	7	176	80
岩 出 市	0	0	1	0	1	0	1	0	17	13	13	5	48	16
紀 美 野 町	3	1	6	0	10	2	2	6	41	7	41	4	93	28
かつらぎ町	2	2	1	0	5	3	1	1	44	13	11	2	70	34
九 度 山 町	0	0	0	0	0	0	0	0	14	0	3	0	17	1
高 野 町	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	1	0	5	2
湯 浅 町	1	0	1	0	2	1	1	0	23	5	15	1	44	16
広 川 町	1	2	0	1	4	0	1	3	27	7	9	3	46	17
有 田 川 町	11	1	4	0	16	2	3	11	112	18	52	7	189	47
美 浜 町	1	0	0	0	1	0	1	0	15	1	4	0	20	7
日 高 町	0	0	1	0	1	0	0	1	3	0	2	0	5	3
由 良 町	0	0	0	0	0	0	0	0	15	9	2	1	27	3
印 南 町	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	3	0	10	4
み な べ 町	2	1	0	0	3	0	3	0	43	8	20	3	74	23
日 高 川 町	0	0	1	0	1	0	0	1	9	4	4	1	18	4
白 浜 町	0	1	1	2	4	3	0	1	64	17	25	9	115	29
上 富 田 町	3	0	0	0	3	1	0	2	15	13	9	3	40	15
す さ み 町	1	1	0	1	3	0	1	2	36	8	11	2	57	18
那智勝浦町	3	0	1	1	5	0	1	4	40	13	8	1	62	14
太 地 町	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	0	4	1
古 座 川 町	3	0	0	0	3	2	1	0	11	1	3	0	15	7
北 山 村	0	0	0	0	0	0	0	0	11	0	0	0	11	3
串 本 町	1	0	0	0	1	0	0	1	82	16	25	4	127	17
合 計	80	26	41	6	153	25	68	60	1,506	447	581	101	2,635	780
解 約	64	15	16	1	96		解約者数内訳		1,254	201	338	62	1,855	
増 減	16	11	25	5	57		実利用者数内訳		252	246	243	39	780	

表2 福祉サービス利用援助事業実施状況(令和7年度)
(相談対象者件数)

社 協 名	令和7年度累計				
	高 齢 者	知的障がい者等	精神障がい者等	そ の 他	合 計
和歌山市	59	20	36	11	126
海南市	9	2	6	2	19
橋本市	10	0	1	1	12
有田市	9	1	1	4	15
御坊市	6	0	0	0	6
田辺市	9	1	2	0	12
新宮市	7	0	1	1	9
紀の川市	10	6	4	0	20
岩出市	0	0	2	0	2
紀美野町	3	2	7	1	13
かつらぎ町	4	1	0	0	5
九度山町	2	0	1	0	3
高野町	2	0	0	0	2
湯浅町	2	2	2	0	6
広川町	0	1	1	1	3
有田川町	27	1	7	0	35
美浜町	4	0	2	0	6
日高町	1	0	1	0	2
由良町	0	0	0	0	0
印南町	0	0	0	0	0
みなべ町	4	2	1	0	7
日高川町	0	0	2	1	3
白浜町	2	2	0	0	4
上富田町	3	0	0	1	4
すさみ町	2	0	0	1	3
那智勝浦町	3	0	0	0	3
太地町	0	0	0	0	0
古座川町	3	0	0	0	3
北山村	0	0	0	0	0
串本町	0	0	0	0	0
合 計	181	41	77	24	323

表3 福祉サービス利用援助事業実施状況(令和7年度)
(相談内容別件数)

社 協 名	令和7年度累計											
	サービス 利用 手続	手続 援助	金銭 管理	書類等 預かり	保健 手続き	医療	苦情	生活 設計	本事業 問合せ	成年 後見	その他	合計
和 歌 山 市	83	81	128	70	0	0	0	5	9	0	0	376
海 南 市	17	16	19	15	0	0	0	2	10	4	0	83
橋 本 市	0	0	14	6	0	0	0	6	12	3	1	42
有 田 市	8	15	15	11	0	0	0	0	0	0	0	49
御 坊 市	5	6	6	6	0	1	0	2	2	0	0	28
田 辺 市	3	10	12	5	0	0	1	4	10	0	0	45
新 宮 市	3	3	8	0	0	0	0	0	7	0	0	21
紀 の 川 市	11	14	18	4	2	0	0	7	14	3	0	73
岩 出 市	1	1	2	1	0	0	0	0	1	0	0	6
紀 美 野 町	11	11	13	7	0	0	0	0	0	0	0	42
かつらぎ町	4	4	4	4	2	2	0	5	2	0	0	27
九 度 山 町	0	0	1	1	0	0	0	3	3	0	0	8
高 野 町	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3
湯 浅 町	6	5	6	5	0	0	0	0	0	0	0	22
広 川 町	2	2	2	2	0	0	0	1	0	0	0	9
有 田 川 町	30	32	35	31	0	0	0	2	5	0	0	135
美 浜 町	0	0	1	0	0	0	0	4	3	0	5	13
日 高 町	2	1	3	1	0	0	0	1	0	0	0	8
由 良 町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
印 南 町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
み な べ 町	1	2	4	2	0	1	0	1	6	0	0	17
日 高 川 町	3	3	3	3	0	0	0	0	0	0	0	12
白 浜 町	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4
上 富 田 町	2	3	4	0	0	0	0	0	0	0	0	9
す さ み 町	0	0	3	3	0	0	0	1	0	0	0	7
那 智 勝 浦 町	0	0	4	0	0	0	0	2	0	0	0	6
太 地 町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
古 座 川 町	3	3	3	3	0	0	0	0	0	0	0	12
北 山 村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
串 本 町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	196	212	314	180	4	4	1	46	84	10	6	1,057

《地域福祉部・生活資金班・生活福祉資金等貸付事業関係》

1 特例貸付借受世帯等に対する生活支援及び適正な債権管理

(1) 特例貸付の実施

① 特例貸付の実施

令和2年3月25日から申請受付を開始、当初は令和2年7月末までの受付期間であったが、受付期間の延長が繰り返され、令和4年9月末をもって終了した。

なお、延長貸付は令和3年6月末、再貸付は令和3年12月末で受付終了。

ア 特例貸付状況（詳細は表2-2）

緊急小口資金 11,150 件（2,021,961,000 円）

総合支援資金 20,893 件（10,985,028,500 円）

(2) 生活支援を含む適正な債権管理の実施

① 償還免除手続きの実施

借受人に対して償還免除手続きの案内を行い、市町村社協を通じて免除申請を受け付け、審査の結果を借受人に対して通知した。

ア 償還免除決定状況（詳細は表2-3）

非課税免除（※1）	任意免除（※2）	合 計
141 件	691 件	832 件

（※1）年度別判定免除

（※2）次年度非課税免除、死亡、自己破産、生活保護受給、重度障害等

② 償還開始後の償還指導

ア 償還猶予決定状況

随時、借受人からの申し出により、市町村社協を通じて猶予申請を受け付け、審査の結果を借受人に対して通知した。

緊急小口資金	総合支援資金	合 計
92 件	609 件	701 件

イ 償還督促通知状況

11月28日に、10月末時点で3か月連続滞納者あて通知した。

緊急小口資金	総合支援資金	合 計
1,662 件	3,269 件	4,931 件

ウ 長期滞納者への対応

「債権管理の基本」に基づく対応を強化した。

なお、長期に、連絡が無く、未返済であることは悪質ととれるが、生活に困窮している場合には連絡する余裕すらない等の生活再建要支援者である場合もある。

よって、訴訟の目的も、債権回収とともに、債務者と連絡を取れる状態にし、支援することにある。

債権管理の基本（「消滅時効」にさせない＝必要な生活支援につなぐこと）
 （債権回収とともに、債務者と連絡をとれる状態にすること）
 滞納→債務者の債務承認を得る（返済金（一部）受領あるいは債務確認書の受領）
 ↓
 債務承認が得られない→催告（内容証明郵便等）
 →請求（裁判上の請求＝訴訟の提起）
 （状況に応じた現地調査の実施等）

本年度は、特に、次の条件で抽出した債権について、取扱い社協での継続した支援とともに、裁判上の請求（提訴）を実施した。

（抽出条件等）

- 1) 緊急小口資金（特例貸付）
- 2) 最終償還期限日が、令和6年12月31日であるもの
- 3) 滞納月数が23回であるもの（令和6年11月30日現在）

催告・請求（訴訟）状況（件数）									
実施						結果			
少額訴訟			通常訴訟			少額訴訟		通常訴訟	
催告	債務確認	提訴	催告	債務確認	提訴	判決	未決	判決	未決
2	0	2	37	4	30	2	0	27	3

※未決3件については、弁護士に委任済み。

③ 生活支援にかかる取組の促進

ア フォローアップ支援の取組方法の整理

県市町村社協連絡協議会 業務課題検討会（生活課題への取組）での検討を踏まえ、特例貸付借受人等生活困窮者へのフォローアップ支援及び新たな福祉課題、生活課題への対応について、取組方法を整理した。

イ 生活困窮者への相談支援取組状況調査の実施

生活困窮者が抱える生活の困りごとへの支援について、市町村社協における取組状況の調査を実施した。

④ 会議への参加

期 日	場 所	内 容
5月15～16日	東京都	「都道府県・指定都市社会福祉協議会部・課・所長会議」に1名が参加した。
6月28～29日	兵庫県	「日本地域福祉学会第39回大会」に2名が参加した。
8月29日	大阪府	「近畿ブロック府県社協生活福祉資金部課長会議」に1名が参加した。
9月11日	大阪府	「近畿ブロック府県社協生活福祉資金担当会議」に2名が参加した。
10月23～24日	東京都	「全国生活福祉資金貸付事業運営研究協議会」に1名が参加した。
11月8～9日	滋賀県 オンライン併用	第12回生活困窮者自立支援全国研究交流大会に4名（対面2名、オンライン2名）が参加した。
3月23日	オンライン	「生活福祉資金のデジタル化に関する都道府県社会福祉協議会部・課・所長会議」に1名が参加した。

⑤ その他

生活福祉資金アセスメントシートシステムの改修、運用を実施した。

2 生活福祉資金等貸付事業の効果的な運営（適正な貸付け・債権管理）

平成20年度第1回理事会（平成20年5月29日）で確認した次の方針による取組を継続しているが、新型コロナウイルス感染症にかかる特例貸付の債権管理業務が煩雑となっている。

(1) 貸付段階	(2) 償還指導	(3) 不良債権
貸付のみでなく、他の支援施策検討等、相談支援を行う。	声掛け、償還方法変更を含む償還強化。状況に応じ法的措置も実施。	不良債権を個々に精査交渉し、その整理を実施する。

(1) 貸付段階

① 貸付審査等運営委員会

生活福祉資金貸付審査等運営委員会（以下、「運営委員会」という。）（委員11名）を設置した。

運営委員会は貸付けの決定等に関する審査を行い、本会会長に意見具申した。開催状況は、表 1 のとおり。

② 貸付申込みの審査

会長専決を含め、貸付決定は、表 2-1 のとおり 105 件 (54,720,994 円)。

③ 窓口対応にかかる市町村社協及び民生委員の支援

ア 生活福祉資金貸付事業担当学会議の開催

期 日	場 所	参加者数	内 容
11 月 10 日	和歌山市	32 人	- 生活福祉資金の貸付・償還現状報告 - 令和 7 年度予算及び令和 8 年度以降について - 民生委員一斉改選について - 意見交換

イ 相談支援の実践力強化研修会の開催

期 日	場 所	参加者数	内 容
3 月 2 日	和歌山市	32 人	- 講義「生活課題と相談支援における県内の取組等」 - 講義「ソーシャルワークと対人援助の基本」 - ロールプレイによる相談聴き取り - グループワーク「支援方針検討」

ウ 民生委員定例会等への派遣

期 日	場 所	内 容
1 月 21 日	和歌山市	「新任民生委員・児童委員研修会 (和歌山市ブロック)」で制度の概要等を説明した。
1 月 23 日	那智勝浦町	「新任民生委員・児童委員研修会 (新宮市・東牟婁郡ブロック)」で制度の概要等を説明した。
1 月 27 日	田辺市	「新任民生委員・児童委員研修会 (御坊市・日高郡ブロック)」で制度の概要等を説明した。
1 月 29 日	田辺市	「新任民生委員・児童委員研修会 (田辺市・西牟婁郡ブロック)」で制度の概要等を説明した。
2 月 4 日	和歌山市	「新任民生委員・児童委員研修会 (有田市・有田郡ブロック)」で制度の概要等を説明した。
2 月 5 日	和歌山市	「新任民生委員・児童委員研修会 (海南市・海草郡ブロック)」で制度の概要等を説明した。
2 月 6 日	和歌山市	「新任民生委員・児童委員研修会 (紀の川市・岩出市ブロック)」で制度の概要等を説明した。
2 月 13 日	橋本市	「新任民生委員・児童委員研修会 (橋本市・伊都郡ブロック)」で制度の概要等を説明した。

エ 窓口対応の相談にかかる市町村社協及び民生委員支援

- a パンフレットを、市町村社協等に対して配布した。
- b 和歌山市社協主催の生活福祉資金貸付事業に関する会議等への参画
職員ミーティング等に参画することで情報共有を図った (特例貸付フォローアップ支援 12 回、通常貸付 12 回。かつらぎ町社協と和歌山市社協の家計相談勉強会はフォローアップ支援の回数に含む)。
- c 生活福祉資金業務システム導入社協への操作説明会を行った (6 社協)。

④ 住民及び関係機関への貸付事業周知・広報

ア 広報紙への掲載

市町村社協が実践する相談支援を周知するため、福祉わかやま（not alone）で1社協の取組を紹介するとともに、12月号では生活福祉資金貸付制度を支える民生委員について特集記事を掲載した。

イ リーフレットの配布

教育支援資金のチラシを、県教育委員会を通じ県内の中学校、高校等へ配布した。

⑤ 生活困窮者自立支援法に関する対応

ア 会議・研修等への参加

期 日	場 所	内 容
9月26日	オンライン	「生活困窮者自立支援制度に係る都道府県研修」の企画検討（第1回協議）に2名が出席した。
1月28日	和歌山市	和歌山県生活困窮者自立支援制度人材養成研修に3名が参加した。
2月3日	オンライン	「生活困窮者自立支援制度に係る都道府県研修の企画検討（第2回協議）」に3名が出席した。
2月16日	田辺市	和歌山県生活困窮者自立支援制度人材養成研修に講師2名を派遣した。

⑥ 関係機関との連携

ア 会議等への参加

期 日	場 所	内 容
8月8日	和歌山市	和歌山県居住支援協議会（第5回）に1名が参加した。
2月26日	和歌山市	「医療に関する協議会」に2名が参加した。
3月11日	御坊市	セミナー「『働きたい』の気持ちを大切に」に講師1名を派遣した。
3月24日	和歌山市	「令和7年度和歌山県居住支援協議会総会」に2名が参加した。

(2) 償還指導

① 借受世帯の自立支援

ア 民生委員との連携

借受世帯の担当民生委員の「借受世帯支援記録票」の整備状況を取りまとめ、全国社会福祉協議会に報告した。

イ 滞納初期段階での状況確認

借受世帯の償還指導及び支援に活用するため、市町村社会福祉協議会に償還月次報告書等の帳票を送付した。

② 生活福祉資金債務世帯等の自立支援の強化の実施

令和2年度から「生活福祉資金債務世帯等の自立支援の強化」を実施し、債務者等に対する相談支援の強化を行い、債務者等の生活の安定を目指し、ひいては、償還履行者率の向上を図ることを目的として、和歌山市社会福祉協議会、田辺市社会福祉協議会へ委託し実施した。

(3) 不良債権への対応

① 償還督促等の実施

ア 督促状の送付

償還計画から 1 か月以上又は 1 回以上滞納している借受人、連帯借受人、連帯保証人等に、督促状（6 月、12 月の年 2 回）を送付した。

イ 滞納世帯への個別調査等の強化

計画に基づく償還がなかった借受世帯について、市町村社協に対し償還督促等を依頼し、その状況について、「償還督促状況連絡票」による報告を求めた。

ウ 個別督促の実施等

債務者や取扱い市町村社協、担当民生委員から償還についての相談を随時受け付け、督促等の個別協議、同行支援を行った。また、必要に応じ、就労支援、福祉サービス利用支援等を行った。

本会独自の指標として「e 償還履行者率」を設け、生活状況に応じた返済を促した。

※ 償還履行者率：償還対象件数に対して、金額に関係なく償還された件数の割合（不動産担保型生活資金除く）。

a 県社協が現地に出向いての償還督促(生活支援)件数：42 件

b 債務確認件数：62 件

c 償還相談：1,164 件

d 通常貸付の償還完了(償還免除を含む)：78 件

e 償還履行者率：通常貸付 63.7%、特例貸付 41.8%

エ 転居先追跡（住民票調査等）

届出なく転居された行方不明者について、当該市町村への住民票等の請求を行い、転居先の追跡を行った（通常貸付 70 件、特例貸付 457 件）。

オ 自己破産・免責手続等への対応

弁護士等からの債権調査への回答を行った（計 78 人分、187 件）。

② 精査交渉を重ねたうえで、次の不良債権を運営委員会に諮り整理した。

	件数	金額
元金（及び利子）の支払免除	17	5,990,903 円（元金）

③ 不動産担保型生活資金の償還滞納債権への対応

ア 相続人が任意売却を行い償還完了となった。（要保護 1 件）

イ 相続財産清算人（弁護士）が、売却を行い償還完了となった。（一般 1 件）

（4）その他

① 会議等への参加

期 日	場 所	内 容
7 月 28 日	オンライン	「市区町村社協連携システム 5 次導入に関する説明会」に 1 名が参加した。
8 月 1 日	東京都	「生活福祉資金業務システム操作説明会」に 1 名が参加した。
8 月 20 日	オンライン	「第 1 回生活福祉資金貸付事業オンライン情報交換会」に 1 名が参加した。
10 月 7 日	オンライン	「生活福祉資金貸付事業のデジタル化に関する説明会」に 5 名が参加した。
3 月 11 日	オンライン	「生活福祉資金業務システム運営委員会」に 2 名が参加した。
3 月 16 日	オンライン	「第 2 回生活福祉資金貸付事業オンライン情報交換会」に 3 名が参加した。

② 県市町村社協連絡協議会 業務課題検討会（生活課題への取組）への参画

	期 日	場 所	参加者数	内 容
第 1 回	8 月 26 日	和歌山市	28 人 (17 社協)	・昨年度の振り返り ・座長決定 ・課題提起 ・事前課題（サービス提供、新たな福祉課題）に基づくグループワーク
第 2 回	9 月 22 日	和歌山市	21 人 (14 社協)	・前回の振り返り ・グループワーク①「フォローアップ支援のために提供するサービス」 ・グループワーク②「新たな福祉課題、生活課題への対応」 ・記録の共有
第 3 回	10 月 28 日	和歌山市	28 人 (16 社協)	・前回の振り返り ・ワールドカフェ①「フォローアップ支援のために提供するサービス」 ・ワールドカフェ②「新たな福祉課題、生活課題への対応」 ・まとめ作業
第 4 回	12 月 1 日	和歌山市	23 人 (14 社協)	・前回の振り返り ・全体で共有①「フォローアップ支援のために提供するサービス」 ・全体で共有②「新たな福祉課題、生活課題への対応」 ・検討会での“学び”の振り返り ・まとめ

3 臨時特例つなぎ資金貸付制度の運用

- (1) 新規の貸付申請は 0 件。
- (2) 債権管理を行った（詳細は別表 14～15）。

（備考）国の臨時特例つなぎ資金貸付制度要綱に基づき、住居のない離職者に対し、公的給付または公的貸付の交付を受けるまでの当面の生活費を貸し付けることにより、自立を支援する生活福祉資金貸付事業とは枠外の事業として、平成 21 年 10 月から実施している。

《地域福祉部・生活資金班・福祉人材確保等にかかる返還免除付き貸付事業関係》

1 福祉人材確保及び自立支援のための返還免除付き貸付事業の広報啓発及び適正な貸付の実施

(1) 介護福祉士修学資金等貸付事業

返還免除付きの貸付を行うことで、介護人材の確保を図った。また、ホームページ、広報紙（福祉わかやま）への掲載等を通じ、事業周知の広報を行った。

① 介護福祉士修学資金

ア 貸付対象等

介護福祉士養成施設に在学する方に、修学資金、入学準備金及び就職準備金等を貸し付ける（免除要件：5年間介護の業務に従事すること）。

イ 募集

①第1次募集 令和7年2月25日から4月22日まで（令和7年度入学予定者対象）

②第2次募集 令和7年8月1日から8月29日まで（令和7年度入学者対象）

ウ 貸付決定

資金種類		件数	金額（円）
①介護福祉士修学資金 （令和7年度入学予定者）	修学資金	56	67,200,000
	入学準備金	56	11,200,000
	就職準備金	56	11,200,000
	国家試験対策費	56	4,480,000
	生活費加算	0	0
②介護福祉士修学資金 （令和7年度入学者）	修学資金	24	28,800,000
	入学準備金	24	4,800,000
	就職準備金	24	4,800,000
	国家試験対策費	24	1,920,000
	生活費加算	0	0
合計		80	134,400,000

※「件数」の合計は、人数

② 福祉系高校修学資金

ア 貸付対象等

福祉系高校に在学する方に、修学準備金及び就職準備金等を貸し付ける（免除要件：3年間介護の業務に従事すること）。

イ 募集

令和7年4月9日から5月30日まで（令和7年度在学者対象）

ウ 貸付決定

資金種類		件数	金額（円）
福祉系高校修学資金	修学準備金	0	0
	介護実習費	0	0
	国家試験対策費	0	0
	就職準備金	0	0
合計		0	0

※「件数」の合計は、人数

③ 福祉系高校修学資金返還充当資金

ア 貸付対象等

福祉系高校修学資金の借受人が、卒業後に県内において障害福祉分野等の業務に従事した場合、福祉系高校修学資金返還のための充当資金として貸し付ける。(免除要件：3年間障害福祉等の業務に従事すること)。

イ 貸付決定 0件

④ 介護福祉士実務者研修受講資金

ア 貸付対象等

介護福祉士実務者養成施設に在学する方に、実務者研修受講資金を貸し付ける(免除要件：2年間介護の業務に従事すること)。

イ 募集

- ・第1期 令和7年4月21日から5月30日まで
- ・第2期 令和7年7月1日から8月29日まで
- ・第3期 令和7年10月1日から11月28日まで
- ・第4期 令和8年1月5日から2月27日まで

ウ 貸付決定

資金種類		件数	金額(円)
介護福祉士実務者研修受講資金	第1期	25	4,037,418
	第2期	50	8,743,493
	第3期	24	3,750,339
	第4期	11	1,968,800
計		110	18,500,050

⑤ 介護人材再就職準備金

ア 貸付対象等

離職している介護人材のうち一定の経験を有する方に、再就職のための準備金を貸し付ける(免除要件：2年間介護の業務に従事すること)。

イ 募集

令和7年4月21日から令和8年3月31日まで

ウ 貸付決定

資金種類	件数	金額(円)
介護人材再就職準備金	2	800,000

⑥ 介護分野就職支援金

ア 貸付対象等

他の業種で働いていた方等が、介護職員初任者研修等を修了し、県内の介護施設・事業所に就職する際の費用を貸し付ける(免除要件：2年間介護の業務に従事すること)。

イ 募集

令和7年4月21日から令和8年3月31日まで

ウ 貸付決定

資金種類	件数	金額(円)
介護分野就職支援金	16	3,200,000

⑦ 障害福祉分野就職支援金

ア 貸付対象等

他の業種で働いていた方等が、介護職員初任者研修等を修了し、県内の障害福祉サービスの業務に従事する際の費用を貸し付ける（免除要件：2年間障害福祉サービスの業務に従事すること）。

イ 募集

令和7年4月21日から令和8年3月31日まで

ウ 貸付決定

資金種類	件数	金額（円）
障害福祉分野就職支援金	2	400,000

⑧ 社会福祉士修学資金

ア 貸付対象等

社会福祉士養成施設に在学する方に、修学資金、入学準備金、就職準備金及び生活費加算を貸し付ける（免除要件：5年間介護の業務に従事すること）。

イ 募集

①第1次募集 令和7年2月25日から4月22日まで（令和7年度入学予定者対象）

②第2次募集 令和7年8月1日から8月29日まで（令和7年度入学者対象）

ウ 貸付決定

資金種類		件数	金額（円）
①社会福祉士修学資金 （令和7年度入学予定者）	修学資金	1	180,000
	入学準備金	1	130,000
	就職準備金	0	0
	生活費加算	0	0
②社会福祉士修学資金 （令和7年度入学者）	修学資金	0	0
	入学準備金	0	0
	就職準備金	0	0
	生活費加算	0	0
合計		1	310,000

※「件数」の合計は、人数

（2）保育士修学資金貸付等事業

返還免除付きの貸付を行うことで、保育人材の確保を図った。また、ホームページへの掲載等を通じ、事業周知の広報を行った。

① 保育士修学資金

ア 貸付対象等

保育士養成施設に在学する方に、修学資金、入学準備金及び就職準備金等を貸し付ける（免除要件：5年間保育士として業務に従事すること）。

イ 募集

令和7年5月30日から7月25日まで（令和7年度在学者対象）

ウ 貸付決定

資金種類		件数	金額（円）
保育士修学資金	修学資金	62	69,640,320
	入学準備金	48	9,415,000
	就職準備金	53	10,415,000

	生活費加算	0	0
	就職準備金 (最終学年で上記の貸付を受けていない方)	0	0
合計		62	89,470,320

※「件数」の合計は、人数

② 保育補助者雇上費貸付

ア 貸付対象等

保育士の雇用管理改善や労働環境改善に積極的に取り組んでいる保育事業者に、保育士資格を持たない保育補助者の雇上げ費用を貸し付ける（免除要件：貸付期間中に保育士資格を取得すること）。

イ 募集

令和7年5月30日から令和8年3月31日まで

ウ 貸付決定

資金種類	件数	金額（円）
保育補助者雇上費貸付	1	880,163

③ 未就学児を持つ保育士に対する保育料一部貸付

ア 貸付対象等

未就学児を持つ潜在保育士で、新たに保育所等に勤務する方に、こどもの保育料の一部を貸し付ける（免除要件：2年間保育士として業務に従事すること）。

イ 募集

令和7年5月30日から令和8年3月31日まで

ウ 貸付決定

資金種類	件数	金額（円）
未就学児を持つ保育士に対する保育料一部貸付	19	4,238,475

④ 保育士就職準備金

ア 貸付対象等

新たに保育所等に勤務する方に、就職のための準備金を貸し付ける（免除要件：2年間保育士として業務に従事すること）。

イ 募集

令和7年5月30日から令和8年3月31日まで

ウ 貸付決定

資金種類	件数	金額（円）
保育士就職準備金	7	2,600,000

⑤ 未就学児を持つ保育士のこどもの預かり支援事業利用料金一部貸付

ア 貸付対象等

未就学児を持つ潜在保育士が、保育所等で勤務する際のこどもの預かり支援事業利用料金の一部を貸し付ける（免除要件：2年間保育士として業務に従事すること）。

イ 募集

令和7年5月30日から令和8年3月31日まで

ウ 貸付決定 0件

(3) ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業

高等職業訓練機関在学者に入学準備金及び就職準備金の返還免除付き貸付を行うことで、ひとり親家庭の親の自立促進を図った。また、ホームページへの掲載等を通じ、事業周知の広報を行った。

① ひとり親家庭高等職業訓練促進資金

ア 貸付対象等

ひとり親家庭の親で、高等職業訓練促進給付金の支給対象である方に、高等職業訓練機関への入学に要する費用及び取得した資格を活かした就職に要する費用を貸し付ける（免除要件：5年間資格を活かした職に従事すること）。

イ 募集

令和7年5月1日から5月30日まで

ウ 貸付決定

資金種類		件数	金額（円）
ひとり親家庭高等職業訓練促進資金	入学準備金	1	467,625
	就職準備金	0	0
合計		1	467,625

② ひとり親家庭住宅支援資金

ア 貸付対象等

原則、児童扶養手当の支給を受けており、母子・父子自立支援プログラムの策定を受け、自立に向けて意欲的に取り組むひとり親家庭の方の家賃支援として貸し付ける（免除要件：貸付を受けた日から1年以内に就職、転職等して1年間就業を継続すること）。

イ 募集

令和7年6月23日から令和8年3月31日まで

ウ 貸付決定

資金種類	件数	金額（円）
ひとり親家庭住宅支援資金	17	11,665,748

(4) 児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付事業

児童養護施設退所者等に生活費、家賃支援費及び資格取得費用の返還免除付き貸付を行うことで、円滑な自立支援を図った。また、ホームページへの掲載等を通じ、事業周知の広報を行った。

① 児童養護施設退所者等に対する自立支援資金

ア 貸付対象等

- 大学等への進学により児童養護施設等を退所した方で、安定した生活基盤の確保が困難である方（以下「進学者」という。）に、家賃相当額及び生活費を貸し付ける（免除要件：5年間就業を継続すること）。
- 就職により児童養護施設等を退所した方で、安定した生活基盤の確保が困難である方（以下「就職者」という。）に、家賃相当額を貸し付ける（免除要件：5年間就業を継続すること）。
- 児童養護施設等入所者で、就職に必要な資格取得を希望する方（以下「資格取得希望者」という。）に、資格取得費用を貸し付ける（免除要件：2年間就業を継続すること）。

イ 募集

対 象	募集期限
進学者、就職者	3月19日
資格取得希望者	3月19日

ウ 貸付決定

資金種類			件数	金額（円）
児童養護施設 退所者等に対 する自立支援 資金	進学者	生活支援費	6	10,800,000
		家賃支援費	5	7,104,000
		小計	6	17,904,000
	就職者	家賃支援費	0	0
		小計	0	0
	資格取得希望者		4	991,050
合計			10	18,895,050

※「件数」の合計は、人数

2 福祉人材確保及び自立支援のための返還免除付き貸付事業の適正な債権管理の実施

借受人からの申請に基づき、返還免除及び返還手続きを行った。

(1) 介護福祉士修学資金等貸付事業

	免除決定				返還 完了
	当然免除		裁量免除		
	件数	金額	件数	金額	件数
ア 介護福祉士修学資金	14	22,840,000	-	-	1
イ 福祉系高校修学資金	5	1,350,000	-	-	-
ウ 福祉系高校修学資金返還充当資金	-	-	-	-	-
エ 介護福祉士実務者研修受講資金	90	16,275,546	-	-	24
オ 介護人材再就職準備金	17	5,500,000	-	-	1
カ 介護分野就職支援金	13	2,600,000	-	-	3
キ 障害福祉分野就職支援金	2	400,000	-	-	1
ク 社会福祉士修学資金	-	-	-	-	-
合計	141	48,965,546	-	-	30

(2) 保育士修学資金貸付等事業

	免除決定				返還 完了
	当然免除		裁量免除		
	件数	金額	件数	金額	件数
ア 保育士修学資金	53	83,623,120	-	-	6
イ 保育補助者雇上費貸付	1	8,857,548	-	-	-
ウ 未就学児を持つ保育士に対する保育料一部貸付	41	7,732,230	-	-	1
エ 保育士就職準備金	12	3,720,000	-	-	-
オ 未就学児を持つ保育士のこどもの預かり 支援事業利用料金一部貸付	-	-	-	-	-
合計	107	103,932,898	-	-	7

(3) ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業

	免除決定				返還 完了
	当然免除		裁量免除		
	件数	金額	件数	金額	件数
ア ひとり親家庭高等職業訓練促進資金	7	3,246,752	-	-	2
イ ひとり親家庭住宅支援資金	4	1,920,000	-	-	-

合計	11	5,166,752	-	-	2
----	----	-----------	---	---	---

(4) 児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付事業

	免除決定				返還 完了
	当然免除		裁量免除		
	件数	金額	件数	金額	件数
児童養護施設退所者等に対する 自立支援資金貸付事業	3	1,060,390	-	-	1
合計	3	1,060,390	-	-	1

3 運営委員会の開催

それぞれの貸付事業に運営委員会（委員各 5 名）を設置した。運営委員会は貸付の決定等に関する審査を行い、本会会長に意見具申した。各運営委員会及び開催状況は、次のとおり。

(1) 介護福祉士修学資金等貸付事業運営委員会

回数	開催月	貸付件数		免除件数		議 題
		申込	決定	申込	決定	
1	7 月 (書面表決)	57	57	0	0	・介護福祉士修学資金等貸付について（審査） (介護福祉士修学資金、社会福祉士修学資金)
2	10 月	0	0	116	116	・貸付金の返還免除について（審査）
3	3 月	0	0	25	25	・貸付金の返還免除について（審査）

(2) 保育士修学資金等貸付事業運営委員会

回数	開催月	貸付件数		免除件数		議 題
		申込	決定	申込	決定	
1	9 月 (書面表決)	62	62	0	0	・保育士修学資金貸付について（審査）
2	10 月	0	0	53	53	・貸付金の返還免除について（審査）
3	3 月	0	0	54	54	・貸付金の返還免除について（審査）

(3) ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業運営委員会

回数	開催月	貸付件数		免除件数		議 題
		申込	決定	申込	決定	
1	10 月	0	0	11	11	・貸付金の返還免除について（審査）
2	3 月	0	0	0	0	・貸付、免除に関する案件なし（副委員長の選任等）

(4) 児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付事業運営委員会

回数	開催日	貸付件数		免除件数		議 題
		申込	決定	申込	決定	
1	4 月 (書面表決)	2	2	0	0	・児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付について（審査）
2	10 月	0	0	2	2	・貸付金の返還免除について（審査）
3	3 月	4	4	1	1	・児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付について（審査） ・貸付金の返還免除について（審査）

※上記（１）から（４）の件数は、会長専決で決定を行ったものを除く。

4 その他

(1) 広報活動

期 日	場所／方法	内 容
5 月 27 日	和歌山市	泉州広告株式会社主催の「介護・福祉・保育お仕事博 in 和歌山」にブース出展をし、介護人材再就職準備金、介護分野就職支援金、障害福祉分野就職支援金、保育士就職準備金の周知を行った。
7 月 8 日	和歌山市	本会主催の「福祉・介護・保育の就職フェアわかやま」にブース出展をし、介護人材再就職準備金、介護分野就職支援金、障害福祉分野就職支援金、保育士就職準備金の周知を行った。
9 月 30 日	和歌山市	泉州広告株式会社主催の「介護・福祉・保育お仕事博 in 和歌山」にブース出展をし、介護人材再就職準備金、介護分野就職支援金、障害福祉分野就職支援金、保育士就職準備金の周知を行った。
2 月 9 日	Facebook Instagram	実務者研修受講資金貸付の周知を行った。

表1 生活福祉資金貸付審査等運営委員会

回数	開催日	貸付件数		償還免除 件数		償還猶予 件数		議 題
		申込	決定	申込	決定	申込	決定	
1	5月21日	0	0	9	9	0	0	・生活福祉資金貸付決定件数・金額等について ・生活福祉資金貸付金の精査・交渉状況等について ・生活福祉資金貸付金 償還免除審査について（審査） ・要保護世帯向け不動産担保型生活資金の償還について（審査） ・生活福祉資金 特例貸付実施状況について ・相談状況について ・その他
2	10月17日	0	0	1	1	0	0	・委員長・副委員長の選任について ・小委員会委員の選任について ・生活福祉資金貸付決定件数・金額等について ・生活福祉資金貸付金の精査・交渉状況等について ・生活福祉資金貸付金 償還免除審査について（審査） ・一般型不動産担保型生活資金の償還について ・生活福祉資金 特例貸付実施状況について ・相談状況について ・その他
3	3月11日	0	0	7	7	0	0	・副委員長の選任について ・小委員会委員の選任について ・生活福祉資金貸付決定件数・金額等について ・生活福祉資金貸付金の精査・交渉状況等について ・生活福祉資金貸付金 償還免除審査について（審査） ・生活福祉資金 特例貸付実施状況について ・相談状況について ・その他
合計		0	0	17	17	0	0	

※会長専決で決定を行ったものを除く。

表2-1 令和7年度 生活福祉資金貸付決定件数・金額

資金名 市町村	総合支援資金						福祉資金				教育支援資金				不動産担保型生活資金				合計	
	生活支援費		住宅入居費		一時生活再建費		福 祉 費		緊急小口資金		教育支援費		就学支度費		不動産担保型生活資金		要保護世帯向け不動産担保型生活資金			
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
和歌山市	0	0	0	0	0	0	19	1,453,210	0	0	3	9,624,000	3	1,500,000	0	0	0	0	25	12,577,210
海 南 市	1	180,000	0	0	0	0	4	249,040	0	0	1	2,040,000	2	400,000	0	0	0	0	8	2,869,040
橋 本 市	5	1,620,500	0	0	0	0	2	645,400	0	0	5	11,632,500	4	2,000,000	0	0	0	0	16	15,898,400
有 田 市	1	170,400	0	0	1	505,980	2	210,000	0	0	1	4,680,000	1	500,000	0	0	0	0	6	6,066,380
御 坊 市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
田 辺 市	9	3,243,400	0	0	0	0	10	1,162,655	0	0	2	4,560,000	2	950,000	0	0	0	0	23	9,916,055
新 宮 市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
紀の川市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	204,320	0	0	0	0	0	1	204,320
岩 出 市	7	2,014,100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	2,014,100
紀美野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
かつらぎ町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
九度山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高 野 町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
湯 浅 町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1,684,800	1	500,000	0	0	0	0	0	2	2,184,800
広 川 町	0	0	0	0	0	0	1	69,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	69,000
有田川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
美 浜 町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日 高 町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
由 良 町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
印 南 町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
みなべ町	1	227,400	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	227,400
日高川町	1	131,600	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	500,000	0	0	0	0	0	2	631,600
白 浜 町	2	424,000	0	0	0	0	7	1,099,150	1	100,000	0	0	0	0	0	0	0	0	10	1,623,150
上富田町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
すさみ町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
那智勝浦町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
太 地 町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
古座川町	0	0	0	0	0	0	1	252,329	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	252,329
北 山 村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
串 本 町	1	99,600	0	0	0	0	1	87,610	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	187,210
県 計	28	8,111,000	0	0	1	505,980	47	5,228,394	1	100,000	13	34,221,300	15	6,554,320	0	0	0	0	105	54,720,994

表2-2 生活福祉資金(コロナ特例貸付)決定状況

2020年3月25日～2022年11月4日

資金種類		市町村社協以外										全体の金額		内訳			
		市町村社協 (c1)		市町村社協以外				KA 緊急小口資金		SX 総合支援資金							
全体の件数		労金 (c2)	郵便局 (c3)	Web (c8)	県社協 (c9)	件数	金額	件数	金額	初回貸付	延長貸付	再貸付	初回貸付	延長貸付	再貸付		
201和歌山市	16,549	16,339	210	92	36	18	64	5,583	1,050,107,000	10,966	5,330	2,729	2,907	5,763,488,000	2,814,121,000	1,422,229,000	1,527,138,000
202海南市	392	388	4	1	1	1	1	195	34,980,000	197	127	36	34	95,064,000	63,880,000	14,884,000	16,300,000
203橋本市	1,875	1,865	10	7	1	0	2	620	111,400,000	1,255	603	297	355	645,042,200	316,322,200	149,810,000	178,910,000
204有田市	859	852	7	0	0	0	7	307	58,846,000	552	277	98	177	297,425,000	151,223,000	51,368,000	94,834,000
205御坊市	840	834	6	2	2	2	0	270	49,796,000	570	272	149	149	296,750,000	140,810,000	76,900,000	79,040,000
206田辺市	3,318	3,302	16	5	4	2	5	1,135	199,853,000	2,183	1,092	515	576	1,168,260,000	583,740,000	275,320,000	309,200,000
207新宮市	731	725	6	3	2	0	1	270	44,710,000	461	248	91	122	211,511,000	115,126,000	38,975,000	57,410,000
208紀の川市	1,278	1,266	12	5	1	0	6	438	72,900,000	840	447	195	198	455,575,000	245,410,000	103,395,000	106,770,000
209岩出市	2,068	2,047	21	8	2	3	8	792	147,790,000	1,276	654	270	352	701,359,000	358,600,000	148,524,000	194,235,000
304紀美野町	92	91	1	1	0	0	0	35	6,000,000	57	28	15	14	29,950,000	14,050,000	8,100,000	7,800,000
341かつらぎ町	272	270	2	1	0	1	0	116	21,639,000	156	77	38	41	82,226,000	41,156,000	19,500,000	21,570,000
343九度山町	40	40	0	0	0	0	0	15	2,170,000	25	14	5	6	9,720,000	5,610,000	1,890,000	2,220,000
344高野町	89	88	1	0	1	0	0	33	5,700,000	56	27	14	15	28,620,000	14,100,000	7,020,000	7,500,000
361湯浅町	126	122	4	1	2	0	1	59	9,650,000	67	43	12	12	35,820,000	22,860,000	6,750,000	6,210,000
362広川町	111	109	2	0	0	0	2	46	8,750,000	65	35	13	17	35,350,000	18,850,000	7,350,000	9,150,000
366有田川町	307	305	2	1	0	1	0	103	16,270,000	204	104	57	43	111,390,000	56,190,000	31,500,000	23,700,000
381美浜町	151	150	1	1	0	0	0	53	9,700,000	98	47	24	27	53,400,000	25,500,000	13,350,000	14,550,000
382日高町	117	115	2	2	0	0	0	40	6,600,000	77	38	20	19	40,050,000	19,800,000	10,500,000	9,750,000
383由良町	94	94	0	0	0	0	0	33	5,900,000	61	30	16	15	33,450,000	16,650,000	8,700,000	8,100,000
390印南町	144	144	0	0	0	0	0	47	6,496,000	97	46	22	29	50,487,000	23,922,000	11,445,000	15,120,000
391みなべ町	170	169	1	1	0	0	0	66	10,524,000	104	53	26	25	55,450,000	28,150,000	13,860,000	13,440,000
392日高川町	148	146	2	0	1	0	1	53	8,810,000	95	47	22	26	50,000,000	24,200,000	11,850,000	13,950,000
401白浜町	739	735	4	1	2	1	0	268	33,805,000	471	244	100	127	237,110,000	123,010,000	49,910,000	64,190,000
404上富田町	402	400	2	1	0	1	0	139	21,300,000	263	134	60	69	139,550,000	71,700,000	31,050,000	36,800,000
406すさみ町	71	71	0	0	0	0	0	29	4,400,000	42	20	11	11	21,120,000	10,110,000	5,700,000	5,310,000
421那智勝浦町	382	373	9	3	0	0	6	157	26,305,000	225	115	58	52	109,425,000	57,410,000	26,205,000	25,810,000
422太地町	25	25	0	0	0	0	0	9	1,400,000	16	6	5	5	8,250,000	3,150,000	2,550,000	2,550,000
424古座川町	48	47	1	1	0	0	0	21	3,900,000	27	15	6	6	13,890,000	7,920,000	2,820,000	3,150,000
427北山村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
428串本町	605	601	4	3	1	0	0	218	42,260,000	387	215	87	85	205,296,300	115,616,300	44,940,000	44,740,000
総計	32,043	31,713	330	140	56	30	104	11,150	2,021,961,000	20,893	10,388	4,991	5,514	10,985,028,500	5,489,186,500	2,596,395,000	2,899,447,000

令和3年3月31日現在

表2－3 生活福祉資金(コロナ特例貸付)償還免除状況

取扱社協	R4判定免除(R3・4非課税)				R5判定免除(R5非課税)				R6判定免除(R6非課税)				次年度免除(R5から非課税)				任意免除(生保、障害者手帳、死亡、自己破産等)				合計		
	緊急小口資金 件	金額(円)	総合支援資金 件	金額(円)	緊急小口資金 件	金額(円)	総合支援資金 件	金額(円)	緊急小口資金 件	金額(円)	総合支援資金 件	金額(円)	緊急小口資金 件	金額(円)	総合支援資金 件	金額(円)	緊急小口資金 件	金額(円)	総合支援資金 件	金額(円)	件	金額(円)	
201 和歌山市	2,598	485,497,220	2,535	1,333,426,000	168	33,291,750	1,377	721,719,500	0	0	1,263	668,430,250	219	24,390,320	423	199,060,640	287	48,493,810	639	311,155,498	9,509	3,825,464,988	
202 海南市	75	13,250,000	61	30,210,820	5	975,010	15	7,089,000	0	0	16	7,670,000	10	937,940	17	6,417,910	11	1,612,700	5	1,516,250	215	69,679,630	
203 橋本市	254	44,977,330	259	133,392,670	18	3,305,020	134	66,751,250	0	0	144	71,455,000	33	4,007,750	74	36,302,500	29	4,976,750	83	38,838,341	1,028	404,006,611	
204 有田市	182	34,560,030	168	91,939,250	11	2,200,000	62	33,138,000	0	0	98	53,052,000	10	1,075,390	38	17,715,000	11	2,025,070	24	12,403,500	604	248,108,240	
205 御坊市	144	26,162,720	151	77,595,000	11	2,200,000	90	45,614,750	0	0	85	45,085,000	9	993,630	25	11,905,250	13	2,075,050	17	8,185,000	545	219,816,400	
206 田辺市	536	91,642,840	490	263,917,500	41	7,958,390	268	144,625,000	0	0	234	126,120,000	34	3,426,340	87	41,781,250	65	10,945,260	151	75,222,250	1,906	765,638,830	
207 新宮市	110	19,315,840	142	66,246,250	18	3,160,000	73	32,590,000	0	0	56	26,196,250	4	350,200	8	3,359,120	12	2,003,380	22	9,781,740	445	163,002,780	
208 紀の川市	190	31,640,030	200	109,354,250	28	5,200,000	96	51,270,000	0	0	76	40,765,000	16	1,459,160	37	17,932,000	20	2,551,281	55	27,531,250	718	287,702,971	
209 岩出市	363	66,966,440	304	167,947,750	28	5,550,020	160	88,161,250	0	0	160	89,670,000	33	4,392,610	47	22,963,890	45	7,191,181	84	43,636,250	1,224	496,479,391	
304 紀美野町	20	3,500,000	15	7,500,000	2	400,000	12	6,300,000	0	0	7	3,742,500	0	0	1	405,000	1	183,340	3	1,492,500	61	23,523,340	
341 かつらぎ町	56	10,454,210	40	20,496,250	2	400,000	20	9,570,000	0	0	21	10,680,000	3	300,120	9	4,140,000	6	758,330	10	5,273,750	167	62,072,660	
343 九度山町	2	300,000	1	270,000	2	300,000	2	840,000	0	0	1	450,000	0	0	2	672,500	0	0	2	600,000	12	3,432,500	
344 高野町	20	3,500,000	18	9,900,000	0	0	4	2,070,000	0	0	8	4,350,000	0	0	6	2,745,000	0	0	2	900,000	58	23,465,000	
361 湯浅町	29	4,498,010	24	12,623,500	5	750,000	6	3,600,000	0	0	7	3,960,000	1	100,040	3	1,350,000	3	333,400	6	3,026,000	84	30,240,950	
362 広川町	23	4,160,000	20	10,750,000	5	1,000,000	13	6,900,000	0	0	12	6,900,000	1	175,010	1	438,750	1	200,000	0	0	76	30,523,760	
366 有田川町	53	8,718,370	62	34,290,000	6	575,040	39	20,846,250	0	0	26	14,550,000	3	291,760	7	3,435,000	6	895,960	16	7,523,750	218	91,126,130	
381 美浜町	22	4,000,000	21	11,250,000	3	450,000	14	7,650,000	0	0	11	6,000,000	4	350,080	8	3,728,750	4	633,380	9	4,447,500	96	38,509,710	
382 日高町	21	3,300,000	17	9,000,000	1	200,000	13	7,050,000	0	0	6	3,150,000	0	0	8	3,285,000	0	0	0	0	66	25,985,000	
383 由良町	19	3,100,000	20	10,950,000	2	400,000	8	4,350,000	0	0	6	3,300,000	0	0	0	0	1	200,000	1	600,000	57	22,900,000	
390 印南町	30	4,066,000	30	16,230,000	2	300,000	16	8,709,030	0	0	15	7,743,750	1	100,040	2	1,005,000	1	200,000	2	1,200,000	99	39,583,820	
391 みなべ町	25	3,988,000	25	13,150,000	3	600,000	14	7,280,000	0	0	10	5,490,000	2	200,080	1	405,000	3	475,050	10	5,610,000	93	37,188,130	
392 日高川町	32	5,201,680	31	16,090,000	4	800,000	14	7,650,000	0	0	12	6,300,000	2	233,400	4	1,635,000	3	500,000	8	4,650,000	110	43,060,080	
401 白浜町	103	14,131,730	111	56,222,500	7	956,700	43	21,076,280	0	0	47	23,777,500	11	1,087,900	20	9,132,500	11	1,295,880	16	7,515,660	369	135,196,650	
404 上富田町	59	8,600,000	55	29,250,000	2	400,000	27	15,115,000	0	0	24	13,195,000	5	558,480	12	5,597,500	10	1,270,890	16	8,787,500	210	82,774,370	
406 すさみ町	15	2,000,000	10	4,860,000	2	400,000	6	3,000,000	0	0	5	2,250,000	1	25,070	2	900,000	2	300,000	3	1,745,000	46	15,480,070	
421 那智勝浦町	70	11,266,350	57	28,003,750	9	1,650,000	35	15,757,500	0	0	24	11,830,000	10	1,017,080	17	8,009,750	7	1,255,840	14	6,296,250	243	85,086,920	
422 太地町	4	700,000	3	1,500,000	0	0	2	1,050,000	0	0	1	450,000	0	0	0	0	1	87,520	0	0	11	3,787,520	
424 古座川町	10	2,000,000	11	5,591,250	3	600,000	5	2,370,000	0	0	6	3,150,000	1	100,040	3	1,620,000	0	0	1	270,000	40	15,701,290	
427 北山村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
428 串本町	88	17,025,070	87	45,908,750	1	200,000	47	23,700,000	0	0	40	21,292,500	8	875,290	14	7,080,000	13	2,233,360	19	8,330,200	317	126,645,170	
合計	5,153	928,561,870	4,968	2,617,865,490	389	74,221,930	2,615	1,365,822,810	0	0	2,421	1,281,004,750	421	46,447,730	876	413,022,310	566	92,697,432	1,218	596,538,189	18,927	7,416,182,511	
																				緊急小口資金		6,529	1,141,928,962
																				総合支援資金		12,098	6,274,253,549

表3 令和7年度 全体（福祉・教育・離職・総合分）償還状況表

	償還期限内当年度（A）			償還期限内過年度及び期限後（B）			合 計（A）＋（B）		
	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)
和歌山市	261,773,624	124,961,563	47.7	366,444,776	31,356,131	8.6	628,218,400	156,317,694	24.9
海 南 市	8,460,051	6,466,340	76.4	10,721,568	1,174,740	11.0	19,181,619	7,641,080	39.8
橋 本 市	34,723,620	19,695,453	56.7	46,000,992	5,397,454	11.7	80,724,612	25,092,907	31.1
有 田 市	9,831,030	5,563,130	56.6	11,703,290	677,480	5.8	21,534,320	6,240,610	29.0
御 坊 市	12,290,350	6,133,930	49.9	16,408,410	1,601,460	9.8	28,698,760	7,735,390	27.0
田 辺 市	53,139,372	27,677,929	52.1	63,525,490	7,576,980	11.9	116,664,862	35,254,909	30.2
新 宮 市	11,145,030	6,785,150	60.9	10,659,290	1,750,430	16.4	21,804,320	8,535,580	39.1
紀 の 川 市	21,269,505	11,471,185	53.9	26,809,197	2,903,185	10.8	48,078,702	14,374,370	29.9
岩 出 市	30,473,070	16,807,470	55.2	40,224,455	4,262,973	10.6	70,697,525	21,070,443	29.8
紀 美 野 町	1,571,060	841,670	53.6	2,626,940	94,520	3.6	4,198,000	936,190	22.3
かつらぎ町	3,363,180	2,081,180	61.9	4,366,670	779,578	17.9	7,729,850	2,860,758	37.0
九 度 山 町	734,320	338,730	46.1	1,163,080	74,430	6.4	1,897,400	413,160	21.8
高 野 町	1,150,440	833,940	72.5	1,066,879	57,210	5.4	2,217,319	891,150	40.2
湯 浅 町	1,886,350	1,253,050	66.4	3,428,650	309,560	9.0	5,315,000	1,562,610	29.4
広 川 町	1,438,190	618,640	43.0	2,425,160	84,240	3.5	3,863,350	702,880	18.2
有 田 川 町	3,082,450	1,352,220	43.9	4,780,134	392,580	8.2	7,862,584	1,744,800	22.2
美 浜 町	2,075,760	1,085,760	52.3	3,870,590	207,790	5.4	5,946,350	1,293,550	21.8
日 高 町	1,693,964	601,504	35.5	3,138,616	225,486	7.2	4,832,580	826,990	17.1
由 良 町	1,636,240	935,490	57.2	1,188,250	159,990	13.5	2,824,490	1,095,480	38.8
印 南 町	1,620,800	656,000	40.5	3,622,395	311,970	8.6	5,243,195	967,970	18.5
み な べ 町	2,360,470	1,765,240	74.8	2,865,370	412,640	14.4	5,225,840	2,177,880	41.7
日 高 川 町	2,008,830	1,061,110	52.8	1,583,510	221,420	14.0	3,592,340	1,282,530	35.7
白 浜 町	11,782,359	5,975,329	50.7	12,622,570	1,867,810	14.8	24,404,929	7,843,139	32.1
上 富 田 町	8,711,300	5,872,240	67.4	7,039,560	582,310	8.3	15,750,860	6,454,550	41.0
す さ み 町	970,980	459,750	47.3	5,339,250	992,700	18.6	6,310,230	1,452,450	23.0
那智勝浦町	4,358,680	2,101,840	48.2	6,281,290	381,430	6.1	10,639,970	2,483,270	23.3
太 地 町	525,000	90,000	17.1	4,280,830	108,360	2.5	4,805,830	198,360	4.1
古 座 川 町	293,430	202,970	69.2	494,100	81,440	16.5	787,530	284,410	36.1
北 山 村	0	0	－	0	0	－	0	0	－
串 本 町	10,998,860	5,429,820	49.4	17,458,820	1,245,320	7.1	28,457,680	6,675,140	23.5
償 還 免 除 債 権	296,680	83,120	28.0	5,802,333	24,990	0.4	6,099,013	108,110	1.8
県 計	505,664,995	259,201,753	51.3	687,942,465	65,316,607	9.5	1,193,607,460	324,518,360	27.2

表4 令和7年度 通常貸付（福祉・教育・離職・総合分）償還状況表

	償還期限内当年度（A）			償還期限内過年度及び期限後（B）			合 計（A）＋（B）		
	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)
和歌山市	12,738,519	10,071,819	79.1	40,269,494	1,996,992	5.0	53,008,013	12,068,811	22.8
海 南 市	4,358,501	3,970,970	91.1	3,980,858	381,630	9.6	8,339,359	4,352,600	52.2
橋 本 市	5,702,570	4,269,080	74.9	12,500,277	1,440,524	11.5	18,202,847	5,709,604	31.4
有 田 市	236,820	225,480	95.2	456,850	0	0.0	693,670	225,480	32.5
御 坊 市	1,678,520	1,065,720	63.5	2,565,800	262,940	10.2	4,244,320	1,328,660	31.3
田 辺 市	4,472,472	3,367,292	75.3	9,806,430	501,400	5.1	14,278,902	3,868,692	27.1
新 宮 市	2,403,120	1,822,900	75.9	2,743,520	881,310	32.1	5,146,640	2,704,210	52.5
紀 の 川 市	246,305	204,655	83.1	4,557,265	500,005	11.0	4,803,570	704,660	14.7
岩 出 市	2,323,330	1,900,170	81.8	4,884,255	393,983	8.1	7,207,585	2,294,153	31.8
紀 美 野 町	445,980	15,300	3.4	2,524,320	1,900	0.1	2,970,300	17,200	0.6
かつらぎ町	0	0	－	815,600	10,080	1.2	815,600	10,080	1.2
九 度 山 町	28,200	28,200	100.0	0	0	－	28,200	28,200	100.0
高 野 町	253,800	253,800	100.0	396,599	3,000	0.8	650,399	256,800	39.5
湯 浅 町	851,800	851,800	100.0	234,510	212,510	90.6	1,086,310	1,064,310	98.0
広 川 町	386,140	386,140	100.0	477,700	55,080	11.5	863,840	441,220	51.1
有 田 川 町	96,000	0	0.0	661,034	102,860	15.6	757,034	102,860	13.6
美 浜 町	96,960	96,960	100.0	636,120	24,500	3.9	733,080	121,460	16.6
日 高 町	39,960	0	0.0	463,920	0	0.0	503,880	0	0.0
由 良 町	141,240	114,240	80.9	27,000	27,000	100.0	168,240	141,240	84.0
印 南 町	36,600	36,600	100.0	2,407,385	82,780	3.4	2,443,985	119,380	4.9
み な べ 町	458,280	458,280	100.0	0	0	－	458,280	458,280	100.0
日 高 川 町	537,750	508,620	94.6	19,720	19,720	100.0	557,470	528,340	94.8
白 浜 町	957,069	812,459	84.9	979,690	60,770	6.2	1,936,759	873,229	45.1
上 富 田 町	258,000	258,000	100.0	939,700	48,380	5.1	1,197,700	306,380	25.6
す さ み 町	90,000	75,000	83.3	4,243,690	931,740	22.0	4,333,690	1,006,740	23.2
那智勝浦町	321,480	306,400	95.3	1,310,440	49,660	3.8	1,631,920	356,060	21.8
太 地 町	0	0	－	3,551,220	108,360	3.1	3,551,220	108,360	3.1
古 座 川 町	225,020	169,560	75.4	13,880	13,880	100.0	238,900	183,440	76.8
北 山 村	0	0	－	0	0	－	0	0	－
串 本 町	1,050,700	881,860	83.9	2,872,020	79,680	2.8	3,922,720	961,540	24.5
償 還 免 除 債 権	296,680	83,120	28.0	5,802,333	24,990	0.4	6,099,013	108,110	1.8
県 計	40,731,816	32,234,425	79.1	110,141,630	8,215,674	7.5	150,873,446	40,450,099	26.8

表5 令和7年度 コロナ特例貸付（小口・総合分）償還状況表

	償還期限内当年度（A）			償還期限内過年度及び期限後（B）			合 計（A）＋（B）		
	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)
和歌山市	249,035,105	114,889,744	46.1	326,175,282	29,359,139	9.0	575,210,387	144,248,883	25.1
海 南 市	4,101,550	2,495,370	60.8	6,740,710	793,110	11.8	10,842,260	3,288,480	30.3
橋 本 市	29,021,050	15,426,373	53.2	33,500,715	3,956,930	11.8	62,521,765	19,383,303	31.0
有 田 市	9,594,210	5,337,650	55.6	11,246,440	677,480	6.0	20,840,650	6,015,130	28.9
御 坊 市	10,611,830	5,068,210	47.8	13,842,610	1,338,520	9.7	24,454,440	6,406,730	26.2
田 辺 市	48,666,900	24,310,637	50.0	53,719,060	7,075,580	13.2	102,385,960	31,386,217	30.7
新 宮 市	8,741,910	4,962,250	56.8	7,915,770	869,120	11.0	16,657,680	5,831,370	35.0
紀 の 川 市	21,023,200	11,266,530	53.6	22,251,932	2,403,180	10.8	43,275,132	13,669,710	31.6
岩 出 市	28,149,740	14,907,300	53.0	35,340,200	3,868,990	10.9	63,489,940	18,776,290	29.6
紀 美 野 町	1,125,080	826,370	73.4	102,620	92,620	90.3	1,227,700	918,990	74.9
かつらぎ町	3,363,180	2,081,180	61.9	3,551,070	769,498	21.7	6,914,250	2,850,678	41.2
九 度 山 町	706,120	310,530	44.0	1,163,080	74,430	6.4	1,869,200	384,960	20.6
高 野 町	896,640	580,140	64.7	670,280	54,210	8.1	1,566,920	634,350	40.5
湯 浅 町	1,034,550	401,250	38.8	3,194,140	97,050	3.0	4,228,690	498,300	11.8
広 川 町	1,052,050	232,500	22.1	1,947,460	29,160	1.5	2,999,510	261,660	8.7
有 田 川 町	2,986,450	1,352,220	45.3	4,119,100	289,720	7.0	7,105,550	1,641,940	23.1
美 浜 町	1,978,800	988,800	50.0	3,234,470	183,290	5.7	5,213,270	1,172,090	22.5
日 高 町	1,654,004	601,504	36.4	2,674,696	225,486	8.4	4,328,700	826,990	19.1
由 良 町	1,495,000	821,250	54.9	1,161,250	132,990	11.5	2,656,250	954,240	35.9
印 南 町	1,584,200	619,400	39.1	1,215,010	229,190	18.9	2,799,210	848,590	30.3
み な べ 町	1,902,190	1,306,960	68.7	2,865,370	412,640	14.4	4,767,560	1,719,600	36.1
日 高 川 町	1,471,080	552,490	37.6	1,563,790	201,700	12.9	3,034,870	754,190	24.9
白 浜 町	10,825,290	5,162,870	47.7	11,642,880	1,807,040	15.5	22,468,170	6,969,910	31.0
上 富 田 町	8,453,300	5,614,240	66.4	6,099,860	533,930	8.8	14,553,160	6,148,170	42.2
す さ み 町	880,980	384,750	43.7	1,095,560	60,960	5.6	1,976,540	445,710	22.6
那智勝浦町	4,037,200	1,795,440	44.5	4,970,850	331,770	6.7	9,008,050	2,127,210	23.6
太 地 町	525,000	90,000	17.1	729,610	0	0.0	1,254,610	90,000	7.2
古 座 川 町	68,410	33,410	48.8	480,220	67,560	14.1	548,630	100,970	18.4
北 山 村	0	0	－	0	0	－	0	0	－
串 本 町	9,948,160	4,547,960	45.7	14,586,800	1,165,640	8.0	24,534,960	5,713,600	23.3
県 計	464,933,179	226,967,328	48.8	577,800,835	57,100,933	9.9	1,042,734,014	284,068,261	27.2

表6 令和7年度 福祉・教育資金償還状況表

	償還期限内当年度 (A)			償還期限内過年度及び期限後 (B)			合 計 (A) + (B)		
	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)
和歌山市	11,868,259	9,639,379	81.2	20,631,740	1,230,140	6.0	32,499,999	10,869,519	33.4
海 南 市	4,152,461	3,897,000	93.8	2,045,980	298,460	14.6	6,198,441	4,195,460	67.7
橋 本 市	5,124,380	3,963,860	77.4	8,072,089	1,145,400	14.2	13,196,469	5,109,260	38.7
有 田 市	210,000	210,000	100.0	56,850	0	0.0	266,850	210,000	78.7
御 坊 市	1,579,040	1,055,080	66.8	411,320	217,580	52.9	1,990,360	1,272,660	63.9
田 辺 市	2,900,372	2,501,652	86.3	5,449,050	374,240	6.9	8,349,422	2,875,892	34.4
新 宮 市	2,403,120	1,822,900	75.9	2,743,520	881,310	32.1	5,146,640	2,704,210	52.5
紀 の 川 市	225,040	183,390	81.5	3,976,320	480,460	12.1	4,201,360	663,850	15.8
岩 出 市	1,473,720	1,403,740	95.3	2,564,368	274,871	10.7	4,038,088	1,678,611	41.6
紀 美 野 町	445,980	15,300	3.4	2,524,320	1,900	0.1	2,970,300	17,200	0.6
かつらぎ町	0	0	-	0	0	-	0	0	-
九 度 山 町	0	0	-	0	0	-	0	0	-
高 野 町	63,800	63,800	100.0	396,599	3,000	0.8	460,399	66,800	14.5
湯 浅 町	851,800	851,800	100.0	234,510	212,510	90.6	1,086,310	1,064,310	98.0
広 川 町	386,140	386,140	100.0	41,650	41,650	100.0	427,790	427,790	100.0
有 田 川 町	0	0	-	239,020	42,860	17.9	239,020	42,860	17.9
美 浜 町	96,960	96,960	100.0	636,120	24,500	3.9	733,080	121,460	16.6
日 高 町	0	0	-	154,230	0	0.0	154,230	0	0.0
由 良 町	141,240	114,240	80.9	27,000	27,000	100.0	168,240	141,240	84.0
印 南 町	0	0	-	2,190,285	66,700	3.0	2,190,285	66,700	3.0
み な べ 町	419,880	419,880	100.0	0	0	-	419,880	419,880	100.0
日 高 川 町	472,560	446,180	94.4	19,720	19,720	100.0	492,280	465,900	94.6
白 浜 町	805,029	708,379	88.0	973,940	55,020	5.6	1,778,969	763,399	42.9
上 富 田 町	258,000	258,000	100.0	899,900	29,460	3.3	1,157,900	287,460	24.8
す さ み 町	90,000	75,000	83.3	4,243,690	931,740	22.0	4,333,690	1,006,740	23.2
那智勝浦町	321,480	306,400	95.3	1,310,440	49,660	3.8	1,631,920	356,060	21.8
太 地 町	0	0	-	3,551,220	108,360	3.1	3,551,220	108,360	3.1
古 座 川 町	225,020	169,560	75.4	13,880	13,880	100.0	238,900	183,440	76.8
北 山 村	0	0	-	0	0	-	0	0	-
串 本 町	1,038,660	869,820	83.7	2,872,020	79,680	2.8	3,910,680	949,500	24.3
償 還 免 除 債 権	162,680	79,790	49.0	2,656,355	24,990	0.9	2,819,035	104,780	3.7
県 計	35,715,621	29,538,250	82.7	68,936,136	6,635,091	9.6	104,651,757	36,173,341	34.6

表 7 令和 7 年度 離職者支援資金償還状況表

	償還期限内当年度 (A)			償還期限内過年度及び期限後 (B)			合 計 (A) + (B)		
	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)
和歌山市	0	0	－	10,323,807	423,740	4.1	10,323,807	423,740	4.1
海 南 市	0	0	－	882,390	65,940	7.5	882,390	65,940	7.5
橋 本 市	0	0	－	942,140	69,040	7.3	942,140	69,040	7.3
有 田 市	0	0	－	0	0	－	0	0	－
御 坊 市	0	0	－	1,949,050	0	0.0	1,949,050	0	0.0
田 辺 市	0	0	－	1,853,860	17,730	1.0	1,853,860	17,730	1.0
新 宮 市	0	0	－	0	0	－	0	0	－
紀 の 川 市	0	0	－	0	0	－	0	0	－
岩 出 市	0	0	－	0	0	－	0	0	－
紀 美 野 町	0	0	－	0	0	－	0	0	－
かつらぎ町	0	0	－	0	0	－	0	0	－
九 度 山 町	0	0	－	0	0	－	0	0	－
高 野 町	0	0	－	0	0	－	0	0	－
湯 浅 町	0	0	－	0	0	－	0	0	－
広 川 町	0	0	－	0	0	－	0	0	－
有 田 川 町	0	0	－	0	0	－	0	0	－
美 浜 町	0	0	－	0	0	－	0	0	－
日 高 町	0	0	－	0	0	－	0	0	－
由 良 町	0	0	－	0	0	－	0	0	－
印 南 町	0	0	－	0	0	－	0	0	－
み な べ 町	0	0	－	0	0	－	0	0	－
日 高 川 町	0	0	－	0	0	－	0	0	－
白 浜 町	0	0	－	0	0	－	0	0	－
上 富 田 町	0	0	－	0	0	－	0	0	－
す さ み 町	0	0	－	0	0	－	0	0	－
那智勝浦町	0	0	－	0	0	－	0	0	－
太 地 町	0	0	－	0	0	－	0	0	－
古 座 川 町	0	0	－	0	0	－	0	0	－
北 山 村	0	0	－	0	0	－	0	0	－
串 本 町	0	0	－	0	0	－	0	0	－
償 還 免 除 債 権	0	0	－	0	0	－	0	0	－
県 計	0	0	－	15,951,247	576,450	3.6	15,951,247	576,450	3.6

表 8 令和 7 年度 緊急小口資金（通常貸付）償還状況表

	償還期限内当年度（A）			償還期限内過年度及び期限後（B）			合 計（A）＋（B）		
	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)
和歌山市	37,520	37,520	100.0	339,291	0	0.0	376,811	37,520	10.0
海 南 市	0	0	－	20,000	20,000	100.0	20,000	20,000	100.0
橋 本 市	49,990	49,990	100.0	233,330	70,370	30.2	283,320	120,360	42.5
有 田 市	0	0	－	56,850	0	0.0	56,850	0	0.0
御 坊 市	0	0	－	50,760	10,320	20.3	50,760	10,320	20.3
田 辺 市	0	0	－	100,000	0	0.0	100,000	0	0.0
新 宮 市	0	0	－	0	0	－	0	0	0.0
紀 の 川 市	45,520	45,520	100.0	14,828	0	0.0	60,348	45,520	75.4
岩 出 市	0	0	－	21,291	21,291	100.0	21,291	21,291	100.0
紀 美 野 町	0	0	－	0	0	－	0	0	0.0
かつらぎ町	0	0	－	0	0	－	0	0	0.0
九 度 山 町	0	0	－	0	0	－	0	0	0.0
高 野 町	33,320	33,320	100.0	41,690	0	0.0	75,010	33,320	44.4
湯 浅 町	0	0	－	0	0	－	0	0	0.0
広 川 町	58,350	58,350	100.0	41,650	41,650	100.0	100,000	100,000	100.0
有 田 川 町	0	0	－	55,700	20,000	35.9	55,700	20,000	35.9
美 浜 町	0	0	－	0	0	－	0	0	0.0
日 高 町	0	0	－	0	0	－	0	0	0.0
由 良 町	0	0	－	0	0	－	0	0	0.0
印 南 町	0	0	－	99,000	0	0.0	99,000	0	0.0
み な べ 町	0	0	－	0	0	－	0	0	0.0
日 高 川 町	0	0	－	0	0	－	0	0	0.0
白 浜 町	70,870	62,540	88.2	175,030	55,020	31.4	245,900	117,560	47.8
上 富 田 町	0	0	－	61,400	0	0.0	61,400	0	0.0
す さ み 町	0	0	－	0	0	－	0	0	0.0
那智勝浦町	0	0	－	21,720	5,410	24.9	21,720	5,410	24.9
太 地 町	0	0	－	0	0	－	0	0	0.0
古 座 川 町	0	0	－	0	0	－	0	0	0.0
北 山 村	0	0	－	0	0	－	0	0	0.0
串 本 町	0	0	－	0	0	－	0	0	0.0
償 還 免 除 債 権	0	0	－	117,165	24,990	21.3	117,165	24,990	21.3
県 計	295,570	287,240	97.2	1,449,705	269,051	18.6	1,745,275	556,291	31.9

表9 令和7年度 緊急小口資金（コロナ特例貸付）償還状況表

	償還期限内当年度（A）			償還期限内過年度及び期限後（B）			合 計（A）＋（B）		
	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)
和歌山市	11,808,900	7,991,700	67.7	183,208,352	13,914,630	7.6	195,017,252	21,906,330	11.2
海 南 市	91,680	91,680	100.0	4,815,960	499,610	10.4	4,907,640	591,290	12.0
橋 本 市	1,143,160	612,710	53.6	18,798,610	2,015,270	10.7	19,941,770	2,627,980	13.2
有 田 市	401,830	210,240	52.3	6,778,890	356,130	5.3	7,180,720	566,370	7.9
御 坊 市	541,820	283,620	52.3	7,958,400	675,020	8.5	8,500,220	958,640	11.3
田 辺 市	3,771,050	1,902,990	50.5	30,426,810	3,587,830	11.8	34,197,860	5,490,820	16.1
新 宮 市	175,320	175,320	100.0	3,929,660	423,260	10.8	4,104,980	598,580	14.6
紀 の 川 市	262,590	237,600	90.5	11,490,530	978,180	8.5	11,753,120	1,215,780	10.3
岩 出 市	2,161,010	1,719,490	79.6	22,276,160	2,426,130	10.9	24,437,170	4,145,620	17.0
紀 美 野 町	100,120	100,120	100.0	12,640	12,640	100.0	112,760	112,760	100.0
かつらぎ町	283,460	283,460	100.0	2,187,570	587,410	26.9	2,471,030	870,870	35.2
九 度 山 町	25,120	25,120	100.0	687,830	45,930	6.7	712,950	71,050	10.0
高 野 町	16,640	16,640	100.0	329,280	20,960	6.4	345,920	37,600	10.9
湯 浅 町	20,800	0	0.0	2,266,640	58,300	2.6	2,287,440	58,300	2.5
広 川 町	83,300	0	0.0	1,037,460	16,660	1.6	1,120,760	16,660	1.5
有 田 川 町	187,700	187,700	100.0	1,962,850	120,970	6.2	2,150,550	308,670	14.4
美 浜 町	75,050	75,050	100.0	1,976,970	108,290	5.5	2,052,020	183,340	8.9
日 高 町	12,640	12,640	100.0	1,507,860	63,650	4.2	1,520,500	76,290	5.0
由 良 町	0	0	－	390,000	24,990	6.4	390,000	24,990	6.4
印 南 町	0	0	－	462,710	79,390	17.2	462,710	79,390	17.2
み な べ 町	120,940	70,960	58.7	2,016,620	266,390	13.2	2,137,560	337,350	15.8
日 高 川 町	124,830	57,990	46.5	700,040	116,700	16.7	824,870	174,690	21.2
白 浜 町	218,980	193,060	88.2	5,795,420	652,190	11.3	6,014,400	845,250	14.1
上 富 田 町	170,960	104,320	61.0	3,204,040	217,680	6.8	3,375,000	322,000	9.5
す さ み 町	49,980	0	0.0	629,310	20,960	3.3	679,290	20,960	3.1
那智勝浦町	248,340	83,370	33.6	2,859,420	122,520	4.3	3,107,760	205,890	6.6
太 地 町	0	0	－	283,360	0	0.0	283,360	0	0.0
古 座 川 町	8,410	8,410	100.0	450,220	37,560	8.3	458,630	45,970	10.0
北 山 村	0	0	－	0	0	－	0	0	0.0
串 本 町	350,100	225,150	64.3	8,027,800	557,640	6.9	8,377,900	782,790	9.3
県 計	22,454,730	14,669,340	65.3	326,471,412	28,006,890	8.6	348,926,142	42,676,230	12.2

表 10 令和7年度 総合支援資金（通常貸付）償還状況表

	償還期限内当年度（A）			償還期限内過年度及び期限後（B）			合 計 （A）＋（B）		
	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)
和歌山市	870,260	432,440	49.7	9,313,947	343,112	3.7	10,184,207	775,552	7.6
海 南 市	206,040	73,970	35.9	1,052,488	17,230	1.6	1,258,528	91,200	7.2
橋 本 市	578,190	305,220	52.8	3,486,048	226,084	6.5	4,064,238	531,304	13.1
有 田 市	26,820	15,480	57.7	400,000	0	0.0	426,820	15,480	3.6
御 坊 市	99,480	10,640	10.7	205,430	45,360	22.1	304,910	56,000	18.4
田 辺 市	1,572,100	865,640	55.1	2,503,520	109,430	4.4	4,075,620	975,070	23.9
新 宮 市	0	0	－	0	0	－	0	0	0.0
紀 の 川 市	21,265	21,265	100.0	580,945	19,545	3.4	602,210	40,810	6.8
岩 出 市	849,610	496,430	58.4	2,319,887	119,112	5.1	3,169,497	615,542	19.4
紀 美 野 町	0	0	－	0	0	－	0	0	0.0
かつらぎ町	0	0	－	815,600	10,080	1.2	815,600	10,080	1.2
九 度 山 町	28,200	28,200	100.0	0	0	－	28,200	28,200	100.0
高 野 町	190,000	190,000	100.0	0	0	－	190,000	190,000	100.0
湯 浅 町	0	0	－	0	0	－	0	0	0.0
広 川 町	0	0	－	436,050	13,430	3.1	436,050	13,430	3.1
有 田 川 町	96,000	0	0.0	422,014	60,000	14.2	518,014	60,000	11.6
美 浜 町	0	0	－	0	0	－	0	0	0.0
日 高 町	39,960	0	0.0	309,690	0	0.0	349,650	0	0.0
由 良 町	0	0	－	0	0	－	0	0	0.0
印 南 町	36,600	36,600	100.0	217,100	16,080	7.4	253,700	52,680	20.8
み な べ 町	38,400	38,400	100.0	0	0	－	38,400	38,400	100.0
日 高 川 町	65,190	62,440	95.8	0	0	－	65,190	62,440	95.8
白 浜 町	152,040	104,080	68.5	5,750	5,750	100.0	157,790	109,830	69.6
上 富 田 町	0	0	－	39,800	18,920	47.5	39,800	18,920	47.5
す さ み 町	0	0	－	0	0	－	0	0	0.0
那智勝浦町	0	0	－	0	0	－	0	0	0.0
太 地 町	0	0	－	0	0	－	0	0	0.0
古 座 川 町	0	0	－	0	0	－	0	0	0.0
北 山 村	0	0	－	0	0	－	0	0	0.0
串 本 町	12,040	12,040	100.0	0	0	－	12,040	12,040	100.0
償 還 免 除 債 権	134,000	3,330	2.5	3,145,978	0	0.0	3,279,978	3,330	0.1
県 計	5,016,195	2,696,175	53.7	25,254,247	1,004,133	4.0	30,270,442	3,700,308	12.2

表 1 1 令和 7 年度 総合支援資金（コロナ特例貸付）償還状況表

	償還期限内当年度（A）			償還期限内過年度及び期限後（B）			合 計（A）＋（B）		
	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)
和歌山市	237,226,205	106,898,044	45.1	142,966,930	15,444,509	10.8	380,193,135	122,342,553	32.2
海 南 市	4,009,870	2,403,690	59.9	1,924,750	293,500	15.2	5,934,620	2,697,190	45.4
橋 本 市	27,877,890	14,813,663	53.1	14,702,105	1,941,660	13.2	42,579,995	16,755,323	39.4
有 田 市	9,192,380	5,127,410	55.8	4,467,550	321,350	7.2	13,659,930	5,448,760	39.9
御 坊 市	10,070,010	4,784,590	47.5	5,884,210	663,500	11.3	15,954,220	5,448,090	34.1
田 辺 市	44,895,850	22,407,647	49.9	23,292,250	3,487,750	15.0	68,188,100	25,895,397	38.0
新 宮 市	8,566,590	4,786,930	55.9	3,986,110	445,860	11.2	12,552,700	5,232,790	41.7
紀 の 川 市	20,760,610	11,028,930	53.1	10,761,402	1,425,000	13.2	31,522,012	12,453,930	39.5
岩 出 市	25,988,730	13,187,810	50.7	13,064,040	1,442,860	11.0	39,052,770	14,630,670	37.5
紀 美 野 町	1,024,960	726,250	70.9	89,980	79,980	88.9	1,114,940	806,230	72.3
かつらぎ町	3,079,720	1,797,720	58.4	1,363,500	182,088	13.4	4,443,220	1,979,808	44.6
九 度 山 町	681,000	285,410	41.9	475,250	28,500	6.0	1,156,250	313,910	27.1
高 野 町	880,000	563,500	64.0	341,000	33,250	9.8	1,221,000	596,750	48.9
湯 浅 町	1,013,750	401,250	39.6	927,500	38,750	4.2	1,941,250	440,000	22.7
広 川 町	968,750	232,500	24.0	910,000	12,500	1.4	1,878,750	245,000	13.0
有 田 川 町	2,798,750	1,164,520	41.6	2,156,250	168,750	7.8	4,955,000	1,333,270	26.9
美 浜 町	1,903,750	913,750	48.0	1,257,500	75,000	6.0	3,161,250	988,750	31.3
日 高 町	1,641,364	588,864	35.9	1,166,836	161,836	13.9	2,808,200	750,700	26.7
由 良 町	1,495,000	821,250	54.9	771,250	108,000	14.0	2,266,250	929,250	41.0
印 南 町	1,584,200	619,400	39.1	752,300	149,800	19.9	2,336,500	769,200	32.9
み な べ 町	1,781,250	1,236,000	69.4	848,750	146,250	17.2	2,630,000	1,382,250	52.6
日 高 川 町	1,346,250	494,500	36.7	863,750	85,000	9.8	2,210,000	579,500	26.2
白 浜 町	10,606,310	4,969,810	46.9	5,847,460	1,154,850	19.7	16,453,770	6,124,660	37.2
上 富 田 町	8,282,340	5,509,920	66.5	2,895,820	316,250	10.9	11,178,160	5,826,170	52.1
す さ み 町	831,000	384,750	46.3	466,250	40,000	8.6	1,297,250	424,750	32.7
那智勝浦町	3,788,860	1,712,070	45.2	2,111,430	209,250	9.9	5,900,290	1,921,320	32.6
太 地 町	525,000	90,000	17.1	446,250	0	0.0	971,250	90,000	9.3
古 座 川 町	60,000	25,000	41.7	30,000	30,000	100.0	90,000	55,000	61.1
北 山 村	0	0	-	0	0	-	0	0	0.0
串 本 町	9,598,060	4,322,810	45.0	6,559,000	608,000	9.3	16,157,060	4,930,810	30.5
県 計	442,478,449	212,297,988	48.0	251,329,423	29,094,043	11.6	693,807,872	241,392,031	34.8

表 1 2 令和 7 年度 不動産担保型生活資金償還状況表

	償還期限内当年度 (A)			償還期限内過年度及び期限後 (B)			合 計 (A) + (B)		
	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)
和歌山市	0	0	-	14,922,136	7,730,878	51.8	14,922,136	7,730,878	51.8
県 計	0	0	-	14,922,136	7,730,878	51.8	14,922,136	7,730,878	51.8

表 1 3 令和 7 年度 不動産担保型生活資金（要保護世帯向け）償還状況表

	償還期限内当年度 (A)			償還期限内過年度及び期限後 (B)			合 計 (A) + (B)		
	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)
和歌山市	0	0	-	5,171,250	5,171,250	100.0	5,171,250	5,171,250	100.0
御坊市	0	0	-	4,806,400	0	0.0	4,806,400	0	0.0
有田市	0	0	-	5,000,000	0	0.0	5,000,000	0	0.0
有田川町	0	0	-	6,355,440	0	0.0	6,355,440	0	0.0
県 計	0	0	-	21,333,090	5,171,250	24.2	21,333,090	5,171,250	24.2

表 1 4 令和 7 年度 臨時特例つなぎ資金貸付決定件数・金額

つなぎ先 計	生 活 保 護		住 居 確 保 給 付 金		そ の 他		計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
県 計	0	0	0	0	0	0	0	0

表 1 5 令和 7 年度 臨時特例つなぎ資金償還状況表

	償還期限内当年度 (A)			償還期限内過年度及び期限後 (B)			合 計 (A) + (B)		
	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)	償還計画(円)	償還実績(円)	償還率(%)
県 計	0	0	-	2,644,840	63,000	2.4	2,644,840	63,000	2.4

表 1 6 令和7年度生活福祉資金貸付中件数・金額（市町村別）

(金額単位:円)
令和8年3月31日現在

資金名 市町村	総合支援資金						福祉資金				教育支援資金				離職者支援資金	不動産担保型生活資金				合計		
	生活支援費		住宅入居費		一時生活再建費		福祉費		緊急小口資金		教育支援費		就学支度費			不動産担保型生活資金		要保護世帯向け不動産担保型生活資金				
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額		件数	金額	件数	金額	件数	金額	
和歌山市	4,871	2,191,027,288	12	1,584,176	19	2,749,574	90	37,192,125	1,255	180,580,483	98	156,461,080	89	31,966,581	10	9,900,067	2	18,291,258	6	26,820,767	6,452	2,656,573,399
海 南 市	87	32,815,610	0	0	4	797,530	18	4,302,951	32	4,358,000	28	40,333,606	22	6,091,883	1	816,450	0	0	2	4,918,054	194	94,434,084
橋 本 市	604	257,238,216	0	0	3	490,420	25	6,704,964	135	18,102,470	28	31,831,704	32	8,229,834	3	873,100	0	0	0	0	830	323,470,708
有 田 市	170	75,425,680	0	0	1	121,718	0	0	47	7,063,190	2	2,892,600	2	1,000,000	0	0	0	0	2	9,800,000	224	96,303,188
御 坊 市	209	91,890,600	0	0	3	143,910	3	2,541,210	51	8,007,240	11	11,327,370	8	2,154,260	1	1,949,050	0	0	1	4,806,400	287	122,820,040
田 辺 市	1,022	455,289,623	3	285,270	6	1,527,452	25	3,874,965	257	32,094,530	34	45,786,650	20	6,798,930	2	1,836,130	0	0	1	2,880,000	1,370	550,373,550
新 宮 市	161	61,609,620	0	0	0	0	7	2,677,980	29	3,506,400	14	18,310,160	8	2,786,562	0	0	0	0	0	0	219	88,890,722
紀の川市	383	174,727,502	0	0	1	129,250	8	3,326,302	82	10,735,668	2	1,861,070	3	802,070	0	0	0	0	1	3,667,681	480	195,249,543
岩 出 市	563	254,203,185	0	0	8	1,489,684	10	3,864,107	158	20,925,710	20	23,253,510	19	6,577,420	0	0	0	0	1	2,868,880	779	313,182,496
紀美野町	19	8,327,590	0	0	0	0	2	3,891,970	0	0	1	1,243,750	0	0	0	0	0	0	0	0	22	13,463,310
かつらぎ町	61	26,583,842	0	0	2	215,000	0	0	13	1,691,870	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	76	28,490,712
九度山町	18	6,185,140	0	0	0	0	0	0	5	641,900	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23	6,827,040
高 野 町	21	7,170,500	0	0	0	0	0	0	4	350,010	2	1,053,909	1	487,520	0	0	0	0	0	0	28	9,061,939
湯 浅 町	20	9,483,750	0	0	0	0	2	22,000	16	2,341,790	9	9,830,400	6	2,412,430	0	0	0	0	0	0	53	24,090,370
広 川 町	20	9,860,100	1	78,300	1	104,220	1	59,450	7	1,270,860	2	3,612,480	1	50,000	0	0	0	0	0	0	33	15,035,410
有田川町	59	26,859,560	0	0	1	53,434	1	160,460	17	1,877,580	0	0	0	0	0	0	0	0	1	6,355,440	79	35,306,474
美 浜 町	41	17,580,000	0	0	0	0	3	251,620	12	1,868,680	2	4,092,000	4	1,197,760	0	0	0	0	0	0	62	24,990,060
日 高 町	39	15,834,056	0	0	0	0	1	154,230	12	1,536,160	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	52	17,524,446
由 良 町	25	11,817,000	0	0	0	0	1	11,300	2	365,010	1	567,000	0	0	0	0	0	0	0	0	29	12,760,310
印 南 町	35	13,827,550	0	0	1	76,020	2	2,024,585	6	482,320	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	44	16,410,475
みなべ町	45	20,163,000	0	0	0	0	1	1,310,950	14	2,067,090	3	2,574,900	3	505,230	0	0	0	0	0	0	66	26,621,170
日高川町	30	13,003,410	0	0	0	0	1	100,300	7	733,700	3	889,000	2	667,923	0	0	0	0	0	0	43	15,394,333
白 浜 町	240	102,760,290	0	0	1	389,565	15	1,762,092	57	5,423,020	1	1,202,250	1	419,538	0	0	0	0	0	0	315	111,956,755
上富田町	127	54,340,940	1	20,880	0	0	1	809,040	27	3,189,450	1	778,000	0	0	0	0	0	0	0	0	157	59,138,310
すさみ町	18	7,278,750	0	0	0	0	2	3,311,950	5	683,400	2	1,365,000	1	300,000	0	0	0	0	0	0	28	12,939,100
那智勝浦町	82	33,520,930	0	0	0	0	3	1,706,470	26	3,076,550	1	3,055,000	2	890,238	0	0	0	0	0	0	114	42,249,188
太 地 町	10	4,995,000	0	0	0	0	1	3,442,860	2	283,360	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	8,721,220
古座川町	4	630,000	0	0	0	0	2	384,449	5	412,660	2	2,310,680	2	991,680	0	0	0	0	0	0	15	4,729,469
北 山 村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
串 本 町	185	82,092,440	0	0	0	0	8	4,679,630	55	7,811,930	11	17,219,700	9	3,166,752	0	0	0	0	0	0	268	114,970,452
県 計	9,169	4,066,541,172	17	1,968,626	51	8,287,777	233	88,567,960	2,338	321,481,031	278	381,851,819	235	77,496,611	17	15,374,797	2	18,291,258	15	62,117,222	12,355	5,041,978,273

通 常	188	41,080,960	17	1,968,626	51	8,287,777	233	88,567,960	24	1,138,499	278	381,851,819	235	77,496,611	17	15,374,797	2	18,291,258	15	62,117,222	1,060	696,175,529
特 例	8,981	4,025,460,212							2,314	320,342,532											11,295	4,345,802,744

※金額は元金。件数は貸付利子、延滞利子のみ残も含む。

表17 福祉人材確保及び自立支援のための返還免除付き貸付事業

令和8年3月31日現在

		資金種類	人材確保											自立支援											
			介護福祉士							保育士				ひとり親家庭			児童養護施設退所者								
			介護福祉士 修学資金	福祉系高校 修学資金	実務者研修 受講資金	再就職準備金	介護分野 就職支援金	障害福祉分野 就職支援金	社会福祉士 修学資金	修学資金	補助者雇上費	保育料一部	就職準備金	預かり支援事業 利用料一部	入学準備金	就職準備金	住宅支援資金	進学者	就職者	資格取得支援費					
貸付決定件数	平成28年度	12	—	147	0	—	—	0	69	1	2	2	—	12	3	—	2	0	1						
		159							74				15			3									
		251																							
	平成29年度	5	—	121	3	—	—	0	99	0	3	1	0	15	3	—	0	2	7						
		129							103				18			9									
		259																							
	平成30年度	26	—	115	2	—	—	4	88	2	15	3	0	20	0	—	3	1	7						
		147							108				20			11									
		286																							
	令和元年度	36	—	139	5	—	—	0	80	0	6	1	0	19	5	—	1	2	6						
		180							87				24			9									
		300																							
	令和2年度	25	—	116	12	—	—	1	64	0	3	1	0	13	4	—	0	1	5						
		154							68				17			6									
		245																							
	令和3年度	45	7	162	11	18	4	2	54	1	7	2	0	9	1	2	1	1	4						
		249							64				12			6									
		331																							
	令和4年度	54	3	122	13	12	4	2	52	1	15	8	0	7	1	2	6	0	6						
		210							76				10			12									
		308																							
	令和5年度	53	6	98	3	9	1	2	48	0	5	3	0	12	1	7	0	0	11						
		172							56				20			11									
		259																							
	令和6年度	72	0	103	0	8	2	1	70	1	13	3	0	6	0	7	8	1	12						
		186							87				13			21									
		307																							
	令和7年度	80	0	110	2	16	2	1	62	1	19	7	0	1	0	17	6	0	4						
		211							89				18			10									
		328																							
	計(A)	408	16	1233	51	63	13	13	686	7	88	31	0	114	18	35	27	8	63						
		1,797							812				167			98									
		2,874																							
B	辞退	2	0	17	1	1	0	0	8	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2						
	当然免除	29	5	598	42	29	6	1	119	5	54	20	0	12	3	6	3	5	18						
	償還完了	16	1	165	4	5	3	3	44	0	2	0	0	8	1	0	0	0	6						
	計	928							253				31			34									
		1,246																							
貸付中件数(A-B)		361	10	453	4	28	4	9	515	2	31	11	0	93	14	29	24	3	37						
		869							(626,699千円)				559			(673,546千円)			136 (45,746千円)			64 (47,882千円)			
(令和8年3月末貸付中金額)		1,628																		(1,393,873千円)					

《地域福祉部・ボランティア振興班・ボランティアセンター事業・災害ボランティアセンター事業関係》

1 広域におけるボランティア活動支援機能の強化

(1) ボランティア・市民活動団体の支援

① 情報集約・提供

ア ボランティア基礎情報

県内におけるボランティア活動者数（令和7年4月1日現在、照会先：市町村社会福祉協議会）

	社会福祉協議会に登録		社会福祉協議会が把握	
個人ボランティア	1,508 名		562 名	
ボランティアを目的としたグループ	562 団体	14,056 名	400 団体	11,640 名
合計	562 団体	15,564 名	400 団体	12,202 名
	962 団体		27,766 名	

イ ボランティア活動体験機会提供

夏のボランティア体験月間を提唱し、ボランティア活動情報や体験機会の提供に取り組んだ。

期 日	内 容 (受入先数・プログラム数)	参 加
7 月 1 日～ 8 月 31 日	県内社会福祉施設等でのボランティア活動体験 (135 ヲ所・155 プログラム)	1,627 名

ウ 広報啓発

県社協ホームページ及び県ボランティアセンター「情報紙」「掲示板」「YouTube」等にボランティア活動やグループ紹介、参加募集、助成案内など随時、情報を掲載・配信・更新した。

a ボランティア情報紙「そよかぜ」（発行部数 100 部／月）

発行号	内 容
第 343～ 354 号	体験、学習、交流活動等イベント開催案内・報告／参加者募集・ボランティア募集／助成事業／ボランティア保険／全国情報・県内情報／ボランティア団体・収集ボランティア紹介など

b 福祉わかやま（発行部数 10,000 部／年 11 回）

掲載月	ボランティア関連掲載記事
7 月	フクシメシ ～災害時にも美味しいごはんを～ 鯖カレー
	2025 夏のボランティア体験月間 体験者募集
8 月	2025 夏のボランティア体験 実施中！
10 月	ソーシャルフットボール関西大会 2025
1 月	防災とボランティア ～みんな、つながっていこうよ～

c アンケート実施、その他、啓発冊子・ポスター等の配付

期日・発行日	内 容
6 月	県内ボランティア活動者数調査（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

d 活動の見える化（ホームページ・SNS への掲載）

掲載月	内 容
4 月	県社協 SNS（Instagram、Facebook）への掲載 「2025 春夏 第3回防災ボランティア・デイキャンプ 参加者募集」
5 月	県社協 SNS（Instagram、Facebook）への掲載 「和歌山市小倉に新ストックヤード完成★県内 20 ヲ所目」 「卓球バレー体験を行いました」 「第3回防災ボランティア・デイキャンプ in 向平キャンプ村@白浜町」
6 月	県社協 SNS（Instagram、Facebook）への掲載 「第1回ボランティア活動情報交流会 防災クッキングをしよう！」
7 月	県社協 SNS（Instagram、Facebook）への掲載

	「第4回防災ボランティア・デイキャンプ 参加者募集 (8/1 開催)」 「2025 夏のボランティア体験 参加者募集」
8 月	県社協 SNS (Instagram、Facebook) への掲載 「夏のボランティア体験★ (点字を体験してみませんか) 点字探検隊!!」 「第4回防災ボランティア・デイキャンプ in 紀美野町のかみふれあい公園」 「夏ボラ体験&第2回ボランティア活動情報交流会～災害時に発生するごみはどうしたらいいの?～を開催しました」
9 月	県社協 SNS (Instagram、Facebook) への掲載 「ボランティア研修～人と防災未来センター～見学を実施!!」
10 月	県社協 SNS (Instagram、Facebook) への掲載 「第5回防災ボランティア・デイキャンプ in はしもと (神野々緑地キャンプ場) を開催しました」
11 月	県社協 SNS (Instagram、Facebook、YouTube) への掲載 「令和7年度和歌山県ボランティアフォーラム+和歌山防災ボランティア集会のご案内」
12 月	県社協 SNS (Instagram、Facebook) への掲載 「令和7年度和歌山県ボランティアフォーラム+和歌山防災ボランティア集会を開催しました」
2 月	県社協 SNS (Instagram、Facebook、YouTube) への掲載 「2月3日に防災・減災セミナーを開催しました」
3 月	県社協 SNS (Instagram、Facebook、YouTube) への掲載 「有功、川永地域 地域包括ネットワーク研修会」

② 助成 (ボランティア活動交流普及事業) の実施

社会福祉のためにと寄せられた善意の金員や関心を実際の活動へとつなげることを目的とし、市町村社会福祉協議会が企画・実施した活動に対して助成を行った。(7 事業)

ア 活動の企画、実施

団体名	活動名	活動内容
和歌山市 社会福祉協議会	夏のボランティア体験学習	ボランティア主体で地域のこども向け夏まつりを開催。事前準備から運営まで担い、ゲームや工作体験を実施。親子の交流を促進し、主体的に行動する姿も見られ、活気ある場となった。
海南市 社会福祉協議会	多世代交流活動～地域でつながる大切なこと～	下津地域の多世代交流を目的に、準備段階から地域へ働きかけて協力者を確保。盆踊りや夏まつりを実施し、児童も参加して交流を促進。こども食堂も同時開催し、多世代がつながる場となった。
	「大切なおもちゃと共に育つ」故障したおもちゃを修理する『かいなんおもちゃ病院』をもっと身近に	下津保健福祉センターでの活動に加え、海南ノビノスで月1回の出張開催を開始。イベントで周知やワークショップを実施し多世代交流を促進。備品整備を行い、継続的な活動体制を整えた。
	地域農園の運営支援～土や野菜を通じたつながりづくり～	農園開設に向けて整備を進め、6月に約25人で苗植えを実施。周知や運営体制も整えた。11月の収穫祭には約50人が参加し、収穫物をこども食堂へ寄付、交流と支えあいを促進した。

海南市 社会福祉協議会	こども（地域）食堂やサロン、地域カフェなど居場所を運営する“ボランティア”を支える“ボランティア”活動	こども食堂向け工作 BOOK 作成にあたり活動を聞き取り、食事以外の交流の重要性を共有。冊子を配布し多世代交流の促進を図るとともに、サロンや協議体等にも配布し周知・活用を広げた。
有田市 社会福祉協議会	防災×ボランティアフェスティバル 2025	有田市社協とボランティア連絡協議会が防災をテーマにフェスを共催。事前会議で内容を検討し、当日は学生が運営を担った。体験企画や物販も行われ、多様な主体が協力して実施された。
	多様な立場の「避難行動」に関する支え合い創出モデルプロジェクト	要支援者と住民が共に避難を考え相互理解を促進。高校生の対話で気づきを得て、専門職は行動基準を整理。住民参加の話し合いを重ね、福祉避難所体制や地区防災計画づくりにつなげる。

イ 活動の状況確認・参画

期 日	場 所	内 容	参加
8月8日	海南市	下津ファミリー夏まつり（120名）	1名
8月9日	和歌山市	こども夏まつり（100名）	1名
8月23日	有田市	防災×ボランティアフェスティバル 2025（150名）	1名
8月30日	海南市	出張！おもちゃ病院（40名）	1名
9月15日	有田市	多様な立場で避難行動を考える「逃げ地図」ワークショップ（50名）	1名
9月28日	有田市	地域で避難を考える学習会（50名）	1名
11月1日	海南市	第2層協議体異ささえあいファーム 収穫祭（50名）	1名

③ 相談・案内・活動支援及び活動保険の促進等

ア 活動相談窓口、事故対策及び保険取扱い、学習・研修機材の貸出

a ボランティア活動・行事用保険

ボランティア活動保険及びボランティア行事用保険への加入手続き等を行い、ボランティア活動に関する相談・問合せに対応した。

保険種類	加入者・団体数
活動保険（基本プラン）	556名
活動保険（天災プラン）	130名
行事用保険	122件 17,377名（延べ人数）

b 関係機材等の貸出

高齢者や障がい者を取り巻く生活環境や必要とするコミュニケーションを理解するため、地域や学校、ボランティア団体、施設等における学習、研修等に機材を貸し出した。

貸出日	品名	個数	貸出先
4月1日～4月4日	高齢者疑似体験セット大人用	4	紀三井寺苑
5月7日～5月12日	高齢者疑似体験セット大人用	1	公益社団法人和歌山県看護協会
	高齢者疑似体験セット子ども用	2	
5月7日～5月13日	車いす	1	和歌山市立四箇郷小学校
5月29日～5月29日	車いす	8	福祉人材センター ハートワーク
5月30日～6月3日	高齢者疑似体験セット大人用	3	(株)ウインドー
6月5日～6月6日	車いす	8	和歌山市社会福祉協議会
6月9日～6月12日	車いす	5	紀美野町 保健福祉課

	高齢者疑似体験セット大人用	8	
7月2日～7月2日	高齢者疑似体験セット大人用	8	福祉人材センター ハートワーク
	高齢者疑似体験セット子ども用	4	
7月9日～7月14日	車いす	1	和歌山県調剤薬局
	高齢者疑似体験セット大人用	2	
7月31日～8月4日	高齢者疑似体験セット大人用	1	(株)あかりホーム介護事業部
	高齢者疑似体験セット子ども用	4	
8月22日～8月25日	高齢者疑似体験セット子ども用	4	和歌山県長寿社会課
8月26日～8月28日	車いす	1	和歌山県調剤薬局
	高齢者疑似体験セット大人用	3	
9月1日～9月3日	高齢者疑似体験セット大人用	8	伊都振興局 健康福祉部
9月4日～9月9日	高齢者疑似体験セット大人用	2	福祉人材センター ハートワーク
	高齢者疑似体験セット子ども用	1	
9月10日～9月12日	高齢者疑似体験セット大人用	8	(社)福 喜成会
10月3日～10月7日	車いす	8	紀美野町 保健福祉課
	高齢者疑似体験セット大人用	8	
10月8日～10月8日	車いす	8	福祉人材センター ハートワーク
	高齢者疑似体験セット大人用	8	
	高齢者疑似体験セット子ども用	4	
10月10日～10月10日	車いす	8	福祉人材センター ハートワーク
	高齢者疑似体験セット大人用	8	
	高齢者疑似体験セット子ども用	4	
10月14日～10月17日	高齢者疑似体験セット大人用	8	海南市立湊中学校
10月21日～10月23日	車いす	2	和歌山市第3在宅医療・介護連携推進センター
	高齢者疑似体験セット大人用	8	
10月22日～10月31日	高齢者疑似体験セット子ども用	4	高野町社会福祉協議会
10月24日～10月27日	高齢者疑似体験セット大人用	2	和歌山市社会福祉協議会
10月31日～11月5日	車いす	7	和歌山市立西和中学校
11月4日～11月5日	高齢者疑似体験セット大人用	8	和歌山市社会福祉協議会
	高齢者疑似体験セット子ども用	4	
11月7日～11月7日	高齢者疑似体験セット大人用	2	(株)あかりホーム介護事業部
11月11日～11月12日	高齢者疑似体験セット大人用	8	和歌山市社会福祉協議会
	高齢者疑似体験セット子ども用	4	
11月14日～11月17日	高齢者疑似体験セット大人用	4	和歌山県訪問介護事業所協議会
	高齢者疑似体験セット子ども用	4	
11月14日～11月20日	車いす	6	和歌山市立野崎西小学校
11月18日～11月18日	高齢者疑似体験セット大人用	8	和歌山市社会福祉協議会
	高齢者疑似体験セット子ども用	4	
11月27日～12月1日	高齢者疑似体験セット大人用	2	(株)あかりホーム介護事業部
	高齢者疑似体験セット子ども用	4	
12月2日～12月18日	高齢者疑似体験セット子ども用	4	由良町社会福祉協議会
12月15日～12月18日	高齢者疑似体験セット大人用	4	おおぞら高等学院和歌山キャンパス
1月5日～1月15日	車いす	5	IBW 理美容専門学校
	高齢者疑似体験セット大人用	5	

1月15日～1月21日	高齢者疑似体験セット子ども用	4	和歌山市立貴志小学校
1月22日～1月22日	高齢者疑似体験セット大人用	8	和歌山市社会福祉協議会
	高齢者疑似体験セット子ども用	4	
2月3日～2月12日	車いす	2	和歌山市第3在宅医療・介護連携推進センター
	高齢者疑似体験セット大人用	8	
2月24日～2月26日	高齢者疑似体験セット大人用	4	和歌山市立城東中学校
2月24日～2月27日	高齢者疑似体験セット大人用	3	(株)ウインドー
3月4日～3月11日	高齢者疑似体験セット子ども用	4	和歌山市立貴志小学校
3月9日～3月10日	車いす	6	和歌山市立南見中学校
3月10日～3月12日	車いす	2	和歌山市第3在宅医療・介護連携推進センター
	高齢者疑似体験セット大人用	8	

c 物品の受託、調整等

任意預託（指定なし）		
受付日	預託者及び預託物品	払出先
4月1日～ 3月31日	収集ボランティア (使用済み切手・カード)	和歌山県切手同好会の協力を得て換金
換金日	換金額	受取社協
5月15日	6,000	本会（はまゆう基金）
	3,000	社会福祉法人白浜町社会福祉協議会
11月26日	15,000	本会（はまゆう基金）
1月14日	3,600	本会（はまゆう基金）
	5,400	社会福祉法人白浜町社会福祉協議会
範囲指定		
受付日	預託者及び預託物品	寄贈先
5月16日	株式会社オージス総研 リユースパソコン 20台	県内障がい者福祉施設（7施設）
7月31日	一般社団法人生命保険協会和歌山県協会 タオル 2,000本	県内児童福祉施設（20施設）
11月	株式会社ツルハホールディングス 車椅子 3台	県内特別養護老人ホーム（3施設）
10月31日	関西遊技機商業協同組合 車椅子 5台	県内特別養護老人ホーム（5施設）
11月14日	一般社団法人親切会関西支部 現金 各3万円	有田市ボランティア連絡協議会 初花クラブ だいとう茶の間

イ 県ボランティア連絡協議会及び県ボランティアサロン運営支援

a 県ボランティア連絡協議会

期 日	場 所	内 容	参 加
4月15日 4月24日	印南町社会福祉協議会 ビッグ愛201会議室	監事会 令和6年度事業報告及び決算報告について（監査）	2名
4月24日	ビッグ愛2階 201会議室	理事会 ・令和6年度事業報告及び決算報告について ・令和7年度事業計画(案)及び予算(案)について ・役員改選について	14名
4月24日	ビッグ愛2階 201会議室	総会 ・令和6年度事業報告及び決算報告について	40団体

		・令和7年度事業計画(案)及び予算(案)について ・役員改選について	
4月24日	ビッグ愛2階 201 会議室	交流会 ・ユニバーサルスポーツについて、卓球バレー体験 和歌山県ユニバーサルスポーツ卓球バレー実行委員会	14名
11月21日	ボランティアサロン	第2回理事会 ・副会長の選任について ・令和7年度 事業経過報告について ・ボランティア全国フォーラム参加助成について ・令和7年度和歌山県ボランティアフォーラム開催について	13名
3月6日	ボランティアサロン	第3回理事会 ・令和7年度事業経過報告及び収支決算見込みについて ・令和8年度事業計画(案)及び予算(案)について	15名

b 県ボランティアサロン

・ ボランティアフォーラム

期 日	場 所	内 容	参 加
10月8日	紀の国住宅東部コミュニティセンター (和歌山市)	令和7年度和歌山県ボランティアフォーラム ・基調講義「ボランティアはなぜ駆けつけるのか」 ・基調講義「災害に備えよう〜かわかえのない命を守るために〜」 ・グループワーク「私たちが備えていること、できること」	35名

・ ボランティア活動情報交流会

期 日	場 所	内 容	参 加
5月23日	マルコーホーム中央 コミュニティセンター (和歌山市)	防災クッキングをしよう！ ・ポリ袋レシピ「チキンライス」さつまいもを使ったデザートづくり ・意見、情報交換 ・ゲーム「防災ビンゴ（テーマ：非常食）」	6名
8月19日	紀の国住宅東部コミュニティセンター (和歌山市)	災害時に発生するゴミはどうしたらいいの？ ・導入講義「被災財とボランティア」 ・出前講座「災害時に発生するゴミはどうしたらいいの？」 ・きいちゃんカルタ（防災カルタ）、片づけごみの冒険（災害ごみすごろく）をグループに分かれて体験	20名
2月3日	紀の国住宅河南コミュニティセンター (和歌山市)	防災・減災セミナー ・身近なもので応急手当等、防災に関する防災・減災セミナー	24名
2月12日	ボランティアサロン	・近況報告&来年度に向けての意見交換 ・防災クイズ	2名

・ ボランティア研修

期 日	場 所	内 容	参 加
9月17日	人と防災未来センター (神戸市)	人と防災未来センター見学 ・西館「1.17シアター」、大震災ホール鑑賞、各自見学 ・東館「こころのシアター」鑑賞	35名

		・西館「語り部による講談（体験談）」 神戸南京町にて各自昼食兼自由散策	
--	--	--	--

- ・県ボランティアサロン利用状況

期 日		利 用
4月1日～3月31日	回 数	94回
	人 数	668名

(2) コーディネーション能力向上事業の実施

① ボランティアコーディネーター養成研修

期 日	場 所	内 容	参 加
11月6日	和歌山市	市町村社協ボランティア・市民活動センター担当者会議(17名)	1名

(3) 福祉教育推進事業の実施

① 全国福祉教育推進員研修受講促進

期 日	場 所	内 容	参 加
8月6日	有田市	全国福祉教育推進員研修(12名)	2名
7月14日	オンライン	全国福祉教育推進員研修 演習ファシリテーター研修(3名)	1名

② 市町村社協における福祉教育実践の情報共有及び福祉教育推進支援・実践報告

期 日	場 所	内 容	参 加
5月16日	オンライン	都道府県・指定都市社協 福祉教育担当者連絡会議(87名)	1名
6月10日	有田市 オンライン	市町村社協福祉教育推進員・担当者会議(15名)	2名
9月12日	有田市	全国福祉教育推進員研修 振り返り会(19名)	2名
9月22日	有田市	わかやま福祉教育推進プラットフォーム 第6回会議(10名)	1名
10月31日	海南市	わかやま福祉教育推進プラットフォーム 第7回会議(8名)	1名
2月12日	有田市 オンライン	わかやま福祉教育推進プラットフォーム 第8回会議(14名)	1名

(4) その他、ボランティア関連事業への参加、協力、啓発（講義・評価・助言等）による支援の実施

期 日	場 所	内 容	参 加
5月15～16日	東京都	都道府県・指定都市社協 部・課・所長会議	4名
6月12日	和歌山市	和歌山信愛大学「ボランティア実習」【講義】	1名
9月18日	大阪府	第16回Daigasグループ『はじまるくんパソコン寄贈プログラム』贈呈式	1名
12月22日	オンライン	市区町村ボランティア・市民活動センターの機能強化を考えるオンラインサロン(第4回)	1名
2月14日	橋本市	橋本市伏原文化センター人権講演会【登壇】	2名
2月19日	大阪府	近畿ブロック府県・指定都市社協地域福祉・ボランティア担当者会議	1名

2 大規模災害における県災害VCの機能・体制を強化

(1) 市町村災害ボランティアセンター支援事業

① 広域・同時多発災害対応訓練の実施

期 日	場 所	内 容（開催地社協との個別協議を除く）	参 加
5月13日	有田市	全体打ち合わせ会議(第1回・32名)	5名
6月16日	日高川町	開催地との打ち合わせ会議(第1回・15名)	3名

7月8日	日高町	全体打ち合わせ会議（第2回・27名）	3名
8月18日	みなべ町	開催地との打ち合わせ会議（第2回・13名）	2名
9月19日	有田市	全体打ち合わせ会議（第3回・29名）	2名
12月19日	みなべ町	スタッフ役事前研修（みなべ会場・15名）	2名
12月22日	日高川町	スタッフ役事前研修（日高川会場・23名）	2名
1月14日	有田市	スタッフ役事前研修（有田会場・23名）	3名
1月23日	有田市 日高川町 みなべ町	広域・同時多発災害対応訓練 災害ボランティアセンター開設協議訓練（約25名）	2名
1月24日	有田市 日高川町 みなべ町	広域・同時多発災害対応訓練 災害ボランティアセンター開設準備訓練（約50名）	6名
1月25日	有田市 日高川町 みなべ町	広域・同時多発災害対応訓練 災害ボランティアセンター設置運営シミュレーション（約220名）	28名
2月5日	日高町	広域・同時多発災害対応訓練 振り返り会（31名）	5名

② 災害ボランティアセンター中核スタッフ養成研修の実施

期 日	場 所	内 容（打ち合わせ会議を除く）	参 加
6月6日	オンライン	近畿ブロック災害支援研修 第1回担当者会議（19名）	5名
10月2日	オンライン	近畿ブロック災害支援研修 第2回担当者会議（18名）	2名
12月1日	オンライン	近畿ブロック災害支援研修 第3回担当者会議（17名）	3名
2月24～25日	和歌山市	近畿ブロック災害支援研修（75名）	8名
3月11日	オンライン	近畿ブロック災害支援研修 第4回担当者会議（17名）	2名

③ 災害ボランティア活動支援にかかる訓練及び研修、講義等の実施

期 日	場 所	内 容（打ち合わせ会議を除く）	参 加
4月15日	有田市	令和7年度有田地方社協職員連絡協議会 研修会（33名）	3名
6月26日	和歌山市	業務課題検討会「災害時の社協活動」第1回検討会（29名）	5名
7月11日	北山村	新宮東牟婁社協職員連絡協議会総会・研修会（15名）	2名
7月17日	串本町	令和7年度単位民児協会長・副会長会議（250名）	1名
7月25日	有田市	令和7年度有田地方社協職員連絡協議会 研修会（36名）	3名
8月25日	和歌山市	業務課題検討会「災害時の社協活動」第2回検討会（43名）	5名
8月26日	橋本市	橋本市社協災害対応研修（50名）	1名
9月27日	太地町	令和7年度新宮東牟婁社協職員連絡協議会総会・研修会 「令和7年度防災シンポジウム」（70名）	2名
10月14日	和歌山市	令和7年度市町村地域福祉主管課長・社会福祉協議会事務局長会議	18名
11月6日	和歌山市	業務課題検討会「災害時の社協活動」第3回検討会（35名）	4名
12月6日	有田市	有田市災害ボランティアセンター運営スタッフ養成研修（20名）	2名
12月9日	橋本市	第2回橋本市社協災害時対応研修（35名）	2名
12月13日	和歌山市	和歌山市社協「災害ボランティアセンター設置運営訓練」（70名）	1名
12月13日	海南市	海南市社協「災害ボランティアセンター設置運営訓練」（50名）	1名
12月14日	上富田町	上富田町社協「災害ボランティアセンター設置運営訓練」（40名）	1名
12月18日	和歌山市	令和7年度市町村社協会長会議（60名）	1名

12月20日	串本町	串本町社協災害ボランティア研修会（30名）	1名
12月21日	田辺市	田辺・西牟婁社協連協「災害ボランティアセンター設置運営訓練」（66名）	2名
1月8日	有田市	災害ボランティアセンター運営支援中核者の養成に向けた研修会（第1回紀中ブロック・9名）	1名
1月29日	上富田町	災害ボランティアセンター運営支援中核者の養成に向けた研修会（第1回紀南ブロック・7名）	1名
1月30日	紀の川市	災害ボランティアセンター運営支援中核者の養成に向けた研修会（第1回紀北ブロック・11名）	1名
2月1日	湯浅町	湯浅町社協「令和7年度福祉防災ボランティア研修会」（60名）	1名
2月1日	太地町	令和7年度太地町災害対応訓練（35名）	1名
2月21日	新宮市	令和7年度新宮市災害時対応研修会（50名）	1名
3月7日	紀の川市	令和7年度紀の川市災害ボランティアセンター支援者研修会（50名）	1名
3月10日	日高町	日高町社協「災害ボランティアセンター運営体験研修会」（30名）	1名
3月13日	オンライン	災害ボランティアセンター運営支援中核者の養成に向けた研修会意見交換会（14名）	2名
3月26日	広川町	広川町社協「災害ボランティアセンター研修会」（25名）	1名

④ 災害ボランティアセンター運営にかかる ICT 化の推進として、研修会の実施及び訓練等への参画

期 日	場 所	内 容（打ち合せ会議を除く）	参 加
4月25日	和歌山市	災害ボランティアセンター運営支援システム説明会（42名）	3名
5月15日	由良町	由良町・日高町社協キントーン個別勉強会（11名）	1名
7月7日	和歌山市	和歌山市社協キントーン個別勉強協会（5名）	2名
7月10日	日高川町	日高川町社協キントーン個別勉強協会（8名）	1名
7月14日	海南市	海南市社協キントーン個別勉強会（18名）	3名
7月16日	古座川町	古座川町・串本町社協キントーン個別勉強会（8名）	2名
7月23日	かつらぎ町	橋本伊都郡社協キントーン個別勉強会（11名）	1名
8月4日	日高町	日高町社協キントーン個別勉強会（9名）	1名
8月22日	太地町	新宮市・太地町キントーン個別勉強会（4名）	1名
8月27日	有田川町	有田川町社協キントーン個別勉強会（11名）	1名
8月29日	北山村	北山村社協キントーン個別勉強会（5名）	1名
9月2日	有田市	有田市社協キントーン平常業務活用支援（6名）	1名
9月3日	紀の川市	紀の川市社協キントーン個別勉強会（12名）	1名
9月22日	みなべ町	印南町・みなべ町社協キントーン個別勉強会（10名）	1名
10月15日	岩出市	岩出市社協キントーン個別勉強会（2名）	1名
10月24日	田辺市	田辺市社協キントーン個別勉強会（11名）	3名
10月29日	上富田町	上富田町社協キントーン個別勉強会（5名）	1名
11月13日	和歌山市	和歌山市社協キントーン個別勉強会（3名）	1名
12月5日	橋本市	橋本市社協キントーン個別勉強会（8名）	1名
2月10日	和歌山市	和歌山市社協キントーン個別勉強会（3名）	1名

(2) 県災害ボランティアセンター運営・啓発事業

① 災害中間支援組織の設立に向け、県災害ボランティアセンター協力団体と協議

期 日	場 所	内 容	参 加
8月14日	和歌山市	防災企画課・県民生活課・わかやま NPO センター 第1回災害中間支援組織設置に向けた検討会（9名）	3名
9月6日	新潟県	防災企画課・県民生活課・わかやま NPO センター ぼうさいこくたい2025 in 新潟（19,000名）	2名
9月30日	和歌山市	防災企画課・県民生活課・わかやま NPO センター 第2回災害中間支援組織設置に向けた検討会（8名）	2名
10月15日	オンライン	防災企画課・県民生活課・わかやま NPO センター 官民連携による被災者支援体制整備モデル事業 定例会（50名）	2名
10月29日	和歌山市	防災企画課・県民生活課・わかやま NPO センター 第3回災害中間支援組織設置に向けた検討会（12名）	2名
11月11日	東京都	防災企画課・県民生活課・わかやま NPO センター 災害時の連携を考える全国フォーラム（400名）	3名
11月12日	東京都	防災企画課・県民生活課・わかやま NPO センター 官民連携による被災者支援体制整備モデル事業中間報告会（85名）	2名
12月3日	和歌山市	防災企画課・県民生活課・わかやま NPO センター 第4回災害中間支援組織設置に向けた検討会（8名）	2名
2月11日	和歌山市	防災企画課・県民生活課・わかやま NPO センター 官民連携による被災者支援体制整備モデル事業 勉強会（70名）	5名
3月12日	和歌山市	防災企画課・県民生活課・わかやま NPO センター 官民連携による被災者支援体制整備モデル事業 コア会議（8名）	3名

② スtockヤード（災害ボランティア活動支援資機材保管倉庫：「SY」と表記。）の配備・整備の実施 （参考）SY 設置先（設置数：20 か所/うち1 か所を新設）

和歌山市内6 か所（加太・中松江・小倉【新設】・和歌山大学・わかやま市民生協・安原小学校）
 県内社協13 か所（海南市・紀の川市・橋本市・田辺市（田辺・本宮）・新宮市・湯浅町・印南町
 ・日高川町・みなべ町・白浜町・上富田町・すさみ町・串本町）

期 日	場 所	場 所	参 加
4月22日	和歌山市	新規 SY 設置・搬入作業（小倉 SY・13名）	4名
5月14日	新宮市	SY 保管資機材情報システム管理化作業（新宮 SY・5名）	2名
5月27日	海南市 橋本市 上富田町	SY 保管資機材情報システム管理化・資機材搬入作業 （海南 SY、橋本 SY、上富田 SY・10名）	5名
5月28日	すさみ町 串本町	SY 保管資機材情報システム管理化・資機材搬入作業 （すさみ SY、串本 SY・5名）	4名
6月17日	和歌山市	SY 保管資機材情報システム管理化作業（和太 SY・5名）	2名
6月19日	紀の川市	SY 保管資機材情報システム管理化作業（紀の川 SY・7名）	4名
10月7日	橋本市	SY 保管資機材情報システム管理化作業（橋本 SY・4名）	2名
10月24日	田辺市	SY 保管資機材情報システム管理化作業（田辺 SY・5名）	3名
11月27日	湯浅町	SY 保管資機材情報システム管理化作業（湯浅 SY・6名）	3名
3月4日	和歌山市	SY 保管資機材情報システム管理化作業（生協 SY・4名）	2名
3月10日	日高川町	SY 保管資機材情報システム管理化作業（日高川 SY・2名）	1名

3月19日	白浜町	SY 保管資機材情報システム管理化作業（日置川 SY・4名）	3名
3月25日	和歌山市	新規購入資機材搬入・搬出作業（加太 SY・2名）	2名

③ 災害ボランティア登録及び連携促進

期 日	場 所	内 容	参 加
4月1日～ 3月31日	—	和歌山県災害ボランティア登録者（累計 672 名）	19 名
5月9日	白浜町	第3回 防災ボランティア・デイキャンプ（18名）	5 名
8月1日	紀美野町	第4回 防災ボランティア・デイキャンプ（24名）	6 名
10月10日	橋本市	第5回 防災ボランティア・デイキャンプ（26名）	6 名
12月8日	和歌山市	和歌山防災ボランティア集会（35名）	4 名
3月20日	—	平成24年～令和5年度登録情報整理・更新作業（618名対象）	—

④ 情報発信、広報・啓発物の作成、活動の見える化

期 日	内 容
1月	県社協 SNS（インスタグラム、フェイスブック）への掲載 「広域・同時多発災害対応訓練」 「訓練 災害ボランティアセンター開設」 「令和7年度広域・同時多発災害対応訓練」 「令和7年度広域・同時多発災害対応訓練 災害ボランティアセンター開設」 「令和7年度広域・同時多発災害対応訓練 おつかれさまでした！」

⑤ その他（被災地支援活動 及び 災害時支援に関する会議・研修等への出席）

ア 災害時支援に関する会議・研修等への出席

期 日	場 所	内 容（打ち合わせ会議を除く）	参 加
5月19日	オンライン	第1回災害支援学生チームオンライン研修	1 名
6月9日	東京都	令和7年度災害福祉支援全国会議	2 名
6月28日	有田川町	日本青年会議所和歌山ブロック協議会「防災フォーラム」【講演】	2 名
7月25日	和歌山市	和歌山県事前避難体制構築に向けた調査検討会	1 名
7月26日	有田市	令和7年度シニア災害ボランティアシンポジウム	3 名
7月28日	オンライン	第3回災害支援学生チームオンライン研修	1 名
8月18日	オンライン	第4回災害支援学生チームオンライン研修	1 名
8月29日	和歌山市	和歌山県訪問介護事業所協議会研修【講師】	1 名
9月13日	有田市	防災を有田のみんなで考える会議	1 名
10月10日	オンライン	2025年夏 災害 IT 支援最前線セミナー	1 名
10月20日	オンライン	第6回災害支援学生チームオンライン研修	1 名
11月14日	東京都	令和7年度災害福祉支援センター情報共有会議	2 名
11月15日	奈良県	令和7年度大和高田市社協災害ボランティアセンター運営訓練	1 名
11月18日	兵庫県	近畿ブロック社協・地域福祉・ボランティア担当部・課・所長会議	2 名
11月22日～23日	海南市	第22回全国社協職員のつどい災害支援分科会【コーディネーター】	1 名
11月28日	和歌山市	災害廃棄物処理に係る仮置き場設置運営訓練	2 名
11月29日	みなべ町	紀州梅の郷救助隊結成 30 年式典【パネリスト】	1 名
12月1日～2日	東京都	災害ボランティアセンターマネジメント研修会	1 名
12月4日	和歌山市	第35回生協大会基調講演「自然災害と防災・減災」	1 名

12月12日	和歌山市	和歌山大学「自然災害と防災・減災」【講師】	1名
12月25日	印南町	災害廃棄物処理に係る仮置き場設置運営訓練	1名
1月14日	和歌山市	シニアリーダーカレッジ【講師】	1名
1月15日	和歌山市	第1回災害ケースマネジメント研修会 in 和歌山	1名
1月18日	オンライン	静岡県松崎町・西伊豆町合同災害対応研修会	2名
2月6日	オンライン	都道府県・指定都市社協災害ボランティアセンター担当者会議	1名
2月17日	和歌山市	和歌山県事前避難体制構築に向けた調査検討会	1名
2月13日	和歌山市	第2回災害ケースマネジメント研修会 in 和歌山	1名
2月19日	和歌山市	和歌山市地域包括支援センター防災研修【講師】	3名
2月27日	和歌山市	株式会社ドコモ CS 関西・和歌山支社との災害対策意見交換	2名
3月6日	オンライン	第5回半島地域つながるミーティング	1名
3月27日	オンライン	第3回全国災害ブロック幹事県・市社協会議	1名

イ 「令和6年能登半島地震」の復興・被災地を訪問

期 日	場 所	内 容	参加
6月24日～25日	石川県	復興・被災地訪問（能登町）	1名

ウ 全社協「社協の応援派遣スキームのあり方」検討会へ、検討会への出席や被災地へのトライアル派遣等、委員として参画を行なった。

期 日	場 所	内 容	参加
6月3日	オンライン	「社協の応援派遣スキームのあり方」検討会（第1回）	1名
6月30日	東京都	「社協の応援派遣スキームのあり方」検討会（第2回）	1名
7月14日	オンライン	「社協の応援派遣スキームのあり方」検討会（第3回）	1名
9月9日～15日	熊本県	「社協の応援派遣スキームのあり方」検討会（トライアル派遣）	1名
10月16日	オンライン	「社協の応援派遣スキームのあり方」検討会（第4回）	1名
12月26日	オンライン	「社協の応援派遣スキームのあり方」検討会（第5回）	1名
1月9日	東京都	「社協の応援派遣スキームのあり方」検討会（第6回）	1名

《地域福祉部・健康生きがい班・和歌山県いきいき長寿社会センター事業関係》

1 地域活動を行うシニアリーダー養成

(1) いきいきシニアリーダーカレッジの実施

長年にわたり培った豊富な知識や経験を活用し、地域の見守り活動や日常生活支援、居場所づくり、サロンづくりなど地域のニーズに応じた活動を行うシニアリーダーとして、必要な知識を習得していただき、地域における高齢者等の日常的な支え合い活動を行う人材を養成し、高齢者の社会参加活動を促進することを目的に実施した。

校 名	学科名	受講者数
①和歌山校	シニアの住みよいまちづくり実践学科	79 名
②田辺校		83 名
③橋本校		130 名
計		292 名

各校のカリキュラムは、次のとおり。

① 令和7年度 いきいきシニアリーダーカレッジ [和歌山校] カリキュラム

回	期 日	内 容	講師名
1	5 月 14 日	みんながいきいきと暮らす地域づくりのために	摂南大学現代社会学部 講師 上野山 裕士 氏
2	5 月 28 日	音楽の楽しみ ～いろいろなジャンルを超えて～	和歌山市交響楽団音楽監督 元名古屋学院大学教授 江田 司 氏
3	6 月 11 日	誰もが実感！ 多様な音楽効果でフレイル予防	日本音楽療法学会 認定音楽療法士 二階 喜美子 氏
4	6 月 25 日	こども食堂について	和歌山県こども食堂応援ネットワーク 会長 岡 哲司 氏
5	7 月 9 日	台風と大雨、地震と津波、防災気象情報の見方等について	和歌山地方気象台 山本 善弘 氏 大崎 智美 氏
6	7 月 23 日	ニュースポーツ(ボッチャ)に挑戦！	和歌山県スポーツ振興財団 高井 直美 氏
7	8 月 6 日	よりよいコミュニケーションのポイント ～アンガーマネジメント&アサーション～	(一社)日本アンガーマネジメント協会 アンガーマネジメントトレーニングプロフェッショナル 堀部 三智子 氏
8	8 月 27 日	和歌山の魅力発見 ～美術館に行こう～	和歌山県立近代美術館 教育普及課長 奥村 一郎 氏
9	9 月 10 日	認知症になっても安心して暮らせる社会を目指して	認知症の人と家族の会和歌山 世話人代表 梅本 靖子 氏
10	9 月 24 日	陸奥宗光伯	「陸奥宗光 外務大臣」の功績を教育に活かす実行委員会 副会長 臼井 康浩 氏
11	10 月 8 日	みんなで元気に ～仲間づくり・グループづくり～	社会福祉西脇のんびりカフェ 藤崎 后子 氏 サロンはるかぜ 原田りつ子 氏 サロンすなやま 田邊 優子 氏
12	10 月 29 日	交通事故防止・振り込め詐欺防止	和歌山県県民生活課 和歌山県警察本部

	11月12日	→熊の目撃情報のため、12月3日に変更	
13	11月26日	「脳トレ」×「運動」エクササイズ ～脳と体を同時に鍛えるライフキネティック～	ライフキネティックトレーナー 花澤 晃宏 氏
14	12月3日	令和7年度秋期特別展	和歌山県立紀伊風土記の丘 主査学芸員 田中 元浩 氏
15	12月10日	人生を楽しく生きるための地域づくり・仲間づくり	和歌山大学経済学部 学部長/教授 金川 めぐみ 氏
16	1月14日	災害時にも心と力を分かち合おう ～防災とボランティアの灯～	和歌山県災害ボランティアセンター 所長 南出 考 氏 和歌山県危機管理局防災企画課 (委託先:株式会社貴志)
17	1月28日	デジタル終活って何？ ～デジタル資産の整理・整頓～	消費生活アドバイザー・ICI ファシリテーター 坂下 直生 氏
18	2月18日	健康寿命は笑顔と感謝から ～レクで心ほぐし・体ほぐし～	レクリエーションコーディネーター 岩崎 哲 氏

② 令和7年度 いきいきシニアリーダーカレッジ [田辺校] カリキュラム

ア ささえあいコース

回	期 日	内 容	講師名
1	5月8日	こども食堂と地域づくり	西牟婁郡振興局地域づくり課 松場 靖生 氏 くるむ食堂運営委員会 花村あゆみ 氏
2	6月12日	ニュースポーツ「モルック」に挑戦！	田辺市やすらぎ対策課高齢福祉係 太田 功 氏 榎本 峻 氏
3	7月24日	(2コース同時開催) 橋蔵さんの落語を鑑賞しよう！	落語家 春風亭 橋蔵 氏
4	8月7日	楽しみながら学ぼう！ 災害避難ゲームにチャレンジ	和歌山県危機管理局防災企画課 (委託先:株式会社貴志)
5	9月11日	応急手当講習	田辺消防署のみなさん
6	10月17日	熊野釜炒り茶とお茶の魅力	Natsumi Chatsumi 倉谷 夏美 氏
7	11月13日	お薬の基礎知識	薬剤師 西前 多香哉 氏
8	12月11日	移動と生活を守る！フレイル予防と安全運転 サポート講座	和歌山県作業療法士会 作業療法士 鍵野 将平 氏 作業療法士 西峯 鉄八 氏 作業療法士 西本 真 氏 和歌山県理学療法士会 理学療法士 龍神 正導 氏 理学療法士 菊谷 隆晴 氏
9	1月15日	少しのコツでかんたん！ 似顔絵に挑戦	画材のいろは 竹中 麻依子 氏

イ 紀南の魅力発見コース

回	期 日	内 容	講師名
1	5月22日	串本から宇宙へ！ カイロスロケットを知ろう	南紀串本観光協会 ロケットガイド 坂本 直弥 氏
2	6月26日	『だれもがキラボシ』な世界を創るために	アドベンチャーワールド 新東 貴行 氏
3	7月24日	(2 コース同時開催) 橋蔵さんの落語を鑑賞しよう！	落語家 春風亭 橋蔵 氏
4	8月21日	楽しみながら学ぼう！ 災害避難ゲームにチャレンジ	和歌山県危機管理局防災企画課 (委託先:株式会社貴志)
5	9月25日	防災航空センターを見学しよう	和歌山県防災航空センター (白浜空港内)
6	10月30日	紀南の星空を活かした観光振興	STAR FOREST 角田 夏樹 氏
7	11月27日	ヒロメの養殖と里海づくり	ヒロメラボ 山西 秀明 氏
8	1月29日	紀州備長炭を知ろう	秋津川振興会 会長 北川 弘泰 氏
9	2月29日	樹木医の仕事とクマノザクラの魅力	一般社団法人 樹木医甚兵衛 矢倉 寛之 氏

③ 令和7年度 いきいきシニアリーダーカレッジ [橋本校] カリキュラム

ア ささえあいコース

回	期 日	内 容	講師名
1	5月13日	思い出してみませんか？ 日々の中で忘れていたものを	いのちの講演家 岩崎 順子 氏
2	6月10日	くすりとの上手なつきあい方	橋本保健所衛生環境課 医療技師 永峯 香央莉 氏
3	7月8日	誰もが実感！ 多様な音楽効果でフレイル予防	日本音楽療法学会 認定音楽療法士 二階 喜美子 氏
4	8月5日	アロマの香りで認知症予防	アロマホームドクター協会 代表理事 坂下 好美 氏
5	9月9日	わかやま健康大使 わかさん先生の健康笑顔Live	わかやま健康大使 わかさん先生 寺田 尊紀 氏
6	10月14日	誤嚥性肺炎予防 「ごっくんトレーニング」	嚥下トレーニング協会 理事 認定講師/言語聴覚士 小林 優子 氏
7	11月11日	台風と大雨、地震と津波、防災気象情報の見方 等について	和歌山地方気象台 山本 善弘 氏
8	12月9日	「デジタル終活」 実際の現場で起きやすいトラブルとその対策	消費生活アドバイザー・ICT ファシリ テーター 坂下 直生 氏
9	1月13日	認知症サポーター養成講座	橋本市いきいき健康課 保健師 植木氏、水本氏
10	2月10日	健康寿命は笑顔と感謝から ～レクで心ほぐし・体ほぐし～	レクリエーションコーディネーター 岩崎 哲 氏

イ 紀北の魅力発見コース

回	期 日	内 容	講師名
1	5月27日	高野山及び高野参詣の歴史	高野山大学 名誉教授 山陰 加春夫 氏

2	6月24日	日本遺産について	県文化遺産課 主査 金澤 舞 氏
3	7月22日	紀伊国府所在の謎	元橋本市郷土資料館長 元橋本市あさもよし歴史資料館長 大岡 康之 氏
4	8月26日	本能寺の変と紀州伊都郡	橋本市文化財保護審議会 委員 岩倉 哲夫 氏
5	9月30日	根来寺について	いわで語り部クラブ 家原 護 氏 伊藤 恵 氏 堀 幸了 氏
6	10月28日	紀伊風土記の丘について	和歌山県立紀伊風土記の丘 学芸課 田中 元浩 氏
7	11月25日	『織田信長・羽柴(豊臣)秀吉による紀州攻め、高野攻め』	橋本市文化財保護審議会 委員 吉田 亘 氏
8	12月23日	県立博物館の仕事	和歌山県立博物館 学芸員 島田 和 氏
9	1月27日	世界遺産と真田幸村の聖地をめぐる	九度山町まちなか語り部 松島 洋 氏
10	2月24日	紀三井寺～三つの井戸～	和歌山市語り部クラブ 会長 丸毛 光明 氏

(2) 高齢者サロン運営アドバイザー養成事業の実施(講座の開催)

高齢者が身近な場所で集まり、ふれあいを通じて仲間づくりを行い、認知症予防等の拠点ともなる地域サロン活動が重要となっているなか、地域のニーズに応じたサロン活動のアドバイス等を行う人材を養成することを目的に実施した。

開催場所	開催協力社協	受講者数
和歌山市あいあいセンター	和歌山市社会福祉協議会	23 名
美浜町地域福祉センター	美浜町社会福祉協議会	30 名

高齢者サロン運営アドバイザー養成講座のカリキュラムは、次のとおり。

① 和歌山市社会福祉協議会

	日 時	内 容	講師名
1	9 月 11 日	開講式 スマホ教室	ソフトバンク株式会社
2	9 月 25 日	薬の基礎知識	薬剤師 児玉 基樹 氏
3	10 月 9 日	地域におけるコミュニティづくり	トヨタ・コニック・プロ株式会社 このまち市場セクターリーダー 林 範人 氏 医療法人龍神整形外科理事長 龍神 正導 氏
4	10 月 23 日	居場所づくりからはじめる地域共生社会 修了式	摂南大学現代社会学部 講師 上野山 裕士 氏

② 美浜町社会福祉協議会

	日 時	内 容	講 師
1	1 月 30 日	開講式 誰もが実感！多様な音楽効果でフレイル予防	日本音楽療法学会認定音楽療法士 二階 喜美子 氏
2	2 月 13 日	座ってできるゲーム・体操	レクリエーションコーディネーター 尾根 敬子 氏
3	2 月 27 日	健康長寿は笑顔と感謝から～レクで心ほぐし・体ほぐし	レクリエーションコーディネーター 岩崎 哲 氏
4	3 月 6 日	「脳トレ」×「運動」エクササイズ ～脳と体を同時に鍛えるライフキネティック～ 修了式	ライフキネティックトレーナー 花澤 晃宏 氏

(3) 仲間づくり支援事業の実施

高齢者が家に閉じこもることなく外に出て、生きがいを持って活動することができる環境をつくるため、同じ趣味や興味を持つ高齢者が集まり、自由に活動が行えるよう、情報提供やサークル活動等を援助するとともに、コーディネートする仲間づくり支援相談員（1名）を配置した。

また、いきいきシニアリーダーカレッジ・高齢者サロン運営アドバイザー養成講座の修了後、単独で地域活動を継続して行うことが難しいという課題解決のため、修了者等がグループを結成して活動を行うときに、本会からアドバイザーの派遣や消耗品を支給する支援事業を実施した。

令和7年度、3グループ結成。（がんばれ百百ちゃんクラブおたすけ隊（美浜町）、とどろき木工（紀美野町）、柿の木坂フラワーガーデン（橋本市））

2 高齢者の生きがいづくり・健康増進

(1) 紀の国いきいき健康長寿祭の開催

高齢者に年間を通してスポーツに親しむ機会を持っていただき、健康づくり・仲間づくり・社会参加活動の促進を図り、いきいきと暮らせるまちづくりを進めるとともに、「第37回全国健康福祉祭ぎふ大会（ねりんピック岐阜 2025）」及び「第38回全国健康福祉祭埼玉大会（ねりんピック彩の国さいたま 2026）」出場選手の選考会を兼ねたスポーツ交流大会とすることを目的に開催した。

各競技種目の優勝～第3位までに賞品とメダルを授与（但し、卓球（ラージボール）は1位のみ）、また、参加者の中から年齢が最も高い方を「最高齢者賞」として表彰した。（総参加人数 867 名）

① スポーツ交流大会の開催

ア 紀の国いきいき健康長寿祭 スポーツ交流大会〔兼：「第37回全国健康福祉祭ぎふ大会（ねりんピック岐阜 2025）」出場選手選考会〕

期 日	場 所	種 目	参加者
4 月 17 日	日高川町川辺ゲートボール場（日高川町）	ゲートボール	64 名
5 月 8 日	岩出市若もの広場（岩出市）	ペタンク	156 名
6 月 3 日	和歌山市立河南総合体育館（和歌山市）	卓球（ラージボール）	20 名

イ 紀の国いきいき健康長寿祭 スポーツ交流大会〔兼：「第38回全国健康福祉祭埼玉大会（ねりんピック彩の国さいたま 2026）」出場選手選考会〕

期 日	場 所	種 目	参加者
12 月 11 日	海南市民運動場（海南市）	グラウンド・ゴルフ紀北の部	153 名
12 月 16 日	南山スポーツ公園（日高川町）	グラウンド・ゴルフ紀中の部	247 名
1 月 15 日	潮岬青少年の家（串本町）	グラウンド・ゴルフ紀南の部	101 名

ウ 紀の国いきいき健康長寿祭

高齢者の健康増進と生きがいづくり・仲間づくり・社会参加活動の促進を図り、高齢者が生

涯現役でいきいきと暮らせるまちづくりを進めることを目的に開催した。

a パークゴルフ交流大会

期 日	場 所	種 目	参加者
2月6日	のかみふれあい公園パークゴルフ場(紀美野町)	パークゴルフ	126名

② シニア向けの健康ゲーム体験講座

期 日	場 所	種 目	参加者
7月2日	和歌山ビッグ愛9階	健康ゲーム(脳トレ、ボウリング)	24名

③ 紀の国いきいき健康長寿祭 囲碁大会・将棋大会〔兼：「第37回全国健康福祉祭ぎふ大会(ねんりんピック岐阜2025)」出場選手選考会〕

高齢者が、囲碁・将棋を通じて脳を若く保つトレーニングに努め、健康づくり・仲間づくり・社会参加活動の促進を図り、いきいきと暮らせるまちづくりを進めるとともに、「第37回全国健康福祉祭ぎふ大会(ねんりんピック岐阜2025)」出場選手選考会を兼ねた大会を開催した。

	期 日	開 催 場 所	参加者
将 棋	4月23日	和歌山ビッグ愛1階展示ホール	38名
囲 碁	4月24日	和歌山ビッグ愛1階展示ホール	23名

④ 紀の国いきいき健康長寿祭 健康マージャン大会〔兼：「第37回全国健康福祉祭ぎふ大会(ねんりんピック岐阜2025)」出場選手選考会〕

	期 日	開 催 場 所	参加者
健康マージャン	5月13日	アミューズメントプレイス ま〜じゅん	36名
健康マージャン	5月23日	田辺市民総合センター	36名

⑤ 紀の国いきいき健康長寿祭 シルバー美術展〔兼：「第38回全国健康福祉祭埼玉大会(ねんりんピック彩の国さいたま2026)」出品作品選考会〕

高齢者が創作した美術作品を展示する機会を設けることにより、高齢者の創造力を高め、文化活動を促すとともに、ふれあいと生きがいづくりを推進することを目的に開催した。

期 日 2月26日～3月1日(4日間)

場 所 和歌山県民文化会館 大展示室(和歌山市)

出 品 日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真

出品申込点数 139点

ねんりんピック彩の国さいたま2026出品作品 9点

⑥ ふれあい作品展

老人福祉施設及び介護保険施設の利用者に作品を発表する場を提供することにより、創造力を高め、文化活動を促すとともに、ふれあいと生きがいづくりを目的に開催した。

期 日 11月27日～12月1日(5日間)

場 所 和歌山ビッグ愛1階展示ホール(和歌山市)

内 容 出展法人(施設)数：32法人(61施設)

出品点数：557点

出品者のうち最高齢の方(105歳)を「最高齢者賞」、100歳を超える方10名(最高齢者賞受賞者を除く)を「高齢者賞」として表彰した。(来場者数734名)

(2) 第37回全国健康福祉祭ぎふ大会（ねんりんピック岐阜2025）参加者派遣事業について

高齢者を中心とするスポーツ、文化、健康福祉の総合的な祭典である「全国健康福祉祭（愛称：ねんりんピック）」が10月18日～21日に岐阜県で開催され、118名の選手を派遣した。

第37回全国健康福祉祭ぎふ大会（ねんりんピック岐阜2025）

期 日 10月18日(土)～10月21日(火)

テーマ 清流に 輝け ひろがれ 長寿の輪

場 所 岐阜県内 42市町で開催

3 社会参加活動を希望する高齢者と企業や団体、学校等を結びつける取組を推進

(1) 「わかやま元気シニア生きがいバンク事業」の実施

平成29年度に和歌山県から委託を受け運営を開始した「わかやま元気シニア生きがいバンク事業」については、高齢者の「生きがいづくり」と「健康づくり」を促進するため、高齢者によるサークル活動団体や高齢者福祉施設への訪問等に加え、高齢者と他世代との交流促進を図るため県下の小学校や学童保育等でのバンク利用促進にむけた事業PRに努めた。

生きがいバンクへの登録件数は、個人・団体合わせて4件、またマッチングについては、222件となった。

なお、本事業の令和8年12月での廃止に関して県とともにHPで公表し、併せて登録者に対しその旨を通知した。

令和7年度わかやま元気シニア生きがいバンク登録状況等

登録件数	4件（累計 6,059件）	
(内訳)	個 人	3名（累計 5,857名）
	団 体	1団体（累計 202団体）
マッチング件数	222件（累計 2,057件）	

※累計は平成29年7月1日から令和8年3月31日までの件数

4 その他

(1) ボランティアスタッフ「いきいきSUN」の登録・活用事業の実施

いきいき長寿社会センターが行う健康・生きがいづくり事業に関する事務作業、広報、準備および実施時の運営スタッフとして登録している「いきいきSUN」のボランティアスタッフに、各種事業への参加・協力を得た。

登録者の状況 51名

(内 訳) 和歌山市 40名、海南市 4名、紀の川市 2名、岩出市 4名、白浜町 1名

(2) 全国・近畿ブロック推進機構会議等への参加

会 議 名	期 日	参 加
第37回全国健康福祉祭担当係長会議	5月15, 16日	岐阜県
全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会 第1回幹事会	5月21日	東京都
全国明るい長寿社会づくり推進機構職員等研修会(初任者向け)	5月28, 29日	東京都
第1回「ねんりんピックに関する情報交換・意見交換会」	6月16, 12日	東京都
全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会 令和7年度第1回総会	6月30日	東京都
全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会 第1回実務担当者会議	7月17日	東京都
全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会 今後の推進機構事業の展開に向けた検討会	8月25日	東京都
令和7年度 明るい長寿社会づくり推進機構 職員等研修会(中堅職員向け研修会)	9月9, 10日	東京都

全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会 第1回高齢者の人材養成等に関する情報交換・意見交換会	9月17, 18日	長野県長野市
全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会 第2回実務担当者会議	10月2日	オンライン
全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会 第2回幹事会	10月31日	オンライン
全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会 第3回実務担当者会議	12月19日	オンライン
推進機構事業の広報についての検討会	12月23日	東京都
全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会 第2回「今後の推進機構事業の展開に向けた検討会」	1月7日	東京都
第2回「ねんりんピックに関する情報交換・意見交換会」	1月15日	東京都
令和7年度近畿ブロック推進機構連絡協議会	1月27日	奈良県橿原市
第2回推進機構事業の広報についての検討会	2月4日	東京都
全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会 第3回幹事会	2月6日	オンライン
第2回高齢者の人材養成等に関する情報交換・意見交換会	2月16日	東京都
全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会 令和7年度第2回総会	2月25日	東京都
「Nintendo Switch 高齢者向け体験会」、「ゲーム機を活用した高齢者の地域活動の報告会」	2月27日	京都府京都市
テーマ別会議「つながりサポーター養成研修の受講と推進機構での取り組みについて」	3月5日	オンライン
テーマ別会議「高齢男性の孤独の背景と孤独の処方箋」	3月6日	オンライン
全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会 広報に関する研修会	3月17日	東京都

～事項別報告～

Ⅲ 福祉人材研修部

《福祉人材研修部・福祉人材センター事業関係》

1 福祉人材の確保・定着支援、福祉の魅力発信

(1) 福祉人材センター事業（福祉人材無料職業紹介事業等）

① 福祉人材の登録・紹介及び無料職業紹介にかかる窓口業務

年間を通じて、福祉分野への就業を希望する方等からの相談受付、求人情報の提供や、福祉の仕事にかかる求職登録・紹介を行った。

※福祉人材センター取扱地域：印南町以北 紀南福祉人材バンク取扱地域：みなべ町以南

ア 相談件数

	求人	求職	計
センター	607	918	1,525
バンク	654	459	1,113
県全体	1,261	1,377	2,638

イ 求人求職登録及び紹介・就職状況

	新規求人数	新規求職数	紹介・応募者数	採用・内定数
センター	1,349	313	17	15
バンク	1,043	194	28	23
県全体	2,392	507	45	38

ウ 福祉人材情報システム（COOL システム）の運用

中央福祉人材センターが運営する福祉人材情報システム「福祉のお仕事」により求人情報を掲載し、求人・求職者への情報提供、全国統計等への情報送信を行った。

また、求人事業所からのスカウト申請に応じ、システムによる求職者へのスカウト案内を実施した。

② 和歌山県福祉人材センター運営委員会の開催

	第1回	第2回
期 日	10月7日	3月25日
会 場	和歌山ビッグ愛	和歌山ビッグ愛
出席委員	13名（委員15名中）	11名（委員15名中）
議 題	・委員長、副委員長の選任について ・和歌山県福祉人材センター実施事業について ・和歌山県介護生産性向上総合相談センター事業について ・その他	・和歌山県福祉人材センター実施事業について ・和歌山県介護生産性向上総合相談センター事業について ・その他

③ 紀南福祉人材バンク事業の実施（委託・運営支援）

ア 県内全域において円滑に事業を進めるため、紀南福祉人材バンクを設置し、職業紹介事業の窓口業務等を実施した。

イ 紀南福祉人材バンク運営協議会

期 日	3月16日
会 場	田辺市民総合センター
運営委員	7名

議 題	・令和7年度運営状況について ・令和8年度事業計画について
-----	--

ウ 福祉人材センター・バンク連絡会議

期 日	3月24日
会 場 等	オンライン
議 題	・令和7年度事業実施状況について ・令和8年度事業について ・その他

(2) 福祉・介護人材マッチング支援等

① 福祉・介護職場就職相談会等の実施

福祉・介護・保育の就職フェア

福祉・介護・保育職場への就職希望者等を対象に、求人（予定）事業所との個別面談会を実施した。また、福祉の仕事や資格取得に関する様々な相談にも応じた。

【紀北】

	第1回（和歌山市）	第2回（和歌山市）	第3回（和歌山市）
期 日	7月8日	11月18日	3月3日
会 場 (開催方法)	和歌山ビッグ愛 (対面)	和歌山ビッグ愛 (対面)	和歌山城ホール (対面)
参 加 者	93名	43名	39名
参加事業所	32事業所	32事業所	31事業所
求 人 数	302名	302名	257名
採用・内定者	6名	3名	0名（3月31日現在）

【紀南】

	第1回（田辺市）	第2回（新宮市）	第3回（田辺市）
期 日	8月2日	11月6日	2月21日
会 場 (開催方法)	ガーデンホテルハナヨ (対面)	丹鶴ホール (対面)	ビッグ・ユニー (対面)
参 加 者	26名	9名	42名
参加事業所	21事業所	7事業所	19事業所
求 人 数	116名	44名	94名
採用・内定者	1名	1名	2名

② 福祉・介護の仕事チャレンジ（職場体験事業）

ア 介護分野の仕事に関心のある学生、一般の方に対して、介護職場での体験の機会を提供。

- ・申込受付期間 4月1日（火）～ 3月17日（火）
- ・体験実施期間 4月15日（火）～ 3月31日（火）
- ・受入事業所数

分 野	事業所数
高齢者福祉・介護	161
高齢者福祉・障害者福祉	12
障害者福祉	61
児童福祉	18
児童福祉・障害者福祉	27

児童福祉・高齢者福祉・障害者福祉	1
その他	0
計	280

- ・参加者数 20名（一般9名、学生11名）※うち、2か所体験5名（一般4名、学生1名）
- ・参加者の体験先施設

体験先種別	施設名	延参加者数	延日数
特別養護老人ホーム	特別養護老人大日山荘	2	3
	特別養護老人ホーム天佳苑	1	2
	特別養護老人ホーム第二親和園	1	4
介護老人保健施設	パインドーム	1	4
	光苑	1	2
	こすも	1	1
地域密着型特別養護老人ホーム	第五親和園	1	4
小規模多機能型居宅介護	あおぞらケアセンター	1	3
通所介護	大日俱樂部ハルジオン	1	1
	デイサービス花	1	4
	喜成会デイサービスセンター	1	1
	デイサービス生きがい工房	1	1
訪問介護	セントケア紀の川	1	3
生活介護	ふれあい工房わーくる	1	1
施設入所支援・生活介護	PURE皆楽	1	3
	日置川みどり園	1	1
就労継続支援B型	ワークランドそら	1	3
	ワークショップゆう	1	3
	きのかわ共同作業所	1	3
	カノン	1	1
認定こども園	まつえ幼稚園	1	3
	新堀こども園	1	1
放課後等デイサービス	森のひろば	2	2
計	23 事業所	25	54

- ・事業の広報周知等
情報紙への掲載、学校へパンフレットの送付、就職フェア等により行った。

イ 体験終了後、福祉人材センターへの登録の案内等、介護分野への就労支援を行った。

- ・体験者の就労状況 (単位：人)

体験先に就職内定	2 (1)
体験先とは別な介護サービス等事業所に就職	2 (1)
福祉系大学・専門学校へ進学	1 (1)
次学年へ進級	3 (3)
介護分野以外に就職	0 (0)
体験後も体験前と同じ所に在職(介護)	0 (0)
体験後も体験前と同じ所に在職(介護以外)	0 (0)

模索中である・回答待ち	17 (6)
-------------	--------

※（ ）内の数字は学生数

ウ 事業所への事前説明及び結果のフィードバック

・事業所への事前説明

受入依頼の時に、実施要項、受入申込要領等を送付し、事前説明とする。また併せて、実際の体験者受入時には、受入決定通知を送付後、電話にて書類内容と体験の事前説明を行った。

・結果のフィードバック

受入事業所に体験者報告のまとめを送付した。

③ 福祉の職場個別見学の実施

応募検討中の事業所を見学することで、求人票だけでは把握できない施設の雰囲気や仕事内容の理解、就労後のイメージを掴んでいただき、就労後のミスマッチを防ぐために職場見学を実施した。

見学事業所数	採用・内定者数
88 事業所	26 名

④ 学校訪問による人材の参入促進

ア 高等学校・支援学校への訪問

期 日	訪問先
7 月 9 日	和歌山商業高等学校
7 月 11 日	熊野高等学校、神島高等学校、田辺工業高等学校、田辺高等学校、南紀高等学校、南部高等学校
9 月 8 日	伊都中央高等学校
9 月 16 日	神島高等学校、田辺工業高等学校、南紀高等学校
9 月 19 日	串本古座高等学校、新翔高等学校、みくまの支援学校
9 月 25 日	熊野高等学校、南部高等学校、はまゆう支援学校
9 月 27 日	伊都中央高等学校
10 月 15 日	和歌山大学教育学部附属特別支援学校、和歌山東高等学校、和歌山北高等学校北校舎、和歌山北高等学校西校舎、和歌山市立和歌山高等学校
10 月 21 日	紀北農芸高等学校、伊都中央高等学校、那賀高等学校、貴志川高等学校、和歌山県立和歌山高等学校
10 月 23 日	紀北支援学校、きのくに青雲高等学校、紀伊コスモス支援学校
10 月 28 日	箕島高等学校、紀央館高等学校、粉河高等学校
1 月 22 日	神島高等学校、熊野高等学校、田辺工業高等学校、田辺高等学校、南紀高等学校、南部高等学校

イ 大学・短期大学・専門学校への訪問（電話等含む）

期日	訪問先
6 月 13 日	和歌山 YMCA 国際福祉専門学校、和歌山信愛大学
6 月 16 日	東大阪大学、東大阪大学短期大学部、桃山学院大学、関西福祉科学大学、関西女子短期大学、大阪千代田短期大学
2 月 25 日	東大阪大学、東大阪大学短期大学部、四天王寺大学、四天王寺大学短期大学部、大阪千代田短期大学

ウ 校長会等への訪問

公立小学校、公立中学校の校長会等を訪問し、福祉人材センター及び福祉人材バンクが実施する事業の啓発を行った。

⑤ 求職者等への福祉の仕事 出張相談

ア ハローワーク等への出張相談

ハローワーク等で、福祉の仕事内容や資格・就職活動の方法などの情報提供をし、人材のすそ野の拡大を進め、多様な人材の参入促進を図った。

出張先	実施日	実施回数	相談件数
ハローワーク和歌山	毎月 1 回	12	21
ワークプラザ紀ノ川	奇数月 1 回	6	4
ハローワーク橋本	年 5 回	5	8
ハローワーク御坊	奇数月 1 回	6	10
ハローワーク田辺	奇数月 1 回	6	7
ハローワーク新宮	偶数月 1 回	6	13

イ 各種イベントへの出張相談

各団体が実施する合同説明会や介護職員初任者研修の場で、「福祉のしごと相談コーナー」を設け、福祉の職場への就労促進と福祉人材センター・バンクのPR等を行った。

期 日	場 所	相談件数
5 月 3 日	紀南合同企業説明会Uターンフェア in 田辺（田辺市）	2
5 月 27 日	介護・福祉・保育おしごと博 in 和歌山（和歌山市）	6
8 月 18 日	第 63 回きのくに就職フェア（和歌山市）	2
8 月 19 日	第 63 回きのくに就職フェア（和歌山市）	1
9 月 30 日	介護・福祉・保育おしごと博 in 和歌山（和歌山市）	4
10 月 3 日	女性の就職応援フェア 2025（和歌山市）	7
11 月 11 日	ハローワークかいなん（海南市）	1
11 月 27 日	ハローワーク湯浅（湯浅町）	0
12 月 4 日	わかやま就職フェア（和歌山市）	2
1 月 10 日	合同企業説明会田辺就職フェア（田辺市）	0
1 月 16 日	合同企業説明会 in 海南 nobinos	3
2 月 12 日	保育のお仕事 2 社合同説明会（海南市）	4
2 月 14 日	ふれあい文化祭（田辺市）	0
2 月 15 日	ふれあい文化祭（田辺市）	0
3 月 5 日	看護職員就職説明会（紀の川市）	1
3 月 9 日	第 64 回きのくに就職フェア（和歌山市）	1
3 月 10 日	第 64 回きのくに就職フェア（和歌山市）	2
3 月 13 日	看護職員就職説明会（新宮市）	3

⑥ 介護福祉士等の復職支援

ア 有資格者の届出システムの周知、届出システムによる情報提供

離職した介護福祉士の福祉人材センターへの届出が努力義務となったことに伴い、現在就業中の方を含む介護福祉士、保育士、介護職員初任者研修修了者等の生涯にわたる復職についての支援を福祉人材センターが行うことを目的とした全国共通の届出システムの登録・利用方法を周知した。また、届出システムによる情報提供を行った。

届出者数 458 名

イ 情報の提供

平成 26 年度及び 27 年度実施のアンケート調査への回答者のうち、情報提供希望者 (69 名 [内訳：送付 20 名、LINE49 名]) に職場体験や就職フェア、再就職支援研修会等の情報を提供した。

(3) 介護人材マッチング機能の強化

① 就職セミナーの開催

【紀北】(就職フェア内で開催)

	第 1 回 (和歌山市)	第 2 回 (和歌山市)
期 日	7 月 8 日	11 月 18 日
会 場	和歌山ビッグ愛	和歌山ビッグ愛
参 加 者	31 名	7 名
内 容	講演：キャリア・アンカー診断でわかるあなたの働き方の価値観 講師：わかやま就職支援センター はたらコードわかやま 木本 孝志 氏	講演：初めての介護の仕事 応援セミナー 講師：和歌山県福祉人材センター

【紀南】(第 2 回しごとフェア内で開催)

	第 1 回 (新宮市)
期 日	11 月 6 日
会 場	丹鶴ホール
参 加 者	6 名
内 容	講演：初心者向け介護の就職セミナー 講師：和歌山県介護福祉士会 吉田 公章 氏

② 介護助手就職相談会の開催

和歌山県介護普及センターが行う介護未経験の中高齢者等の入門的研修にあわせ、連携して就労までのマッチングを行った。

	第 1 回 (和歌山市)	第 2 回 (和歌山市)	第 3 回 (田辺市)
期 日	7 月 8 日	11 月 18 日	2 月 21 日
会 場	和歌山ビッグ愛	和歌山ビッグ愛	ビッグ・ユー
来 場 者	19 名	12 名	13 名
参加事業所	4 事業所	4 事業所	14 事業所
求 人 数	8 名	11 名	41 名
採用・内定者	0 名	1 名	0 名 (6 月 31 日現在)
備 考	第 1 回就職フェアと同時開催	第 2 回就職フェアと同時開催	第 3 回しごとフェアと同時開催

③ 中山間地域における介護職員初任者研修受講生向けの就職相談会の開催

中山間地域での介護人材確保を目的とした、介護職員初任者研修の受講者を対象に、対象地域の介護事業者と直接面談できる相談会を開催した。

期 日	2 月 13 日
会 場	中辺路公民館

来 場 者	8 名
参加事業所	5 事業所
採用・内定者	0 名

④ 福祉の職場集団見学会の実施

福祉職への新規参入及び就労意欲向上の支援を目的に介護未経験者の方、福祉の仕事に関心がある方を対象とした福祉の職場見学会（バスツアー）を実施した。

【紀北】

	第 1 回	第 2 回
期 日	11 月 10 日	11 月 26 日
場 所	・ ソンリッサきみさと デイサービスセンター ・ 特別養護老人ホームほうらい苑	・ 介護老人保健施設 グリーンガーデン橋本 ・ 特別養護老人ホーム天佳苑
参加者	— ※	8 名
施設見学後就職者	—	1 名

※最少実施人数に満たなかったため開催を中止した。

【紀南】

	第 1 回	第 2 回
期 日	8 月 21 日	10 月 9 日
場 所	・ 地域密着型通所介護イクリハ ・ 特別養護老人ホーム真寿苑	・ 介護老人保健施設けんゆう苑 ・ 特別養護老人ホーム白浜日置の郷
参加者	6 名	4 名
施設見学後就職者	2 名	0 名

⑤ 出前講座による人材の参入促進

ア 介護の就職セミナー（ハローワークと共催）

a ハローワーク和歌山

期 日	参加者数	講 師
4 月 8 日	14 名	ハローワーク和歌山
5 月 13 日	13 名	和歌山県福祉人材センター
6 月 10 日	13 名	ハローワーク和歌山
7 月 1 日	12 名	和歌山県福祉人材センター
8 月 5 日	11 名	ハローワーク和歌山
9 月 9 日	12 名	和歌山県福祉人材センター
10 月 14 日	14 名	ハローワーク和歌山
11 月 4 日	6 名	和歌山県福祉人材センター
12 月 9 日	12 名	ハローワーク和歌山
1 月 13 日	11 名	和歌山県福祉人材センター
2 月 10 日	12 名	ハローワーク和歌山
3 月 10 日	11 名	和歌山県福祉人材センター

b ハローワーク橋本

期 日	参加者数	講 師
5 月 15 日	10 名	和歌山県福祉人材センター
10 月 16 日	10 名	
11 月 7 日	19 名	

12月18日	14名	
2月19日	8名	

c ハローワーク田辺

期 日	参加者数	講 師
5月13日	6名	和歌山県介護福祉士会 吉田 公章 氏
7月8日	7名	
9月9日	7名	
11月11日	7名	
1月13日	4名	
3月10日	5名	

d ハローワーク新宮

期 日	参加者数	講 師
4月10日	3名	和歌山県介護福祉士会 吉田 公章 氏
6月12日	4名	
8月14日	3名	
11月6日	6名	
12月18日	4名	
2月12日	2名	

イ 福祉のしごと出前講座

期日	訪問先	講師
5月10日	KEG キャリアアカデミー 介護職員初任者研修：和歌山市（高校生29名）	和歌山県福祉人材センター
5月11日	KEG キャリアアカデミー 介護職員初任者研修：和歌山市（高校生15名）	和歌山県福祉人材センター
5月29日	橋本市立橋本中央中学校（1年生92名）	社会福祉法人光誠会
7月2日	日高川町立中津中学校（1～3年生32名）	社会福祉法人博愛会
7月3日	介護労働安定センター（介護労働講習受講生34名）	和歌山県福祉人材センター
7月4日	田辺市立東陽中学校（2年生70名）	武村医院
8月9日	株式会社K-NEXT（高校生6名）	和歌山県福祉人材センター
8月10日	株式会社K-NEXT（高校生6名）	和歌山県福祉人材センター
8月20日	KEG キャリアアカデミー 介護職員初任者研修：和歌山市（高校生6名）	和歌山県福祉人材センター
9月10日	和歌山県立串本古座高等学校（10名）	老人保健施設あじさい苑
9月22日	会津小学校（6年生79名）	デイサービスあいづ
10月4日	KEG キャリアアカデミー 介護職員初任者研修：和歌山市（高校生15名）	和歌山県福祉人材センター
10月5日	KEG キャリアアカデミー 介護職員初任者研修：和歌山市（高校生17名）	和歌山県福祉人材センター
10月8日	和歌山市立河北中学校（1年生108名）	社会福祉法人紀伊松風苑 社会福祉法人喜成会 社会福祉法人山口葵会
10月10日	海南市立下津第二中学校（2年生32名）	社会福祉法人平成福祉会

10月12日	KEG キャリアアカデミー 介護職員初任者研修：田辺市（高校生10名）	老人保健施設あきつの
10月21日	和歌山県立神島高等学校（3年生20名）	老人保健施設あきつの
11月11日	ハローワークかいなん 介護の就職セミナー（求職者9名）	和歌山県福祉人材センター
11月27日	ハローワーク湯浅 介護の就職セミナー（求職者5名）	和歌山県福祉人材センター
12月9日	和歌山県立南紀高越学校（1～4年生60名）	武村医院
2月3日	よつ葉福祉会（介護職員初任者研修受講生4名）	和歌山県福祉人材センター

⑥ 福祉の仕事イメージアップ事業

ア 介護職のイメージアップ冊子の作成・配布

中学生・高校生やその保護者、教員等向けガイドブック『『介護』という仕事』を作成し、県内の中学2年生、高校2年生及び教員を対象に配布した。

イ 県内高校出身者への情報提供

県内高校出身者に対し、就職フェア等に関する情報を提供した。

ウ 福祉関係DVDの貸出

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
貸出数	0	0	0	0	0	3	0	0	3	0	0	0	6
貸出人数	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2

エ 各種広報媒体を活用した広報・啓発

本会広報紙「福祉わかやま」、ホームページ、SNS（Facebook、Instagram、LINE）へ、福祉人材確保に関する情報を掲載した。

⑦ 介護未経験の中高年齢者等マッチングに関する求人情報の提供

介護未経験の中高年齢者等の入門的研修及び介護助手就職相談会の広報を実施するとともに、マッチングに関する求人情報の提供を行った。

⑧ 事業所訪問、求人マッチングに係る調整

事業所訪問、求人マッチングに係る調整、求人開拓等のため、事業所を訪問した。

訪問事業所数 延べ152事業所

⑨ 外国人介護人材受入支援

介護職の外国人人材拡大について、外国人介護人材指導者養成研修会を開催し、受入事業所を支援した。

	紀北会場	紀南会場
期 日	10月20日	10月27日
会 場	和歌山ビッグ愛	田辺スポーツパーク
参 加 者	33名	15名
内 容	【講義】 「外国人介護職員の定着と活躍を支える現場の工夫」～とともに働く、その先にある可能性～	

	講師：一般社団法人つばさ 代表理事 出口 博久 氏 【グループディスカッション】 「外国人介護職員の受け入れにあたっての課題と取組及び外国人職員が職場に定着してもらうために工夫していること」
--	--

⑩ 資格取得に係る受験対策講座等（「福祉のしごと塾」）の実施

福祉資格の取得を目指す方々を対象に受験対策講座を紀南福祉人材バンクで実施した。

介護支援専門員実務研修受講試験 受験対策講座	
期 日	7月18日～9月5日の間 全6回 午後7時～9時
会 場	田辺市民総合センター 機能訓練室
参 加 者	12名（受験番号届出6名、合格2名）

介護福祉士国家試験 受験対策講座	
期 日	11月12日～12月17日の間 全6回 午後7時～9時
会 場	よりみちサロンいおり
参 加 者	6名（受験番号届出6名、合格5名）

社会福祉士国家試験 受験対策講座	
期 日	11月28日～12月19日の間 全4回 午後7時～9時
会 場	よりみちサロンいおり
参 加 者	6名（受験番号届出4名、合格3名）

（４）介護生産性向上総合相談センター事業

① 相談窓口の設置

ア 介護事業所における業務効率化や業務改善等の生産性向上の取組を支援し、職員の業務負担の軽減を促すことにより、介護分野の魅力向上や介護人材確保につなげるため、介護事業所向けのワンストップ型相談窓口として対応した。

イ 事業所からの相談対応

a 相談対応

事業所等からの介護ロボットの活用や ICT 化による業務改善に関する相談受付等の対応を行った。

	相談対応件数
介護事業所	46
介護ロボット等開発業者	14
その他	2
計	62

b 事業所ヒアリング

事業所における介護生産性向上の取組状況について、40 事業所を訪問しヒアリング等を実施した。

事業所名	訪問回数
養護老人ホーム 喜和の郷	1
介護老人保健施設 和歌川苑	1
介護老人保健施設 やすらぎ苑	1
介護老人福祉施設 やまぼうし	1

介護老人保健施設 成華苑	1
特別養護老人ホーム にしき園	1
特別養護老人ホーム 皆楽園	1
特別養護老人ホーム ソンリッサきみさと	1
社会福祉法人有田川町社会福祉協議会	1
特別養護老人ホーム 潮光園	1
特別養護老人ホーム 緑風苑	1
介護老人保健施設 カルフール・ド・ルポ	1
特別養護老人ホーム 紀伊松風苑	1
介護老人保健施設 向陽苑	1
介護老人保健施設 田辺すみれ苑	1
介護老人保健施設 あきつの	1
特別養護老人ホーム わかうら園	1
特別養護老人ホーム 喜成会	1
養護老人ホーム 椿園	1
養護老人ホーム 国城寮	2
訪問介護事業所 ケアーセンターひまわり	1
デイサービス つどいの家	1
居宅介護支援事業所 ケアプラザ柚っ子	1
地域密着型通所介護 リハビリテーション倶楽部ひかり	1
ルミエール デイサービスセンター	1
特別養護老人ホーム 高陽園	1
紀三井寺苑 居宅介護支援事業所	1
デイサービス 吉祥	1
デイサービス ゆうゆうライフ	1
特別養護老人ホーム 寿楽園	1
竹の里園 デイサービスセンター	1
特別養護老人ホーム バタフライヒルみなべ虹	1
特別養護老人ホーム 山口葵園	1
デイサービス 花	1
介護老人保健施設 サニーホーム	1
あいの里 小規模多機能型居宅介護事業所	1
認知症対応型共同生活介護 すずらん	1
玉置病院介護医療院	1
特別養護老人ホーム はまゆう園	1
介護老人保健施設 恵友ライフケアセンター	1
計	41

② 生産性向上の取組促進に向けた伴走支援（アドバイザー派遣等）

介護現場の生産性向上を推進するため、事業所が抱える課題を抽出し、改善に向けた取組の提案や助言を行うとともに、必要に応じてアドバイザーの派遣や先進的な事業所の協力を得て、9事業所に対して延べ61回訪問し、伴走支援を実施した。

事業所名	支援テーマ	支援結果
特別養護老人ホーム 竹の里園	見守り支援機器の再活用	終了

地域密着型介護老人福祉施設 第五親和園	入浴機器選定支援、入浴介助の負担軽減	終了
特別養護老人ホーム 吉備苑	ペーパーレス化	終了
特別養護老人ホーム 百々千園	申し送りの時間短縮、荷物チェックの簡略化、ペーパーレス化	終了
特別養護老人ホーム 大日山荘	会議録フォーマットの見直し支援、Google ドキュメントによる共有管理支援、生成AI の活用支援	終了
特別養護老人ホーム 日高博愛園	生成AI の活用支援	終了
養護老人ホーム 椿園	申し送りノートの簡略化、情報共有	終了
ケアプラザ柚っ子	情報共有、環境整備	終了
デイサービスつどいの家	ペーパーレス化	支援継続

③ 介護生産性向上推進にかかる研修会の実施

介護現場における生産性向上の取組の普及を目的とした研修会を開催した。

ア 介護テクノロジー定着支援事業に係る介護生産性向上オンラインセミナーの開催

期 日	7 月 28 日
開催方法	オンライン
参 加 者	333 名
内 容	講義①：介護テクノロジーの導入までの手順と活用事例紹介 講師 株式会社NTT データ経営研究所 足立 圭司 氏 講義②：和歌山県介護テクノロジー定着支援事業について 講師 和歌山県長寿社会課振興班 講義③：和歌山県介護生産性向上総合相談センターの取組について 講師 和歌山県介護生産性向上総合相談センター

イ ケアプランデータ連携システム等に係る研修会の開催

a 自治体向け研修会

期 日	11 月 28 日
開催方法	オンライン
参 加 者	51 名
内 容	講義①：生産性向上総合相談センターにおける取組について 講義②：中山間地域における訪問介護員確保対策事業について 講義③：ケアプランデータ連携システムについて ＜和歌山県＞ ケアプランデータ連携システムの導入状況等について ＜御坊市＞ 御坊市におけるケアプランデータ連携による活用促進モデル地域づくり事業（令和6年度実施）について

b 事業所向け研修会

期 日	1 月 16 日
開催方法	オンライン
参 加 者	318 名
内 容	講義①：介護情報基盤に向けたケアプランデータ連携システムの利用促進について 講師 厚生労働省老健局高齢者支援課 講義②：ケアプランデータ連携システムについて 講師 公益社団法人国民健康保険中央会

	講義③：生産性向上における生成 AI の取組事例 講師 和歌山県介護生産性向上推進アドバイザー 大松 良司 氏
--	--

④ 介護ロボット・ICT 機器の紹介

介護ロボットや ICT のテクノロジーを活用した生産性向上の取組を行おうとする事業所からの相談に応じ、先進的に導入している事業所の見学を調整し、同行した。

⑤ 情報収集・提供

ア 中央管理事業への参加

a 各ブロックの担当者連絡会

期 日	会議名	場 所
11 月 7 日	都道府県各ブロック担当者連絡会議	大阪府

b 全国担当者連絡会

期 日	会議名	場 所
3 月 10 日	全国担当者連絡会議	オンライン

c ワンストップ窓口向け勉強会（オンライン）

	期 日	内 容
第 1 回	5 月 23 日	政策動向について、中央管理事業について 等
第 2 回	6 月 19 日	ケアプランデータ連携システムについて 等
第 3 回	7 月 17 日	ワンストップ窓口の運営状況、生産性向上推進体制加算について 等
第 4 回	8 月 21 日	ワンストップ窓口の運営状況、デジタル中核人材養成研修について 等
第 5 回	9 月 18 日	ワンストップ窓口の運営状況、伴走支援者の養成に関する事例紹介 等
第 6 回	10 月 16 日	介護情報基盤について、ワンストップ窓口におけるカスタマー・ハラスメント相談窓口の設置及び運営について 等
第 7 回	11 月 20 日	ワンストップ窓口の運営状況、小規模事業所における介護テクノロジーの活用事例 等
第 8 回	12 月 18 日	ワンストップ窓口の運営状況、事業譲渡を受けた事業所による介護テクノロジーの活用・経営改善事例 等
第 9 回	1 月 15 日	ワンストップ窓口の運営状況、在宅介護における福祉用具・介護テクノロジーの正しい使い方講座の開催事例 等
第 10 回	2 月 19 日	ワンストップ窓口の運営状況、生産性向上に関する政策動向 等

d 伴走支援を行う企業等向け研修会（オンライン）

期 日	会議名
10 月 1 日	第 1 回介護現場における生産性向上の伴走支援を行う企業等向けオンラインセミナー
2 月 16 日	第 2 回介護現場における生産性向上の伴走支援を行う企業等向けオンラインセミナー

イ ケアプランデータ連携システムの地域での利用促進のためのオンラインセミナーへの参加

期 日	内 容
7 月 18 日	介護情報基盤開始に向けたケアプランデータ連携システムの利用促進 等

ウ 生産性向上の取組の普及・拡大に向けた介護事業所向けセミナーへの参加（オンライン）

期 日	セミナー名
7 月 3 日	生産性向上ビギナーセミナー
8 月 26 日	生産性向上フォローアップセミナー（第 1 回）
10 月 28 日	生産性向上フォローアップセミナー（第 2 回）

2月17日	生産性向上フォローアップセミナー 成果報告会
-------	------------------------

エ その他会議等への参加

期 日	会 議 名	場所等
3月2日	介護現場における生産性向上推進フォーラム	オンライン

⑥ センターの広報

和歌山県社会福祉協議会広報紙「福祉わかやま」にセンターの情報を掲載するとともに、ホームページに介護生産性向上にかかる取組事例を掲載した。

(5) 保育士・保育所支援センター事業

① 保育士人材確保事業

ア 潜在保育士の再就職に関する相談等
情報の提供

平成26年度および平成30年度実施のアンケート調査への回答者のうち、情報提供希望者(54名[内訳:送付8名、LINE46名])に職場体験や就職フェア、再就職支援研修会等の情報を提供した。

イ 保育士の定着支援に係る相談等

保育施設訪問

保育施設及び市町村における保育士不足等現状把握の調査等を行った。

	公立	私立	合計
センター	21 (17)	107 (14)	128 (31)
バンク	7 (5)	13 (3)	20 (8)
計	28 (22)	120 (17)	148 (39)

※()内の数字は放課後児童クラブ人材確保事業実績数

ウ 潜在保育士に対する再就職支援研修

a 保育のおしごと復職応援セミナーの開催

	紀北会場	紀南会場
期 日	9月12日	※紀南会場はサテライト会場として紀北会場の様子をライブ配信
会 場	和歌山ビッグ愛	田辺市民総合センター
参加者	延べ22名	延べ8名
内 容	講義: (1) こどもと関わるうえで、知っておきたい大切なこと (こどもの育ちと関わり方を学ぶ) (2) こどもが夢中になる遊びの力とは? (こどもと楽しむ手遊び・歌遊び・ペープサート) 講師: 大原情報医療保育専門学校和歌山校 非常勤講師 芝本 和華 氏	

b 保育士の再就職支援研修(オンデマンド)の実施

保育士資格や子育て支援員資格を有しながら現場に従事していない方に対し、就職、復職を希望または検討するにあたり抱えている不安を解消し、復職に向けて支援することを目的に、オンライン研修を試行的に実施した。

- ・受講期間: 2月17日～3月31日
- ・対 象 者: 保育現場で在職していない保育士資格および子育て支援員任用資格所持者

- ・受講科目：10 科目 28 講座
- ・受講者数：5 名（保育士資格所持者 0 名、子育て支援員任用資格所持者 5 名）

② 保育士・保育の現場魅力発信事業

ア 保育士・保育の現場の魅力発信動画制作

県内の保育施設で展開している“魅力ある保育のための取組”を広く伝えるとともに、主に保育士希望者や潜在保育士が県内の保育に興味・関心を持ち、意欲的に県内の保育施設への入職を検討できるようにするために、和歌山信愛大学の学生に協力いただき、保育士や保育の現場の魅力を発信する動画を制作した。

	法人名	事業所名
撮影園（5 園）	社会福祉法人栗福祉会	あわ保育園
	社会福祉法人わらべ会	新堀こども園
	学校法人松江幼稚園	まつえ幼稚園
	社会福祉法人小さき花の輪会	むつみこども園
	社会福祉法人ようすい会	ようすい子ども園

イ 保育士人材確保・定着支援に係るポータルサイト運営

保育士人材確保の課題解決に向けて、県内の保育施設（放課後児童クラブ含む）が展開する保育士人材確保・定着支援の取組や、県内で保育士職として就職を希望・検討している人に向けて情報発信を行った。

総アクセス数：55,880（期間：令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日）

③ 保育人材定着支援事業

保育士支援アドバイザー（社会保険労務士）を配置し、下記業務を行った。

- ・ 保育士の労働環境改善（職員の勤務時間の改善や子育て中の保育士が多様な働き方を選択できる環境づくり、ICT 化の推進、書類作成の省力化、業務改善等）に係る保育所等への巡回訪問支援の実施
- ・ その他保育士の労働環境改善に資する事業の実施

ア 巡回訪問支援

事業所名	主な相談内容(▶：対応内容)	回数
じろうまるこども園 (和歌山市)	①効果的な求人票の作成方法 ②就業規則におけるハラスメント関連の記載方法及び年次有給休暇取得 ▶求職者の傾向を伝えるとともに、園の PR ポイントを整理し、求人票作成のポイント等を助言した。	1
ほしや子ども園 (和歌山市)	①7 時間 30 分勤務にするための職員体制の見直し方法 ②就業規則におけるハラスメント関連の記載方法 ▶保育士支援アドバイザーが必要な職員数や就業規則の見直し点について等説明した。	1
太陽保育園 (和歌山市)	①保育内容（こども主体の保育）への移行の課題 ②人材確保の課題 ▶県内の保育施設の状況を伝えながら、先進事例等を共有した。	1

白浜町役場 幼児対策室 (白浜町)	①人材確保の課題 ②業務負担軽減 ▶県内の保育施設の課題や解決策の事例に加え、今後の検討材料となるよう保育士養成校でのヒアリング内容や求職者の傾向を共有した。	1
紀伊保育園 (和歌山市)	①保育 ICT 導入 ②人材確保の課題 ▶県内の保育施設の課題や解決策の事例に加え、今後の検討材料となるよう保育士養成校でのヒアリング内容や求職者の傾向を共有した。	1
天満保育園 (那智勝浦町)	①保育内容の見直し ②保育 ICT の導入に ▶県内の保育施設の状況を伝えながら、先進事例等を共有した。	1
計		6

イ 事例集作成

令和 5 年度に作成した保育士の労働環境改善に係る巡回訪問支援の取組をまとめた事例集について、一部内容を更新し作成した。

2 福祉人材の育成と定着の促進

(1) 研修ニーズの把握

① 社会福祉事業従事者に対するアンケート調査

各社会福祉施設等における、研修の取り組み状況及び研修ニーズを把握し、今後の研修事業を展開する上での基礎資料とすることを目的に実施した。

実施期日：7 月 25 日～8 月 29 日

調査対象：生活保護施設、老人福祉保健施設、介護保険事業所、障害者福祉施設、児童福祉施設、市町村社会福祉協議会

② 研修終了後の受講者に対するアンケート調査

各研修終了後、受講した研修科目の理解度や満足度等のほか、開催を希望する研修内容等を把握し、今後の研修の企画・運営の参考とすることを目的に実施した。

実施期日：随時（各研修終了時）

(2) 社会福祉事業従事者を育成するため、階層別・課題別・資格取得支援研修の充実、強化

① 階層別研修の実施

研修名	期日・会場	対象者	受講者数	研修内容（※講師名敬称略）
福祉職員キャリアパス対応生涯研修 初任者	7月29日 和歌山ビッグ愛	社会福祉施設等に勤務する入職後3年以内の職員等	46名	【講義・演習】 - 福祉職員としてのキャリアデザインと自己管理 - 福祉サービスの基本理念・倫理の基礎を理解する - 組織の一員としてのフォロワーシップの醸成 (講師) 和歌山県社会福祉協議会 職員 - 対人関係マナーと言葉遣い (講師) マナークライス代表、フリーアナウンサー 羽山 京子
	10月21日（7月30日の振替） 和歌山ビッグ愛			【講義・演習】 - 初任者としての能力開発 - 業務を振り返り、問題解決の必要性を理解する - 福祉サービスとリスクマネジメント - 組織のなかでの多職種連携・協働 - 組織運営管理の基礎を知る - 行動指針の策定 - キャリアデザインとアクションプランの策定 (講師) 和歌山県社会福祉協議会 職員
福祉職員キャリアパス対応生涯研修 管理職員	9月3日 和歌山ビッグ愛	現に小規模事業管理者・部門管理者等に就いている職員 近い将来管理者の役割を担うことが想定される指導的立場の職員	24名	【講義・演習】 - 管理職員としてのキャリアデザインと環境整備 - 福祉サービスの基本理念・倫理を徹底する - 組織・部門管理者としてのリーダーシップの醸成 「対話」と「考える」こと (講師) オフィスカナン 代表 山田 奈津美
	9月4日 和歌山ビッグ愛			【講義・演習】 - 管理職員としての能力開発と人材育成 - 法人・事業所レベルの業務の改善、問題解決の仕組みづくり - 福祉経営とリスクマネジメント - チームアプローチ・多職種連携の管理と地域協働の推進 - 組織運営管理体制の整備と推進 - 行動指針の策定 - キャリアデザインとアクションプランの策定 (講師) オフィスカナン 代表 山田 奈津美
福祉職員キャリアパス対応生涯研修 中堅職員	11月26日 和歌山ビッグ愛	社会福祉施設等に勤務する入職後概ね3～5年の職員等	30名	【講義・演習】 - 中堅職員としてのキャリアデザインと自己管理 - 福祉サービスの基本理念・倫理の理解を深める - 中堅職員としてのフォロワーシップの醸成 - チームケアと問題解決一遭遇要因分析 (講師) 和歌山県社会福祉協議会 職員
	11月27日 和歌山ビッグ愛			【講義・演習】 - 中堅職員としての能力開発と後輩職員の指導 - 現在起きている問題を解決し、後輩職員をリードして取り組む - 利用者の尊厳を守る福祉サービスとリスクマネジメント - 他組織や地域の専門職との連携・協働 - 組織運営管理の理解促進と参画 - 行動指針の策定 - キャリアデザインとアクションプランの策定 (講師) 和歌山県社会福祉協議会 職員
福祉職員キャリアパス対応生涯研修 チームリーダー	令和8年1月22日 和歌山ビッグ愛	社会福祉施設等に勤務し、現に主任・係長等に就いている職員 近い将来チームリーダー等の役割を担うことが想定される中堅職員	21名	【講義・演習】 - チームリーダーとしてのキャリアデザインと自己管理 - 福祉サービスの基本理念・倫理を推進する - チームリーダーとしてのリーダーシップの醸成 - OJTの効果的推進 (講師) 特定非営利活動法人ネオ 理事長 山下 眞史
	令和8年1月23日 和歌山ビッグ愛			【講義・演習】 - チームリーダーとしての能力開発とOJTの推進 - チームで問題解決に取り組み、その先頭に立つ - サービスの質の確保・向上とリスクマネジメント - チームアプローチと多職種連携・地域協働の推進 - 組織運営管理への参画と協働 - 行動指針の策定 - キャリアデザインとアクションプランの策定 (講師) 特定非営利活動法人ネオ 理事長 山下 眞史

② 課題別研修[専門技術研修（従事者の知識と技術の向上をめざす）]の実施

研修名	期日・会場	対象者	受講者数	研修内容（※講師名敬称略）
特 社 性 会 を 福 学 祉 ぶ や ！ 対 （ 人 基 援 礎 助 ） の	5月21日 和歌山ビッグ愛	社会福祉事業従事者、再就職希望者	24名	【講義・ワーク】 ・社会福祉制度や法令等の基本的な考え方を知る ・利用者支援において必要な対人援助とは ・対人援助の基礎的な知識や技法を身につけよう （講師）社会福祉法人神愛会 特別養護老人ホーム愛の園 施設長 和歌山社会福祉専門学校 社会福祉科通信課程 非常勤講師 崎山 賢士
特 社 性 会 を 福 学 祉 ぶ や ！ 対 （ 人 実 援 践 助 ） の	5月29日 和歌山ビッグ愛	社会福祉事業従事者、再就職希望者	10名	【講義・ワーク】 ・社会福祉制度や法令等の基本的な考え方を再確認 ・その人らしさを支援する対人援助とは ・対人援助の知識や技法を実践的に身につけよう （講師）社会福祉法人神愛会 特別養護老人ホーム愛の園 施設長 和歌山社会福祉専門学校 社会福祉科通信課程 非常勤講師 崎山 賢士
フ ア シ リ テ ー シ ョ ン 研 修	6月4日 和歌山ビッグ愛	社会福祉事業従事者、再就職希望者	27名	【理論】 ファシリテーションとは 【理論】 ホワイトボード・ミーティング®の進め方 【実習】 効果的な質問の方法 【実習】 情報共有会議の進め方 【実習】 課題解決会議の進め方 【実習】 ケース会議の進め方 （講師）講師 特定非営利活動法人ネオ 理事長 ホワイトボード・ミーティング® 認定講師 山下 眞史
福 祉 レ ク リ エ ー シ ョ ン 研 修	6月18日 紀の国住宅東部コミュニティセンター	社会福祉事業従事者、再就職希望者	28名	【講義・実技】 「理解」を広げる福祉現場でのレクリエーション ・レクをする前に聴いておきたい40分くらいのはなし ・～イメージを耕す～【全体で動きます】 （内容）空間と空気づくりのはなし ・～点と面であそぶ～ワーク編～ （内容）道具を活かし、発想を広げる時間 ・あそべるオトナ・はなせるオトナになるためのレクリエーション （内容）ただただあそび・ただただはなす【ワーク＋α】 ・まとめ（講義） （講師）あそびの工房もくもく屋 事務局長 コミュニケーションデザイナー 田川 雅規
感 染 症 予 防 対 策 研 修	8月27日 ビッグユニー	社会福祉事業従事者、再就職希望者	30名	【講義・演習】 感染対策 いろはのい ～平常時の対策と発生したときの対応等について～ （講師）和歌山県立医科大学附属病院 感染制御部 感染管理特定認定看護師 小島 光恵
	8月29日 和歌山ビッグ愛		45名	
医 学 ・ 緊 急 時 対 応 研 修	10月16日 和歌山ビッグ愛	社会福祉事業従事者	36名	【講義】 ・急変とは、観察について ・緊急時の対応 【演習】 ・一次救命処置、窒息時の対応 【講義】 ・症状の観察と対応 ・応急処置について （講師）和歌山県立医科大学附属病院 看護部 救急看護認定看護師 高野 裕子

③ 課題別研修〔組織支援研修(組織全体の質を高める)〕の実施

研修名	期日・会場	対象者	受講者数	研修内容（※講師名敬称略）
福祉サービスマナー研修 （初任者向け）	4月23日 和歌山ビッグ愛	社会福祉事業従事者、再就職希望者	38名	【講義・ロールプレイ】 ・社会福祉施設・事業所職員としての基本の心得 ・接遇マナーの必要性 ・相手を思う気持ちをカタチに代えて伝える ・伝えるとは ・コミュニケーションにおける基本的欲求 ・接遇で築く利用者様との信頼関係 ・福祉サービスの五段階 ・視覚的要素・聴覚的要素・感覚的要素 ・5段階サービスの応用 ・ビジネス畑の「ほうれんそう」を再認識・再確認 ・電話のマナー ・福祉現場での心配り10ポイント （講師） マナークライス代表、フリーアナウンサー 羽山 京子
	4月25日 ビッグユー		12名	
質の高い仕事の進め方のノウハウを学ぶ！	6月12日 和歌山ビッグ愛	社会福祉事業従事者	35名	【講義・ワークショップ】 1) 質の高い報連相って何だろう？～“仕事の進め方”が上手な職員は、報連相が上手なワケ 2) “3つの方向” “3つの視点” “3つの深度”と真・報連相のレベル表 3) 【事例ワーク】3つの視点で円滑な人間関係を築き、職場のチームワークを円滑にする ◇相手の視点 ◇目的の視点 ◇自己の視点 4) 【事例ワーク】3つの深度で、情報の共有化を活発化させ、活き活きとした職場を実現する ◇深度1：事実情報の共有化 ◇深度2：意味（目的）の共有化 ◇深度3：考え方の波長の共有化 5) “中間報連相”の意味とは？どのような時に使うのか？ 等 （講師）株式会社紀の州コンサルティング 代表取締役 濱田 智司
コーチング＋（プラス）研修	7月2日 和歌山ビッグ愛	社会福祉事業に従事し、主任・係長等に就いている方	28名	【講義・演習】 人を育てるための様々な取り組みが実践されていますが、自分と相手の関係内だけではなかなか成果は現れません。 職場全体で人を育てるために、また教える立場の自分が育つために必要な基礎知識と、職場全体での実践の方法のエッセンスを参加者全員で考えます。 （学習項目）組織とは やる気にさせるために必要なもの 人が学ぶ意味とは 等 （講師）オフィスカナシ 代表 山田 奈津美
アンガーマネジメント研修	8月5日 和歌山ビッグ愛	社会福祉事業従事者、再就職希望者	41名	【講義・グループワーク】 ・アンガーマネジメントとは ・アンガーマネジメントの実践 ・伝わる怒り方 （講師）一般社団法人日本アンガーマネジメント協会 アンガーマネジメントトレーニングプロフェッショナル 堀部 三智子
アサーティブコミュニケーション研修	8月8日 和歌山ビッグ愛	社会福祉事業従事者、再就職希望者	42名	【講義・演習】 ・アサーティブとは？ ・コミュニケーションパターンのくせ ・アサーティブに頼む ・ほめる、ほめられる （講師）NPO法人アサーティブジャパン 認定講師 堀部 三智子
採用のやり方や研修場づくりの継続の	8月21日 和歌山ビッグ愛	社会福祉事業に従事し、労務管理や人事管理に携わっている、または今後労務管理や人事管理に携わる予定の方	10名	【講義・ワーク】 ・適切な労務管理とは ・適切な人事管理とは ・働きやすい職場づくりや賃金アップ、キャリアアップを目指す （講師）社会保険労務士法人あすは 代表 小野山 真由美

研修名	期日・会場	対象者	受講者数	研修内容（※講師名敬称略）
（ＢＣＰ業務支援）継続計画・運用	9月9日 和歌山ビッグ愛	社会福祉事業に従事し、業務継続計画（BCP）の策定に携わっている、または今後業務継続計画（BCP）の策定に携わる予定の方	34名	【講義・ワーク】 ・業務継続計画（BCP）とは ・いざという時に活用できる計画にするには ・計画をもとに、机上訓練の実践 ・自事業所に適した計画の策定と運用を目指す （講師）株式会社ユメコム 代表取締役 橋本 珠美
採用戦略としての広報力向上研修	9月17日 和歌山ビッグ愛	社会福祉事業に従事し、法人の広報や採用に携わっている、または今後法人の広報や採用に携わる予定の方	19名	【講義・ワーク】 ・事業所の魅力発信の捉え方 ・SNS（Instagram）の活かし方・表現力 ・営業で使える事業所の魅せ方（ワークショップ） （講師）株式会社福祉のヨアケ 代表取締役 脇坂 武志
風通しのよい職場づくり研修	12月16日	社会福祉事業従事者	26名	【講義・演習】 ・受講皆さんの職場の風通し具合は？ ・何が問題なのか？ ・等和（とうわ）とは？ 【講義・演習】 風通しがよく、心理的安全性が高く、温かく、やる気がおきる職場づくりに向けて、ブレイクアウトルームでの少人数による等和の実践を通して、お互いに心を開き合い、存分に「風通しがよい」状態をつくりあげる実体験をしてみましょう！ （まとめ）等和で、互いに福祉の仕事も人生もWell-beingを！ （講師）尚絅学院大学人文社会学類 教授 問題解決ファシリテーター 「だがしや楽校(がっこう)」等和 発案者 松田 道雄
カスタマーハラスメント対策研修	令和8年1月16日 和歌山ビッグ愛	社会福祉事業従事者、再就職希望者	33名	【講義・グループワーク・個人ワーク】 1. はじめに 2. カスタマーハラスメントとは 3. ハラスメントの法的理解 4. カスタマーハラスメントの判断基準 5. カスタマーハラスメントとクレマーの違い 6. 事例から考えるカスタマーハラスメント 7. 組織対策と管理上のポイント （講師）株式会社ユメコム 代表取締役 橋本 珠美
組織マネジメント基礎講座（オンライン）	令和8年1月27日	社会福祉施設等の管理職以上の職にある方	14名	【講義・演習】 1. 「経営・マネジメントの基礎を知る」 ①「組織をマネジメントする」が意味すること ②管理職は何を行い、どんな役割が期待されるのか 2. 「福祉事業の特性と人材の動機づけ、コミュニケーション」 ①社会福祉施設が取り組む事業の特徴 ②部下とのコミュニケーションのポイント （講師）兵庫県立大学大学院社会科学部経営専門職専攻 教授 當間 克雄
	令和8年2月6日			【講義・演習】 1. 「人材育成のための具体的なマネジメント手法」 ①1日目の振り返り（質問への回答） ②職場づくりのために理解しておきたい5つの視点 ③具体的なマネジメントの実践・分析手法を学ぶ 2. 「部下の育成・学習を促進する目標設定」 ①管理職としての課題を明確にし、今後の行動目標をたてる ②2日目の振り返り・まとめ （講師）兵庫県立大学大学院社会科学部経営専門職専攻 教授 當間 克雄
リスクマネジメント研修	令和8年2月13日 和歌山ビッグ愛	社会福祉事業従事者、再就職希望者	38名	【講義・ワーク】 福祉介護の現場で起きる事故を知る ・事故事例のリストアップとカテゴリー分けによって、事故によるリスクマネジメントを学ぶ 【講義】 事故発生時の間違わない初動を学ぶ ・事故対応は、迅速に・正しく・すべて～ 【講義・ワーク】 事故予防のためのリスクマネジメント ・KYTを使ったリスクの想定 ・リスク・アセスメント（リスクの発見） （講師）株式会社ユメコム 代表取締役 橋本 珠美

研修名	期日・会場	対象者	受講者数	研修内容（※講師名敬称略）
（管理監督職を対象とした） メンタルヘルスケア研修	令和8年2月20日 和歌山ビッグ愛	社会福祉事業に従事し、管理監督職に就いている、または近い将来管理監督職に就く予定の方	13名	【講義・演習】 ○ラインケアについて学ぶ ・福祉職のストレスについて ・職業性ストレスを学ぶ ・職員とのコミュニケーション ・より良い職場づくりを考える ・職員のメンタル不調に気づいた場合の対応 （講師）フェリアン 副所長 津村 薫
処遇改善（オンライン） （障がい福祉編） （加算取得等支援研修）	令和8年2月26日	処遇改善加算の新規取得や上位取得を検討している、または処遇改善加算の配分等の見直しを検討している方	12名	【講義・ワーク】 ・処遇改善加算とは ・処遇改善加算の取り方ポイント ・内容確認シートを用いた自事業所の現状確認 ・運営規程や評価シートの例を用いた内容確認 （講師）一般社団法人福祉介護事業支援タマキ 代表理事 行政書士、社会保険労務士、介護事業サポーター 住田 正則
処遇改善（オンライン） （高齢福祉編） （加算取得等支援研修）	令和8年2月26日	処遇改善加算の新規取得や上位取得を検討している、または処遇改善加算の配分等の見直しを検討している方	3名	【講義・ワーク】 ・処遇改善加算とは ・処遇改善加算の取り方ポイント ・内容確認シートを用いた自事業所の現状確認 ・運営規程や評価シートの例を用いた内容確認 （講師）特定非営利活動法人つむぎ 理事長 山本 博美

④ 資格取得支援研修の実施

研修名	期日・会場	対象者	受講者数	研修内容（※講師名敬称略）
（会場・オンライン併用） 介護支援専門員試験対策 勉強会Ⅰ	7月10日 和歌山ビッグ愛	第28回（令和7年度） 介護支援専門員実務 研修受講試験 受験 予定者	34名 （来場29名、 オンライン5名）	出題傾向の分析と対策 ・介護支援分野 （講師）一般社団法人和歌山県介護支援専門員協会 副会長 小長谷 恭史
（会場・オンライン併用） 介護支援専門員試験対策 勉強会Ⅱ	7月16日 和歌山ビッグ愛	第28回（令和7年度） 介護支援専門員実務 研修受講試験 受験 予定者	32名 （来場27名、 オンライン5名）	出題傾向の分析と対策 ・介護支援分野 ・保健医療福祉サービス分野 （講師）一般社団法人和歌山県介護支援専門員協会 副会長 小長谷 恭史
（会場・オンライン併用） 介護支援専門員試験対策 勉強会Ⅲ	7月24日 和歌山ビッグ愛	第28回（令和7年度） 介護支援専門員実務 研修受講試験 受験 予定者	32名 （来場27名、 オンライン5名）	出題傾向の分析と対策 ・保健医療福祉サービス分野 ・その他 （講師）一般社団法人和歌山県介護支援専門員協会 副会長 小長谷 恭史

3 介護支援専門員実務研修受講試験の実施

試験会場		申込者数	欠席者数	受験者数	合格者数
紀北	県民交流プラザ和歌山ビッグ愛	358	33	325	66
紀南	情報交流センタービッグ・ユー	130	15	115	24
計		488	48	440	90

(試験事務の概要)

時 期	内 容
5月26日	受験の手引き配布開始
5月30日	申込受付開始
6月20日	申込受付終了
9月19日	受験票、身体障害者等試験特別措置決定通知書の発送
9月24日、29日	試験監督員等事前説明会（紀北）
10月11日	試験の実施
11月6日	採点・合否判定
11月25日	合格発表
随 時	受験資格等、照会応答

4 その他

(1) 研修に関する周知・広報

① 研修パンフレットの作成

令和7年度実施予定の研修事業について、周知・広報を目的に「研修のご案内」パンフレットを作成し、県内福祉施設・事業所に送付した。

(2) 関係機関・団体との連携

① 全国・近畿ブロック会議等への参加

期 日	会議名	場所等
7月17、18日	福祉人材センター・バンク基幹職員会議	東京都
9月25、26日	福祉人材センター全国連絡会議	東京都
11月28日	近畿ブロック福祉人材センター連絡会議	兵庫県
12月11、12日	マッチング機能強化研修	東京都
2月2日	近畿ブロック社会福祉研修実施機関連絡会議	大阪府
2月27日	ブロック別マッチング機能強化研修会	兵庫県

② 関係機関・団体が開催する会議への参加

期 日	会議名	場所等
4月23日	職業紹介責任者講習	オンライン
6月5日	和歌山労働局福祉人材確保対策推進協議会	和歌山市
11月27日	和歌山介護労働懇談会	和歌山市

～事項別報告～

IV 福祉介護サービス 評価センター

《福祉人材研修部・福祉介護サービス評価センター》

1 受審事業所数の拡大と評価の質の向上

(1) 福祉サービス第三者評価事業

評価機関として、福祉サービスを提供する施設を対象に、サービスの質の向上を目的とした第三者評価を実施し、福祉サービス関係施設1件、社会的養護関係施設については、2件の第三者評価を行った。

① 実績

	施設名	種 別	定員	調査日
社会的養護関係	わたちの家	自立援助ホーム	6名	9月17日
福祉サービス関係	ゆらこども園	保育所型認定こども園	125名	11月28日
社会的養護関係	ハピネス・ハーク	母子生活支援施設	30世帯	2月17日、18日

② 施設への支援

社会的養護関係施設においては、評価のガイドラインについて説明を行った。

③ 評価調査者の登録状況及び質の向上

ア 評価調査者の登録数 評価調査者16名

イ 研修への参加

名称／主催	期 日	場 所	参加者	講師
令和7年度社会的養護関係施設第三者評価事業 「評価調査者」継続研修会／社会福祉法人全国 社会福祉協議会 主催	4月15～16日	大阪市	8名	-
令和7年度社会的養護関係施設第三者評価事業 「評価調査者」養成研修会／社会福祉法人全国 社会福祉協議会 主催	7月13～16日	東京都	1名	-
令和7年度福祉サービス第三者評価事業評価調 査者継続研修会／県福祉サービス第三者評価事 業推進委員会 主催	2月10日	和歌山市	8名	1名

(2) 地域密着型サービス外部評価事業

評価機関として、認知症対応型共同生活介護のサービスの質の向上の支援、利用者への情報提供に資することを目的に、本年度は36件の外部評価を行った。

また、研修会を開催し、調査員の質の向上に努めた。

① 実績

	事業所名	法人名	調査日
1	グループホームなごみ (R6分)	(福) 皆楽園	4月21日
2	グループホームみんなの家	(株) 夢工房	5月13日
3	グループホーム第六親和園	(福) 親和園	5月14日
4	グループホームのぞみ	(福) 皆楽園	6月3日
5	愛光園第2グループホーム	(福) 愛光園	7月29日
6	グループホームふどきいひるず	(株) リバゾン	8月1日
7	グループホームはまゆう園	(福) 真福会	8月5日
8	愛光園グループホーム	(福) 愛光園	8月26日
9	グループホームほたるの家	(福) 南紀白浜福祉会	8月28日

10	グループホームなぎのやど	(株) リバゾン	9月10日
11	グループホームあきつの	(福) 上秋津福祉会	9月17日
12	グループホーム栄寿の里	(福) 光栄会	9月18日
13	グループホームといろ	(福) 皆楽園	9月30日
14	グループホームなかみはや	(株) 雄清	10月1日
15	グループホームだんらん	(株) リバゾン	10月3日
16	竹の里園グループホーム	(福) 浩和会	10月29日
17	グループホーム風の里	(福) 高陽会	11月6日
18	フローレンス三寿	(福) 公風会	11月11日
19	寿寿ソーラス	(福) 福美会	11月12日
20	あいの里	(福) 安原福祉会	11月27日
21	あいの里 悠々	(福) 安原福祉会	12月5日
22	グループホームゆりのき苑	(有) メディカルサービス有田	12月11日
23	グループホーム喜成会	(福) 喜成会	12月12日
24	グループホームオアシス	(株) 介護ステーションオアシス	12月17日
25	グループホームオアシスⅡ	(株) 介護ステーションオアシス	12月17日
26	グループホームパル白浜	(株) イクロス	12月24日
27	グループホーム風倶楽部	(福) 高陽会	1月15日
28	グループホーム下湯川苑	(福) 熊野福祉会	1月15日
29	松鶴松江壱番館	(株) 松鶴	1月16日
30	グループホームささゆり	(福) きしゅう福祉会 ささゆり	1月22日
31	松鶴野崎貳番館	(株) 松鶴	1月29日
32	グループホームなごみ	(福) 皆楽園	2月5日
33	グループホームふすふす	(福) 河西福祉会	2月17日
34	春風会わかのうらグループホーム	(株) 春風会	2月18日
35	グループホーム海南ささゆり2	(有) ささゆり	3月3日
36	グループホームゆりのき苑やまち	(有) メディカルサービス有田	3月4日

② 評価調査員の登録状況

ア 評価調査員の登録数 評価調査員 19 名

イ 研修会の開催

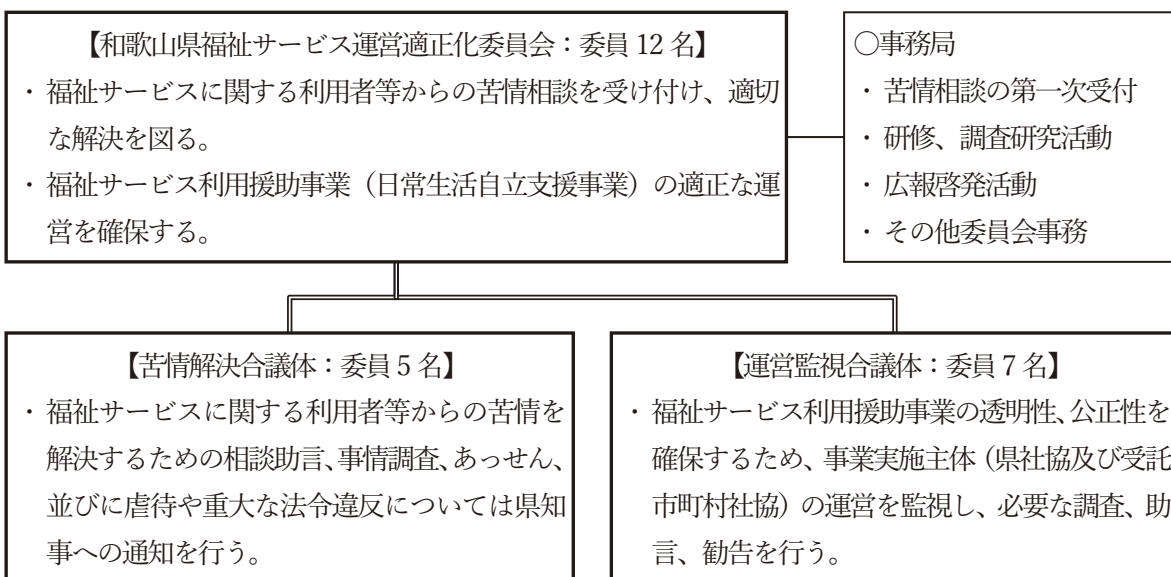
名称／主催	期 日	場 所	参加者
令和7年度和歌山県地域密着型サービス外部評価評価調査員養成研修／合同会社オフィスK (県指定機関)	8月9、10、30、31日	大阪市	2名
令和7年度外部評価調査員フォローアップ研修会／県社会福祉士会との共催	2月7日	和歌山市	3名

～事項別報告～

V 福祉サービス 運営適正化委員会

《和歌山県福祉サービス運営適正化委員会》

1 和歌山県福祉サービス運営適正化委員会の組織・委員等



【和歌山県福祉サービス運営適正化委員会委員構成】（令和 8 年 3 月現在）

				委員長：◎ 副委員長：○			
分 野			氏 名	所属等	合 議 体	苦	運
社会福祉に関する学識経験者	公益代表	◎	栗 山 隆 博	元 県社会福祉協議会	◇		
			星 野 佳 世 子	社会福祉士・精神保健福祉士	◇		
			三 浦 多 代	県民生委員児童委員協議会	◇		
			笠 谷 修 芳	県民生委員児童委員協議会			◇
	福祉サービス利用援助事業の対象者を支援する団体の代表		大 畠 信 雄	県精神保健福祉家族会連合会			◇
			梅 本 靖 子	公益社団法人認知症の人と家族の会 和歌山県支部			◇
	福祉サービス提供者代表		米 川 徳 昭	県共同作業所連絡会			◇
			竹 中 昭 美	県老人福祉施設協議会			◇
法律に関する学識経験者			内 川 真 由 美	弁護士	◎		
		○	本 田 壽 秀	公認会計士・税理士			◎
医療に関する学識経験者			野 村 繁 雄	医師			○
			東 直 子	和歌山県看護協会	○		

《任期》令和 6 年 8 月 10 日～令和 8 年 8 月 9 日

苦：苦情解決合議体 運：運営監視合議体
◎：合議体長 ○：職務代理者 ◇：委員

【県福祉サービス運営適正化委員会選考委員会】（令和8年3月現在）

委員長：◎ 副委員長：○

分 野		氏 名	所 属
公益代表	◎	岡 本 美 智 子	県民生委員児童委員協議会
	○	岩 橋 計 幸	県福祉保健部福祉保健政策局
福祉サービス利用者代表		西 井 幸 男	県身体障害者連盟
		堀 川 憲 一	県老人クラブ連合会
社会福祉事業経営者代表		森 田 昌 伸	県社会福祉法人経営者協議会
		林 保 行	県市町村社協連絡協議会

《任期》令和6年7月8日～令和8年7月7日

2 福祉サービス運営適正化委員会（全体会議）の開催

回	月 日	出席委員	場 所	内 容
1	8月1日	11名	和歌山市	(1) 令和6年度事業報告を承認した。 (2) 令和7年度事業計画を承認した。

3 福祉サービスに関する苦情への対応

(1) 苦情解決合議体の開催

苦情解決合議体を開催し、福祉サービスに関する苦情への対応協議等を行った。

① 苦情解決合議体の開催

回	月 日	出席委員	場 所	内 容
1	5月20日	5名	和歌山市	・令和6年度及び7年度の苦情相談受付状況（4月末現在）を確認した。 ・受付の苦情の対応を協議及び確認した。
2	7月15日	4名	和歌山市	・令和7年度苦情相談受付状況（6月末現在）を確認した。 ・受付の苦情の対応を協議及び確認した。
3	8月1日	4名	和歌山市	・令和7年度苦情相談受付状況（7月末現在）を確認した。 ・受付の苦情の対応を協議及び確認した。
4	10月21日	4名	和歌山市	・令和7年度苦情相談受付状況（9月末現在）を確認した。 ・受付の苦情の対応を協議及び確認した。
5	12月16日	4名	和歌山市	・令和7年度苦情相談受付状況（11月末現在）を確認した。 ・受付の苦情の対応を協議及び確認した。
6	3月17日	5名	和歌山市	・令和7年度苦情相談受付状況（2月末現在）を確認した。 ・受付の苦情の対応を協議及び確認した。 ・令和8年度年間日程（案）を承認した。

② 苦情等の受付状況（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

ア 苦情等の受付件数（単位：件）

	件数	高齢者	障がい者	児童	その他
苦情	48	9	29	7	3
問合せ	31	12	2	2	15

イ 月別苦情等受付件数（単位：件）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
苦情	6	5	6	5	2	4	3	6	2	3	4	2	48
問合せ	5	3	1	0	3	2	6	2	3	4	0	2	31

ウ 苦情受付方法（単位：件）

	来所	電話	文書	FAX	Eメール	その他	合計
苦情	1	36	3	0	8	0	48

エ 苦情申出人の属性（単位：件）

	苦情／相談					
	利用者	家族	代理人	職員	その他	合計
高齢者	6	3	0	0	0	9
障がい者	26	3	0	0	0	29
児童	0	6	0	0	1	7
その他	3	0	0	0	0	3
合計	35	12	0	0	1	48

オ 苦情内容・解決結果【苦情として受け付けた48件の内訳】（単位：件）

	相談 助言	紹介	あつ せん	県へ 通知	その他		継続中	意見	合計
					調査・ 申入れ	中断・ 取下等			
職員の接遇	29	0	0	0	0	0	0	0	29
サービスの質や量	5	0	0	0	0	0	0	0	5
利用料	0	0	0	0	0	0	0	0	0
説明・情報提供	0	0	0	0	0	0	0	0	0
被害・損害	0	0	0	0	0	0	0	0	0
権利侵害	3	0	0	0	0	0	0	0	3
その他	11	0	0	0	0	0	0	0	11
合計	48	0	0	0	0	0	0	0	48

カ 事情調査等の実施

苦情 48件のうち、事務局による事業者への面接調査実施 4件
事業者への聞き取り（電話のみ） 44件

キ 県福祉サービス運営適正化委員会 苦情相談受付状況（単位：件）

	R3	R4	R5	R6	R7
高齢者	20	23	27	16	9
障がい者	62	68	59	34	29
児童	10	5	6	7	7
その他	13	17	18	3	3
合計	105	113	110	60	48

(2) 広報・啓発活動

苦情解決事業について、利用者及び福祉サービス事業者等に対して幅広く周知を図るため、ポスター配布等を行った。

① 事業概要、事業報告のインターネット掲載

和歌山県社会福祉協議会ホームページ (<https://www.wakayama-wel.jp/>) において、和歌山県福祉サービス運営適正化委員会のページを更新し、広報啓発・情報提供に努めた。

② 広報紙への掲載

和歌山県社会福祉協議会広報紙「福祉わかやま」（10,000部発行／年11回）を活用し、“苦情解決のツボ”と題してコラム等を掲載した。

③ ポスターの配布

福祉サービス事業所内で苦情解決体制を掲示するためのポスターを希望事業所へ配布した。

(3) 関係機関等との連携

① 和歌山県人権相談ネットワーク協議会（県人権政策課）への参加

月 日	場 所	内容概要
6月4日	和歌山市	「人権相談担当者の相談技術」 講師 臨床心理士・公認心理師・和歌山心療オフィス所長 上野 和久 氏
2月18日	和歌山市	外国人の人権について 講師 和歌山大学観光学部講師、(公財)和歌山人権啓発センター理事、元(公財)和歌山県国際交流協会外国人生活相談室長 城山 雅宏 氏

② 県民生委員児童委員協議会での説明

月 日	場 所	出席者	内容概要
1月23日	那智勝浦町	事務局1名	令和7年度新任民生委員・児童委員研修会で和歌山県福祉サービス運営適正化委員会(福祉サービスの苦情解決)について説明を行うとともに協力を依頼した。
1月27日	田辺市		
1月29日	田辺市		
2月4日	和歌山市		
2月5日	和歌山市		
2月6日	和歌山市		
2月13日	橋本市		

4 苦情解決システムの機能強化

(1) 研修等の実施

社会福祉事業の経営者等に対して、苦情解決体制が円滑に機能するように研修会の開催等を行った。

① 福祉サービス苦情解決研修会の実施

令和7年度 福祉サービス苦情解決研修会「苦情対応力研修」

＜講師＞ 株式会社ユメコム 代表取締役 橋本 珠美 氏

月 日	場 所	参加人数	参加対象
10月30日	和歌山市	84名	社会福祉施設・社会福祉事業所で事業者から選任された第三者委員、苦情解決責任者、苦情受付担当者、管理者等

② 出前講座の実施

福祉サービス事業所の職員や第三者委員が、苦情解決を適切に行えるよう、福祉サービス事業所等が主催する研修会（職員研修等）に福祉サービス運営適正化委員会事務局の職員が出向き、苦情解決の仕組みなどのテーマに沿って、一緒に考え助言等を行った。（実施：計3事業所）

(2) 巡回訪問の実施

福祉サービス事業者の自主的な苦情解決が適切に行われるよう、その体制整備についての相談・助言を目的に巡回訪問を実施した。（実施：計4事業所）

5 福祉サービス利用援助事業の運営監視

(1) 運営監視合議体の開催

運営監視合議体を開催し、実施主体から福祉サービス利用援助事業について報告を受けるとともに、現地調査結果による助言等の協議を行った。

回	月 日	出席委員	場 所	内 容
1	8 月 1 日	7 名	和歌山市	- 令和 6 年度運営監視合議体現地調査に基づく助言に対する回答を実施主体から聴取した。 - 令和 6 年度日常生活自立支援事業の実績報告を聴取した。 - 令和 7 年度運営監視合議体現地調査の実施について審議した。
2	3 月 6 日	7 名	和歌山市	- 令和 7 年度「現地調査」の調査結果及び助言等文書通知事項について審議した。 - 令和 8 年度「運営監視合議体」事業計画を承認した。

(2) 現地調査及び助言等

福祉サービス利用援助事業全般の監視を行い、現地調査、勧告及び助言を行った。

① 現地調査の実施

調 査 先	現地調査 月 日	出席 委員	予備調査 月 日	内 容
橋本市社会福祉協議会	10 月 2 日	3 名	6 月 30 日	【事前調査事項】 - 事業実施体制、広報活動等の状況、契約および相談の状況 【現地調査事項】 - 相談状況や処理状況、課題、要望等の聞き取り - 利用者各ケースについて、契約書、ケース記録、書類等預かり書記載事項実物照合（貸金庫及び事務所金庫内） 令和 4 年度に勧告した「実施主体である県社会福祉協議会による委託先に対する業務監督の実施」が履行され、これに併せて、事務局による予備調査を実施のうえ、委員による現地調査を実施した。 また、現地調査対象のうち 3 町社会福祉協議会については、事務局による予備調査をもって現地調査に代えることとした。
湯浅町社会福祉協議会	11 月 5 日	3 名	9 月 9 日	
御坊市社会福祉協議会	11 月 14 日	4 名	7 月 10 日	
新宮市社会福祉協議会	12 月 2 日	3 名	8 月 28 日	
串本町社会福祉協議会	12 月 3 日	3 名	8 月 27 日	
田辺市社会福祉協議会	12 月 11 日	4 名	8 月 7 日 9 月 4 日 9 月 11 日	
九度山町社会福祉協議会	—	—	8 月 22 日	
印南町社会福祉協議会	—	—	7 月 4 日	
日高川町社会福祉協議会	—	—	7 月 28 日	

② 現地調査を行った社協に対する勧告・助言

現地調査の結果を踏まえ、県社協に対し通知し、是正を求めた。

社 協 名	勧 告	助 言
和歌山県社会福祉協議会	2 件	4 件

(3) 実施主体（社会福祉法人和歌山県社会福祉協議会）への勧告

次の事項について、利用者の財産保全のため内部牽制により適切な管理を行うことの重要性を踏まえた上で改善を図るとともに、全委託先に周知・徹底されたい。

- ① 日常的金銭管理にかかる現金保管にあたっては、預かり金と現金出納帳記載の金額が一致しているかを必ず複数人でチェックすること。
- ② 書類等預かりサービスにかかる通帳等の出入庫に際しては、必ず複数職員により開封・封印作業を行うこと。

(4) 実施主体（社会福祉法人和歌山県社会福祉協議会）への助言

- ① 委託先の業務について指摘があった各事項について、全委託先に対し周知・徹底を図られたい。
- ② ①について、指摘を受けた委託先それぞれの改善状況をとりまとめ、報告されたい。
- ③ 実施主体の業務及び委託先からの要望について実施主体として対策を講じられたい。
 - ア どこまでが本事業の業務なのかかわからない。
 - イ 成年後見制度利用と本事業利用のどちらが相談者にとって良いのか判断が難しい。
 - ウ 専門員が不足しているため、利用者対応と並行して新規相談者に対応することが困難な状態である。
 - エ キャッシュレス化により、知的障がい者、精神障がい者が困窮に陥るケースが増えている。改善策などがあれば教示されたい。
- ④ 実施主体による委託先に対する業務監督を継続し、令和8年度実施計画を提示されたい。

委託先の業務について指摘があった各事項

前年度 指摘		改善指導事項
○	1	代筆立会証明書の作成をすること。
	2	契約変更時は新たに契約書を作成せず、変更契約書を交わすこと。
	3	契約変更を行った際、支援計画書や書類預かり書に変更日を記載すること。
○	4	支援計画評価票を所定の時期に作成すること。
	5	援助実施記録は本人の状況を詳しく記載すること。
○	6	援助実施記録は複数人でチェックすること。
○	7	日常的金銭管理にかかる通帳は残高 50 万円以下とすること。
○	8	日常的金銭管理にかかる 6 か月毎の通帳記帳面コピーを支援計画評価票の裏面に添付すること。
	9	払戻・支払依頼書（兼報告書）の出金額と添付する請求書又は領収書の金額が一致するか確認すること。
○	10	払戻・支払依頼書（兼報告書）に領収書の添付もれがないこと。 （本事業利用料の領収書等）
○	11	入金依頼書（兼報告書）に通帳記帳面コピーの添付漏れがないこと。なお、現金を出金し、他の通帳に振替えた場合に出金した通帳記帳面のコピーも添付すること。
○	12	現金を入金する場合、入金依頼書（兼報告書）を作成すること。
○	13	「書類等預かり書」には合算でなく、それぞれ記載すること。

6 福祉サービス運営適正化委員会全般にかかる事業の実施

(1) 都道府県運営適正化委員会との連携

① 都道府県運営適正化委員会事業研究協議会

月 日	場 所	参 加 者
7 月 7 日	東京都	本会事務局 1 名

② 都道府県運営適正化委員会相談員研修会

月 日	場 所	参 加 者
11 月 6 日～11 月 7 日	東京都	本会事務局 1 名

③ 近畿ブロック運営適正化委員会事務局担当者会議

月 日	場 所	参 加 者
12 月 9 日	滋賀県	本会事務局 2 名

令和8年度

<https://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

ボランティア活動保険



保険金額・年間保険料（1名あたり） 団体割引20%適用済／過去の損害率による割増適用

プラン		基本プラン	天災・地震補償プラン
保険金の種類			
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円	
	後遺障害保険金	1,040万円(限度額)	
	入院保険金日額	6,500円	
	手術保険金	入院中の手術	65,000円
		外来の手術	32,500円
	通院保険金日額		4,000円
賠償責任の補償	地震・噴火・津波による死傷		× ○
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円(限度額)	
年間保険料		350円	500円

商品パンフレットは
コチラから



(ふくしの保険
ホームページ)

<重要>

- ◆ 基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆ 年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆ 中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆ 途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。

ボランティア行事用保険 (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償 (傷害保険)

福祉サービス総合補償 (傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
〈保険会社〉

TEL: 03 (3349) 5137

受付時間: 平日の9:00~17:00 (土日・祝日、年末年始を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL: 03 (3581) 4667

受付時間: 平日の9:30~17:30 (土日・祝日、年末年始を除きます。)